
未来に向けた「南越前町まちみらいアンケート調査」

(人口ビジョン・総合戦略策定に関するアンケート調査)

結果報告書

令和元年 11 月

南越前町

目次

■調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査設計	1
3 報告書の見方	1
■回答者の属性について	2
問1 回答者の性別	2
問2 回答者の年齢	2
問3 回答者の家族構成	3
問4 回答者の勤務状況	4
問5（1） 就労・通学先	6
問5（2） 家から就労・通学先までの移動時間	8
問5（3） 将来、どこで仕事をしたいか	9
問6 住まいの地区	10
問7 南越前町に住んで通算何年になるか	10
問8 南越前町に居住することになった一番の理由	11
問9（1） 南越前町に住み続けたいか	12
問9（2） 南越前町から転出したいと思う理由	14
問9（3） 南越前町から転出した後、再び南越前町で居住したいと思うか	16
■暮らしについて	18
問10 南越前町の暮らしやすさについてどのように感じているか	18
問11 生活するうえで、現在の困りのごとや不安なこと。10年後の生活を考えたとき不安なこと	21
問12（1） 南越前町に愛着を感じているか	31
問12（2） 愛着を感じる理由	34
問13 これまで進めてきた町の取組みについて、現在の評価（満足度）と今後への期待（重要度）	37
問14 今後進めていくべき町の取組みについて、期待する重点的な取組みやまちづくりに期待すること	44
問15 交流について現在参加しているもの。また、10年後も参加したいと思うもの	47
問16（1） 南越前町において挑戦したいこと	51
問16（2） 問16（1）の挑戦にあたり、障害となること	54
■自由意見	57
■調査票	62

■ 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、人口ビジョン及び総合戦略の策定にあたり、本町が取り組むべきまちづくりについて、住民のご意見を伺うために実施しました。

今回は、通勤・通学の状況、定住意識の変化、暮らしのニーズについて把握するとともに、まちづくりへの現在・将来にわたる関与についても伺いました。また、転出超過が特に顕著である若い女性の傾向などについて把握することにより、今後取り組むべき政策検討の参考とします。

2 調査設計

調査区域：南越前町全域

調査対象：南越前町に在住する 16 歳以上 39 歳以下の方の中から 1,000 人を無作為抽出

調査期間：令和元年9月20日（金）～10月7日（月）

調査方法：調査票を郵便にて配布・回収

配布数：1,000 票

回収数：336 票（回収率 33.6%）

3 報告書の見方

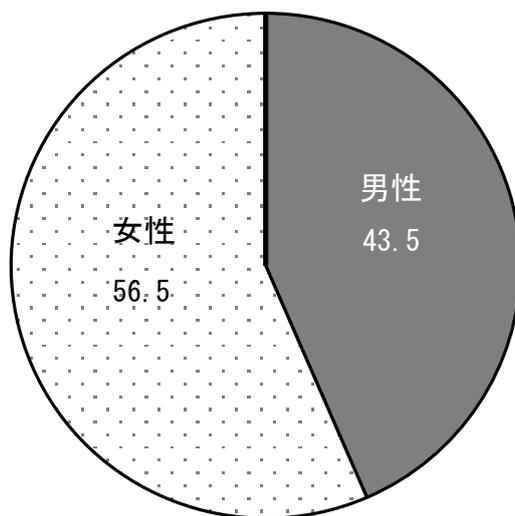
- 回答結果は、小数点以下第2位を四捨五入して、それぞれの割合を示しています。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても、合計値が100.0%にならない場合があります。本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合は、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ及び表の「N（number of case）」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は、文言を簡略化している場合があります。

■ 回答者の属性について

問1 回答者の性別（1つに○）

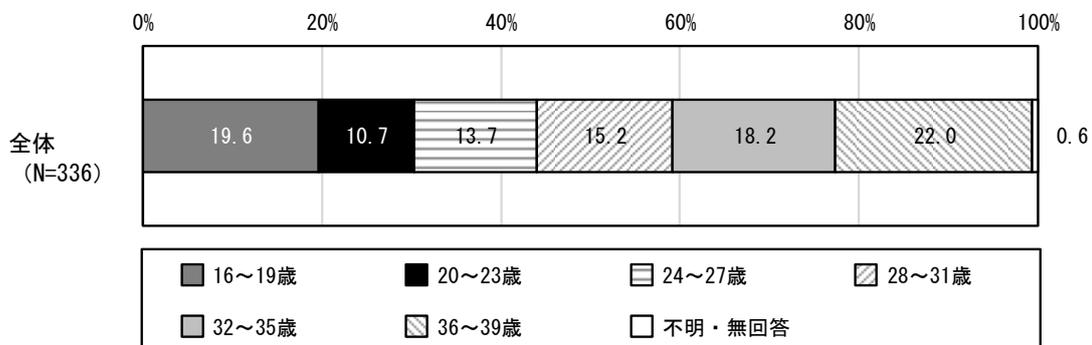
「男性」が43.5%、「女性」が56.5%となっています。

(N=336)



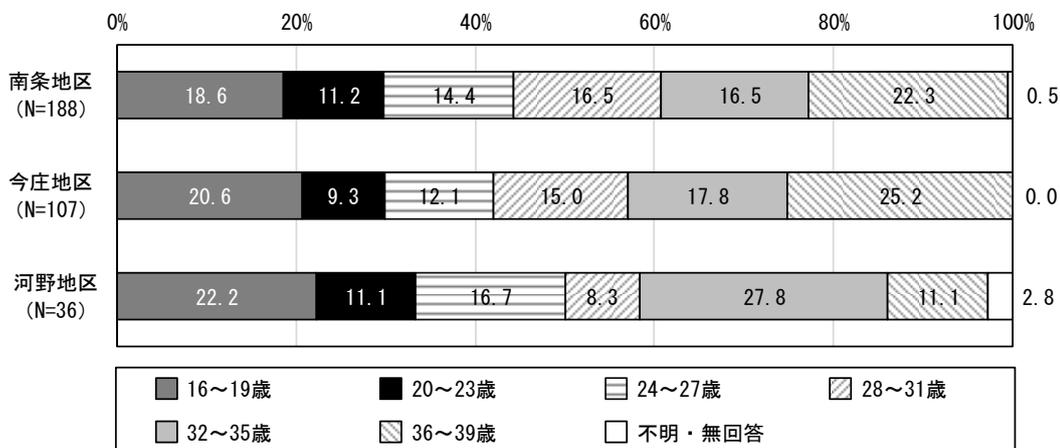
問2 回答者の年齢（令和元年9月1日現在）（1つに○）

「36～39歳」が22.0%と最も多く、次いで「16～19歳」が19.6%、「32～35歳」が18.2%となっています。



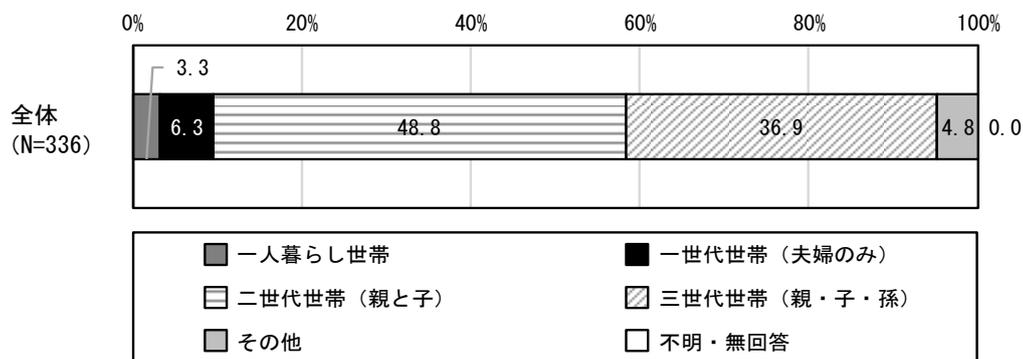
地区別でみると、南条地区と今庄地区では「36～39歳」が最も多く、河野地区では「32～35歳」が最も多くなっています。

【年齢／地区別】



問3 回答者の家族構成（1つに○）

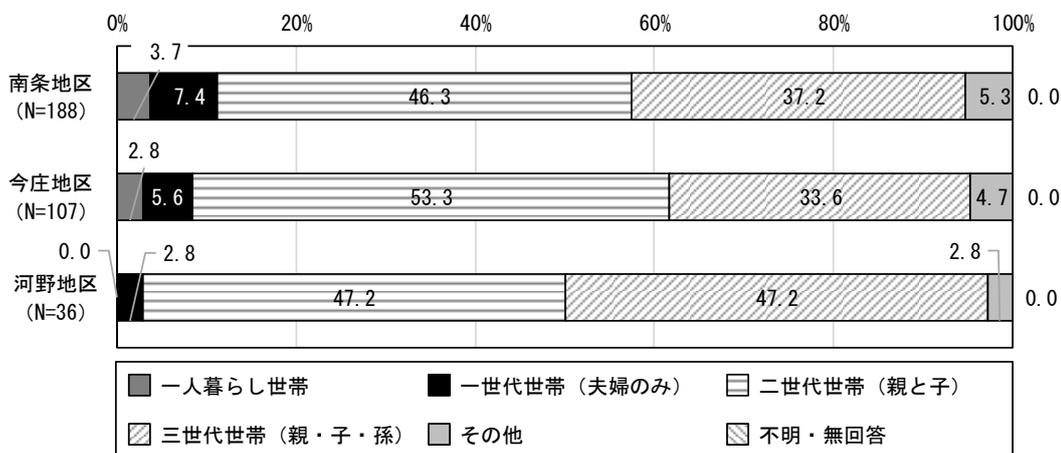
「二世世代世帯（親と子）」が48.8%と最も多く、次いで「三世世代世帯（親・子・孫）」が36.9%、「一世代世帯（夫婦のみ）」が6.3%となっています。



— 「その他」の回答 —
四世代世帯（10件）／祖母・孫／姉・夫・子／祖母／大学寮

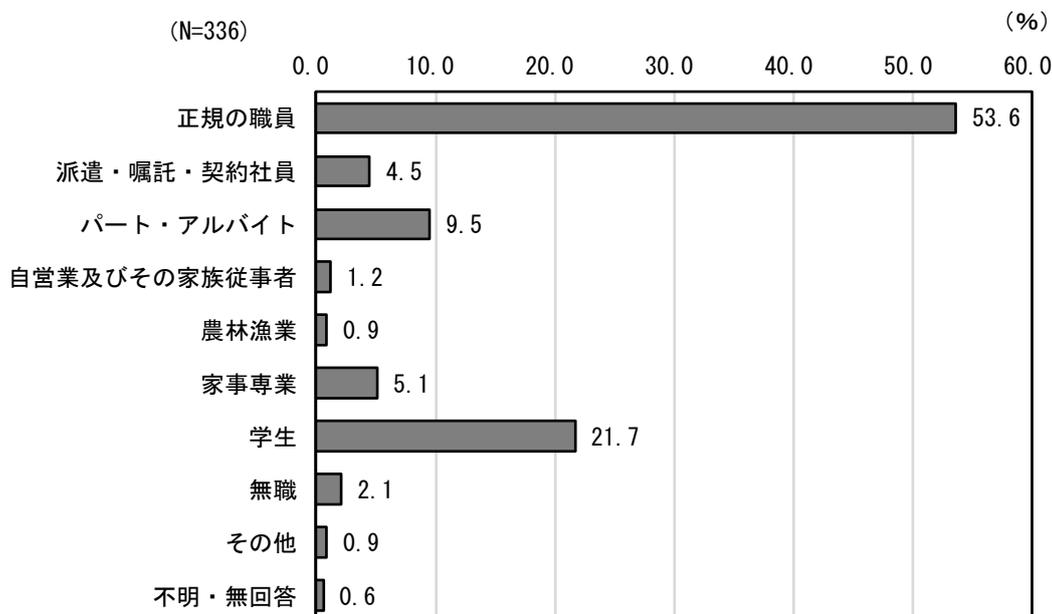
地区別でみると、南条地区と今庄地区では「二世帯世帯（親と子）」が最も多く、河野地区では「二世帯世帯（親と子）」と「三世帯世帯（親・子・孫）」がともに最も多くなっています。「一人暮らし世帯」が最も多いのは南条地区で、3.7%となっています。

【家族構成／地区別】



問4 回答者の勤務状況（1つに○）

「正規の職員」が 53.6%と最も多く、次いで「学生」が 21.7%、「パート・アルバイト」が 9.5%となっています。

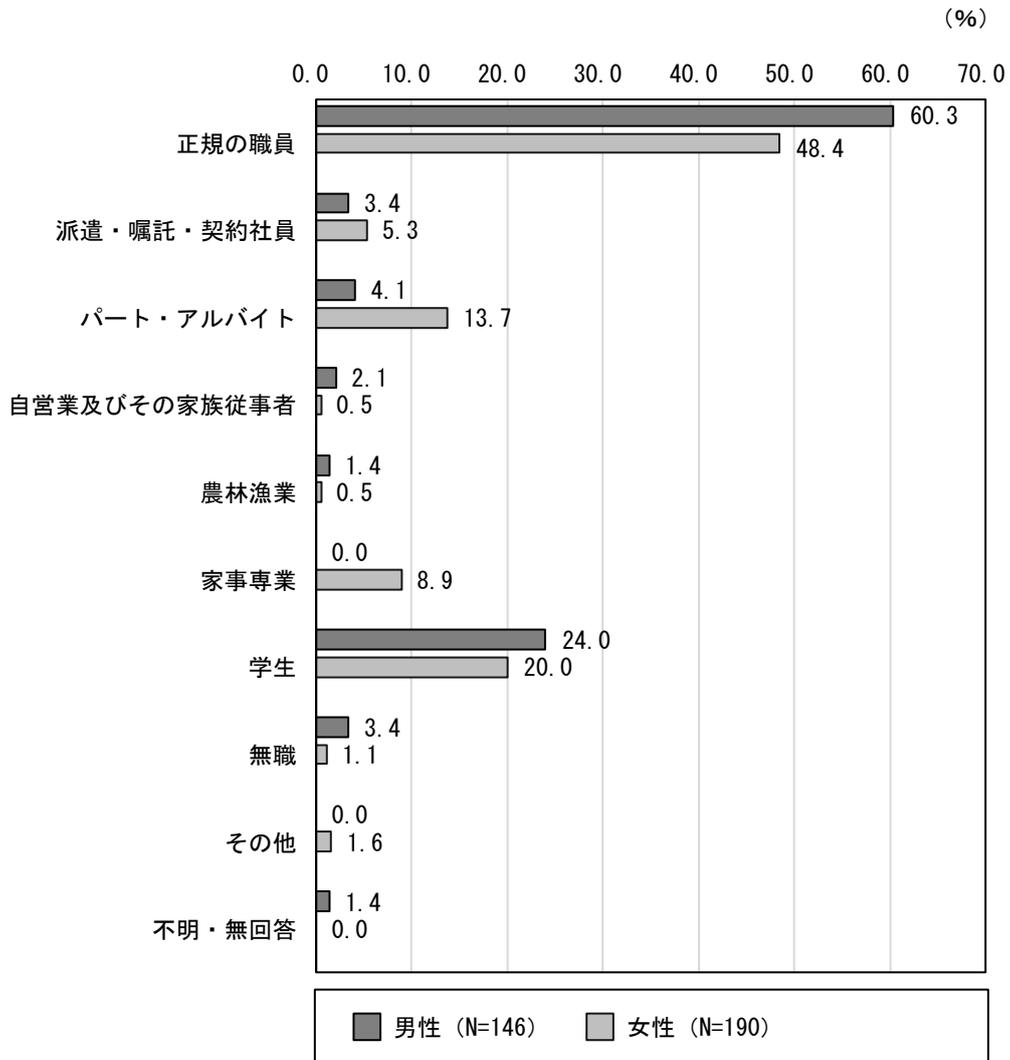


— 「その他」の回答 —
 自営+パート

男女別でみると、男女とも「正規の職員」が最も多くなっていますが、その割合は男性が11.9ポイント女性を上回っています。

「派遣・嘱託・契約社員」では1.9ポイント、「パート・アルバイト」では9.6ポイント、女性が男性を上回っています。

【勤務状況／男女別】



年齢別で見ると、16～19歳と20～23歳では「学生」が、その他の年齢層では「正規の職員」が最も多くなっています。

【勤務状況／年齢別】

(%)

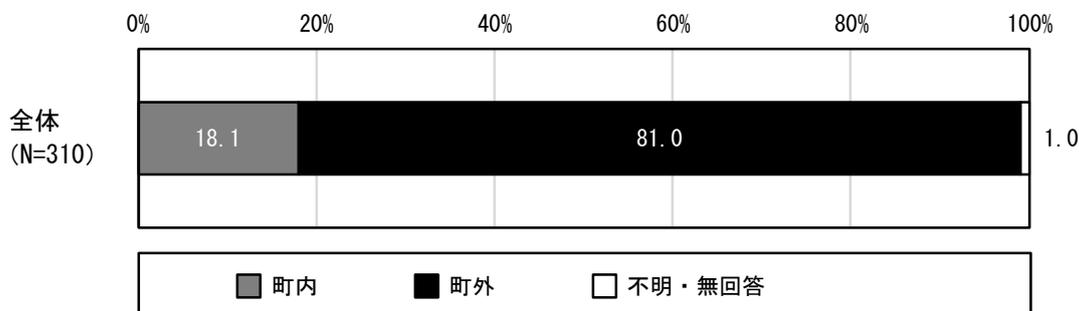
	正規の職員	派遣・嘱託・契約社員	パート・アルバイト	自営業及びその家族従事者	農林漁業	家事専業	学生	無職	その他	不明・無回答
16～19歳 (N=66)	7.6	1.5	3.0	0.0	1.5	0.0	84.8	0.0	1.5	0.0
20～23歳 (N=36)	38.9	2.8	8.3	0.0	0.0	0.0	41.7	8.3	0.0	0.0
24～27歳 (N=46)	87.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0
28～31歳 (N=51)	58.8	5.9	15.7	0.0	0.0	9.8	0.0	3.9	3.9	2.0
32～35歳 (N=61)	65.6	8.2	11.5	1.6	0.0	9.8	0.0	3.3	0.0	0.0
36～39歳 (N=74)	67.6	4.1	13.5	2.7	2.7	8.1	0.0	0.0	0.0	1.4

※表の濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの

就労（自営業等も含む）・通学している人への質問

問5（1）就労・通学先（1つに○）

「町外」が81.0%、「町内」が18.1%となっています。



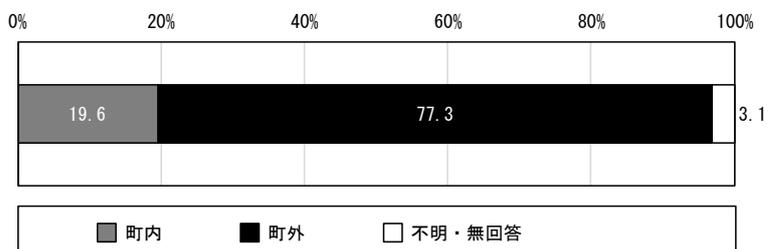
— 「町外」の内訳 —

越前市（120件）／福井市（41件）／鯖江市（29件）／敦賀市（12件）／永平寺町（4件）／越前町（3件）／坂井市（2件）／朝日町／野々市市／近江八幡市／大阪市／京都／さいたま市／富山市／美浜町／山梨県上ノ原市／若狭町

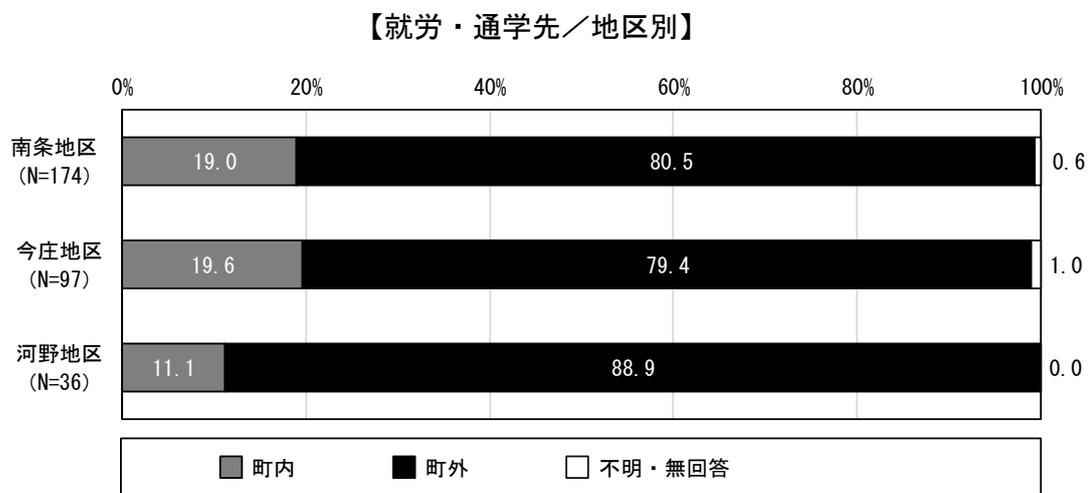
【参考／前回調査※の結果】

※平成27年6月～7月に実施

全体 (N=414)

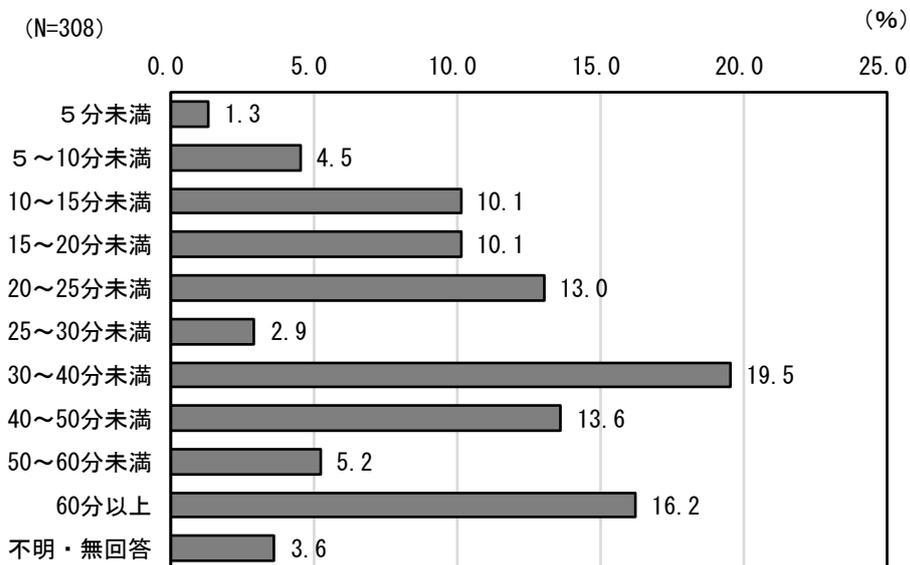


地区別でみると、いずれの地区でも「町内」が2割を下回っています。特に「河野地区」では「町内」が11.1%と、9割近い人が町外で就労・通学しています。



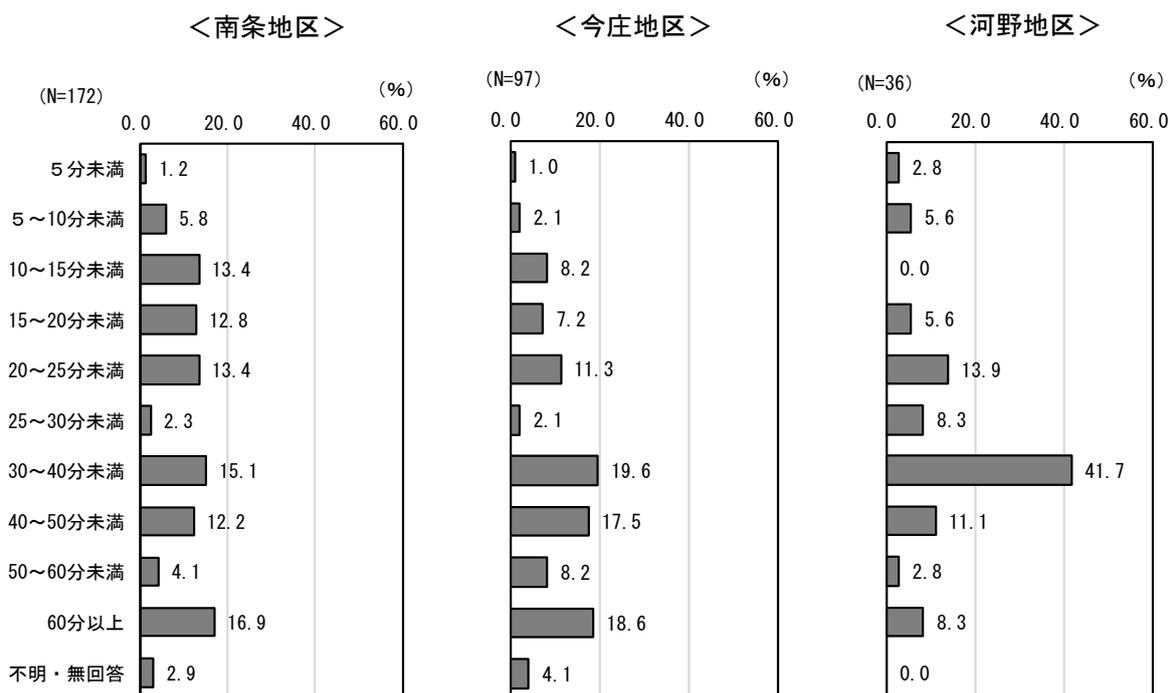
問5 (2) 家から就労・通学先までの移動時間 (数字を記入)

「30～40分未満」が19.5%と最も多く、次いで「60分以上」が16.2%、「40～50分未満」が13.6%となっています。



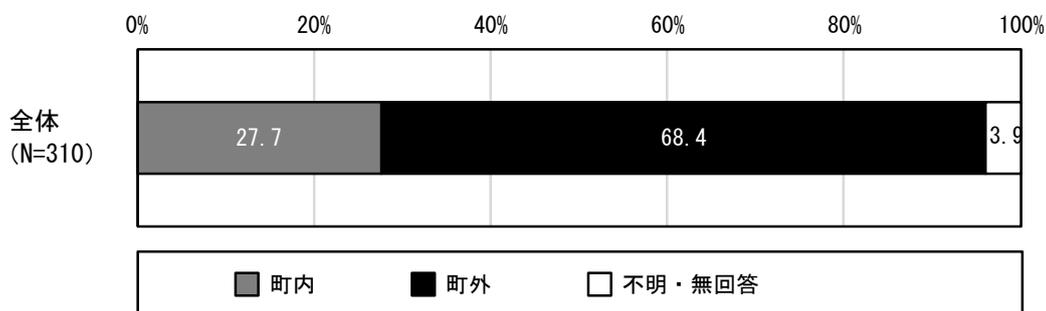
地区別でみると、南条地区と今庄地区では、おおむね同様の傾向にあり、「30～40分未満」が最も多くなっています。「河野地区」では「30～40分未満」が41.7%と他地区に比べて特に多く、「60分以上」が8.3%と、他地区の半分程度となっています。

【通勤・通学時間／地区別】



問5 (3) 将来、どこで仕事をしたいか (1つに○)

「町外」が68.4%、「町内」が27.7%となっています。

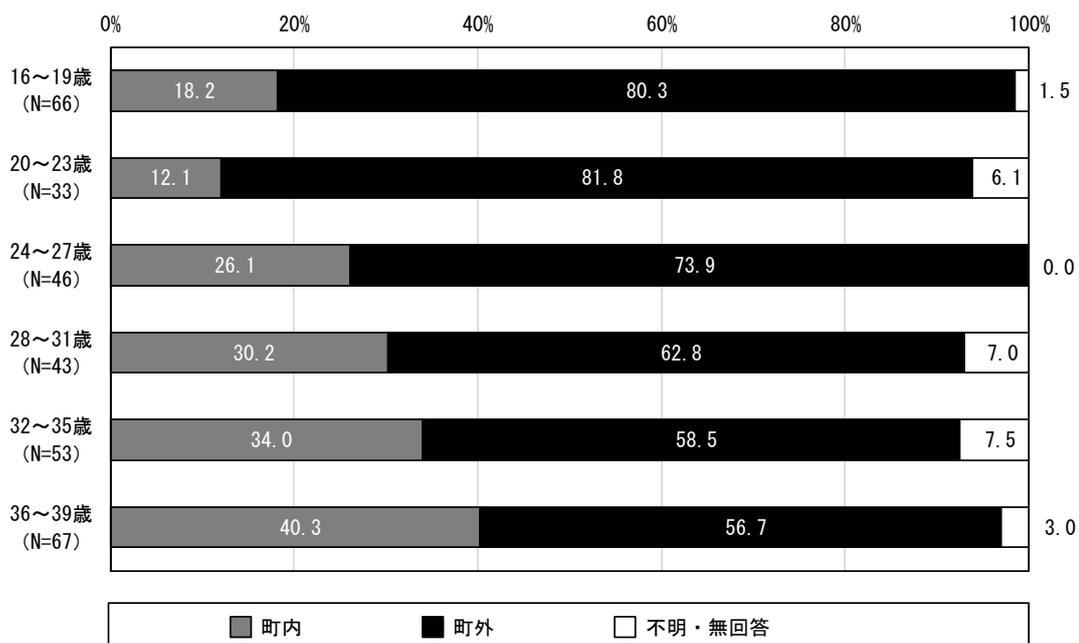


－ 「町外」の内訳 －

越前市 (53件) / 福井市 (24件) / 鯖江市 (9件) / 県外 (6件) / 東京 (3件) / 越前市・鯖江市 (2件) / 敦賀市 (2件) / 武生 (2件) / 近江八幡市 / 京都府 / 県外 (関西) / 鯖江市・越前市 / 敦賀市・福井市 / 名古屋 / 福井市・武生・鯖江市 / ニューヨーク / スペイン

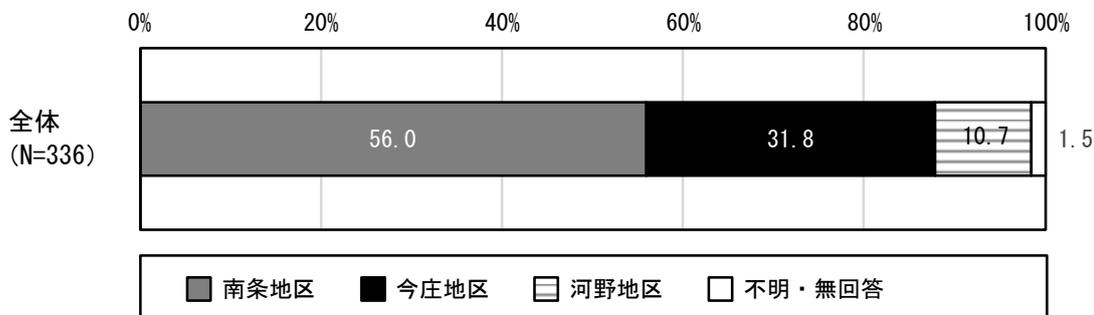
年齢別でみると、おおむね年齢が上がるにつれ、「町内」を希望する人が多くなる傾向にありますが、20～23歳では「町内」が12.1%と、すべての年齢層の中で最も低くなっています。また、16～19歳と20～23歳では「町外」が8割を超えています。

【将来の就労希望先／年齢別】



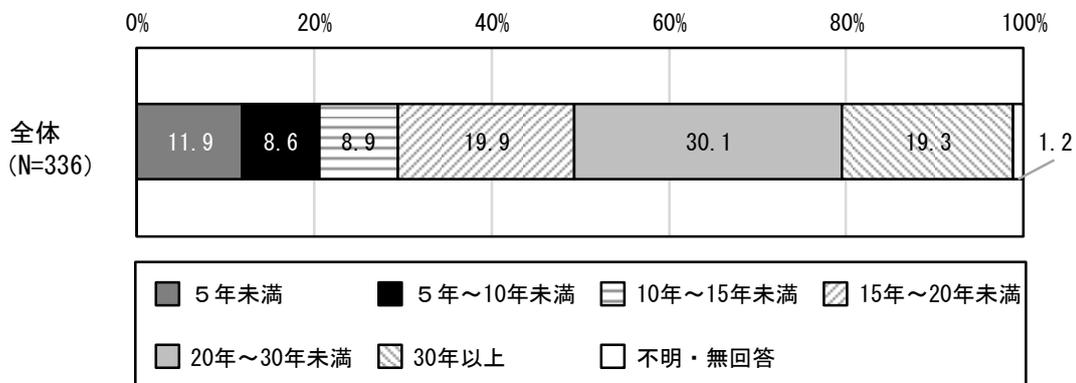
問6 住まいの地区（1つに○）

「南条地区」が56.0%と最も多く、次いで「今庄地区」が31.8%、「河野地区」が10.7%となっています。



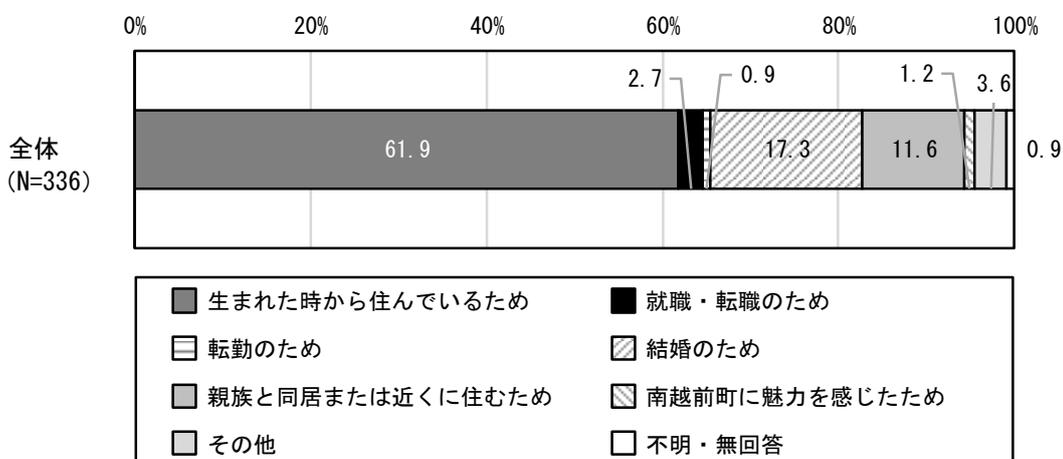
問7 南越前町に住んで通算何年になるか（1つに○）

「20年～30年未満」が30.1%と最も多く、次いで「15年～20年未満」が19.9%、「30年以上」が19.3%となっています。



問 8 南越前町に居住することになった一番の理由（1つに〇）

「生まれた時から住んでいるため」が61.9%と最も多く、次いで「結婚のため」が17.3%、「親族と同居または近くに住むため」が11.6%となっています。



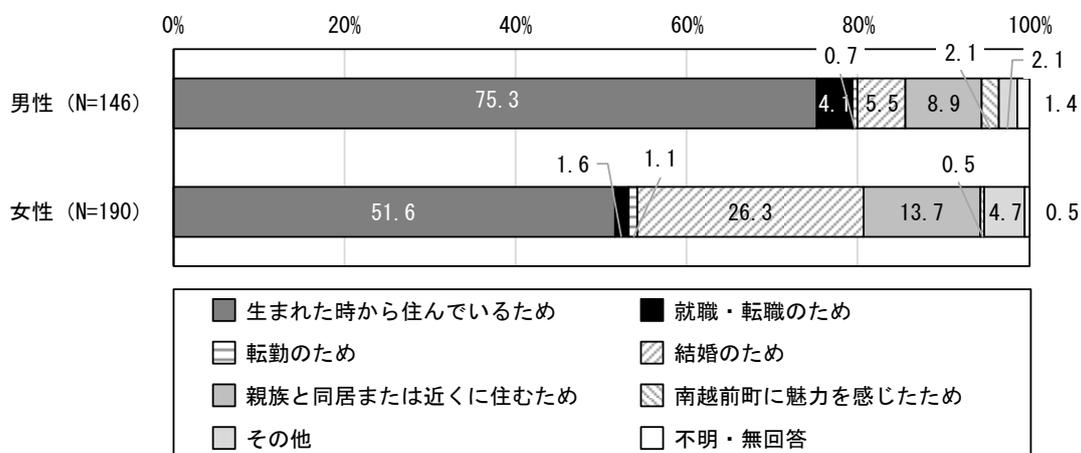
— 「その他」の回答 —

子どもを保育園に入園させるため／学業／通勤時間短縮のため／職場に通える距離のため／地元で子育てしたいと考えたため／離婚したため／町内に家を建てることになったため／親が居住したため／知人がいたため

男女別でみると、男性では「生まれた時から住んでいるため」が7割を超えていますが、女性では「生まれた時から住んでいるため」が約半数で、「結婚のため」が3割弱となっています。

また、「親族と同居または近くに住むため」が、男性では8.9%なのに対し、女性では13.7%と、差が大きくなっています。

【居住理由／男女別】



年齢別でみると、すべての年齢層で「生まれた時から住んでいるため」が最も多くなっています。ただし 36～39 歳では「結婚のため」が 35.1%と、「生まれた時から住んでいるため」の 37.8%とほぼ並んでいます。

また、32～35 歳では「親族と同居または近くに住むため」が他の年齢層より多くなっています。

【居住理由／年齢別】

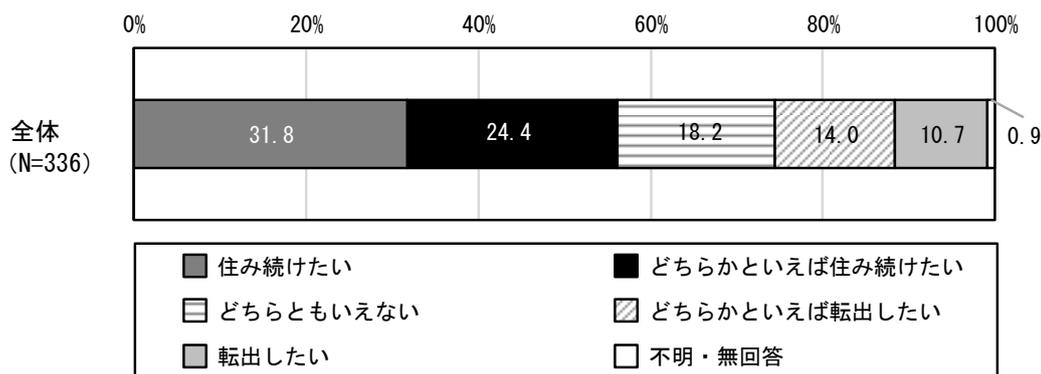
(%)

	生まれた時から住んでいるため	就職・転職のため	転勤のため	結婚のため	親族と同居または近くに住むため	南越前町に魅力を感じたため	その他	不明・無回答
16～19歳 (N=66)	86.4	0.0	1.5	0.0	10.6	0.0	1.5	0.0
20～23歳 (N=36)	83.3	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	8.3	2.8
24～27歳 (N=46)	76.1	4.3	0.0	13.0	4.3	0.0	2.2	0.0
28～31歳 (N=51)	49.0	3.9	3.9	27.5	7.8	0.0	7.8	0.0
32～35歳 (N=61)	50.8	1.6	0.0	19.7	21.3	1.6	1.6	3.3
36～39歳 (N=74)	37.8	5.4	0.0	35.1	14.9	4.1	2.7	0.0

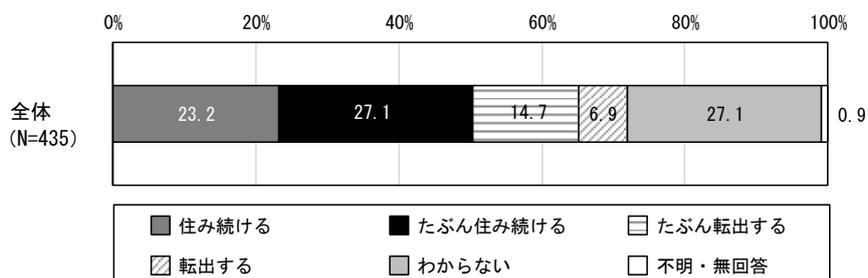
※表の濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの

問9 (1) 南越前町に住み続けたいか (1つに○)

「住み続けたい」が 31.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が 24.4%、「どちらともいえない」が 18.2%となっています。

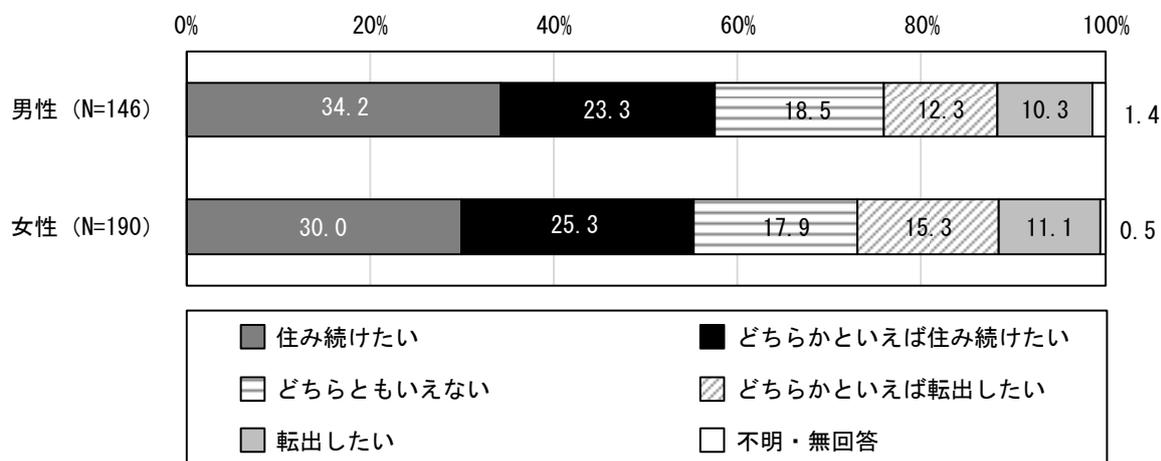


【参考／前回調査の結果】



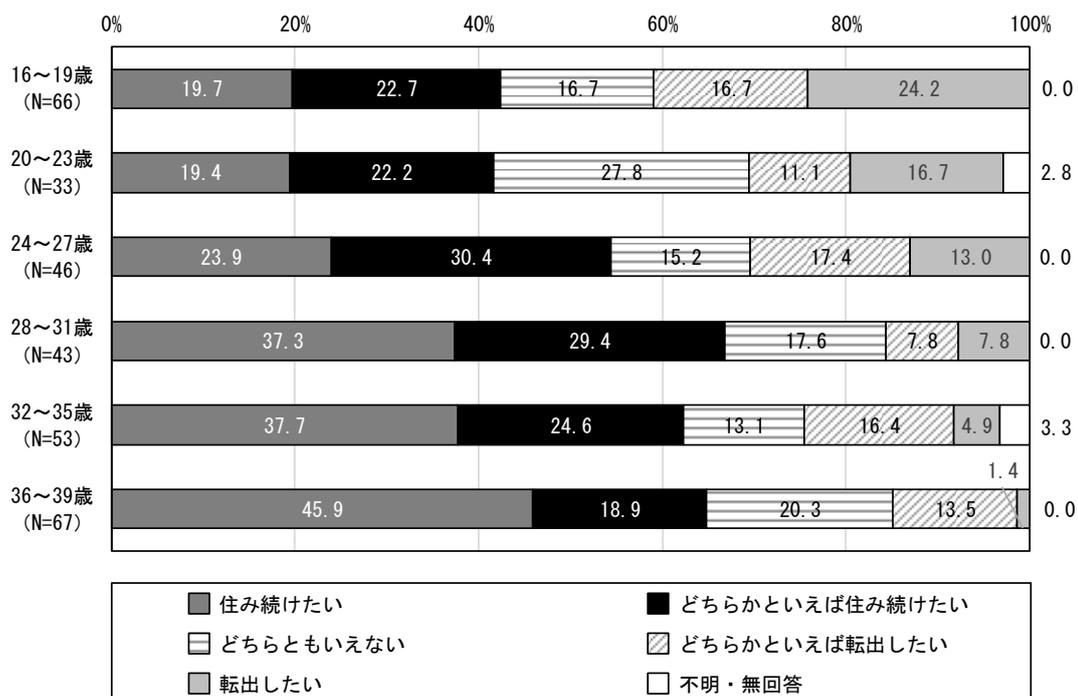
男女別でみると、男女ともにおおむね似た傾向となっていますが、「住み続けたい」は男性が女性を4.2ポイント上回り、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合も、男性が女性を2.2ポイント上回っています。

【居住意向／男女別】



年齢別でみると、年齢層が上がるにつれ、「住み続けたい」が増える傾向となっています。「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合が最も多かったのは「28～31歳」で、66.7%となっています。

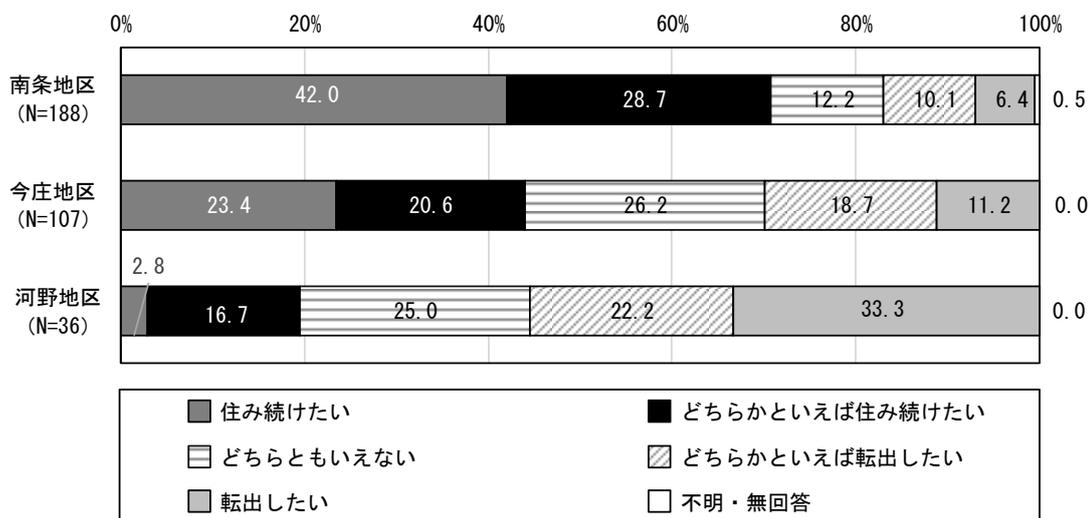
【居住意向／年齢別】



地区別でみると、南条地区では「住み続けたい」が42.0%であるのに対し、今庄地区では23.4%、河野地区では2.8%と、地区ごとに大きな違いがみられます。

河野地区では「転出したい」が3割を超え、「どちらかといえば転出したい」と「転出したい」を合わせた割合は、55.5%と半数を超えています。

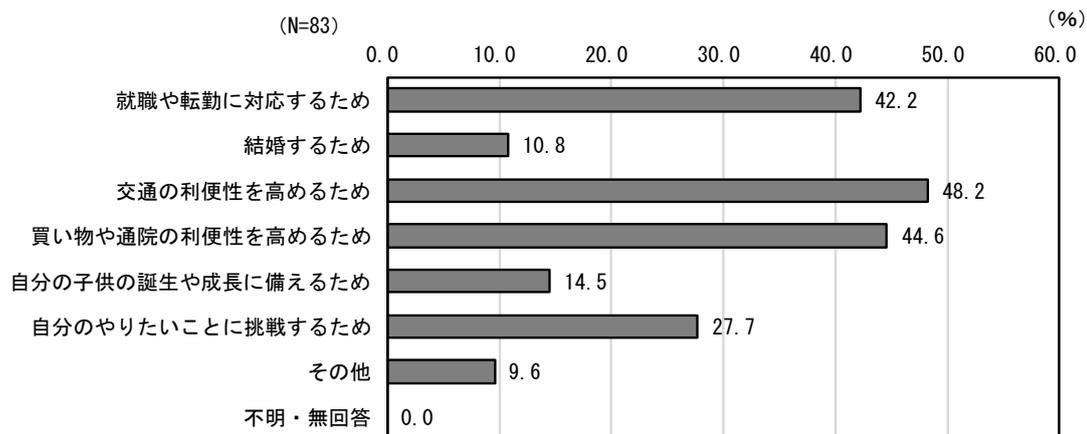
【居住意向／地区別】



問9 (1) で「どちらかといえば転出したい」または「転出したい」を選んだ人への質問

問9 (2) 南越前町から転出したいと思う理由 (あてはまるものすべてに○)

「交通の利便性を高めるため」が48.2%と最も多く、次いで「買い物や通院の利便性を高めるため」が44.6%、「就職や転職に対応するため」が42.2%となっています。



— 「その他」の回答 —

ゴミ焼却炉／通勤が困難／役場のサービスが悪いため／自立したいから／町おこしのやり方に疑問があるため／町の将来が不安

年齢別でみると、16～19歳では「自分のやりたいことに挑戦するため」が、20～23歳と24～27歳では「就職や転職に対応するため」と「交通の利便性を高めるため」がともに最も多くなっています。

28～31歳では「買い物や通院の利便性を高めるため」が、32～35歳と36～39歳では「交通の利便性を高めるため」と「買い物や通院の利便性を高めるため」がともに最も多くなっています。

【転出希望理由／年齢別】

(%)

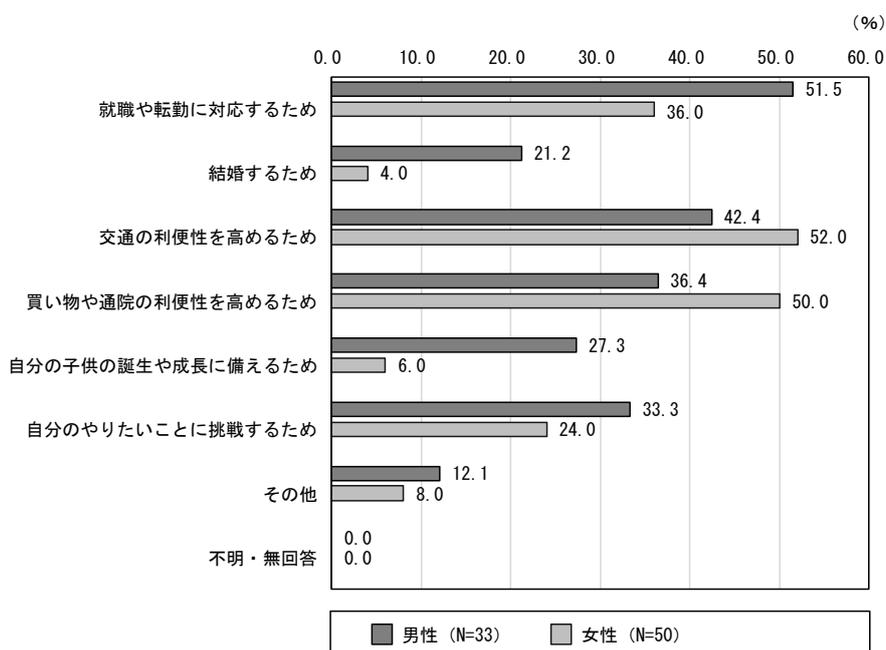
	就職や転職に対応するため	結婚するため	交通の利便性を高めるため	買い物や通院の利便性を高めるため	自分の子供の誕生や成長に備えるため	自分のやりたいことに挑戦するため	その他	不明・無回答
16～19歳 (N=27)	44.4	7.4	40.7	22.2	3.7	55.6	11.1	0.0
20～23歳 (N=10)	50.0	0.0	50.0	40.0	10.0	20.0	10.0	0.0
24～27歳 (N=14)	50.0	21.4	50.0	42.9	21.4	14.3	7.1	0.0
28～31歳 (N=8)	25.0	12.5	12.5	62.5	12.5	25.0	0.0	0.0
32～35歳 (N=13)	38.5	7.7	84.6	84.6	23.1	7.7	7.7	0.0
36～39歳 (N=11)	36.4	18.2	45.5	45.5	27.3	9.1	18.2	0.0

※表の濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの

男女別でみると、男性では「転職や転職に対応するため」が、女性では「交通の利便性を高めるため」が最も多くなっています。「結婚するため」と「自分の子供の誕生や成長に備えるため」で、男女の差が特に大きくなっています。

また「就職するため」では男性が女性を、「買い物や通院の利便性を高めるため」では女性が男性を、それぞれ2ケタ以上のポイント差で上回っています。

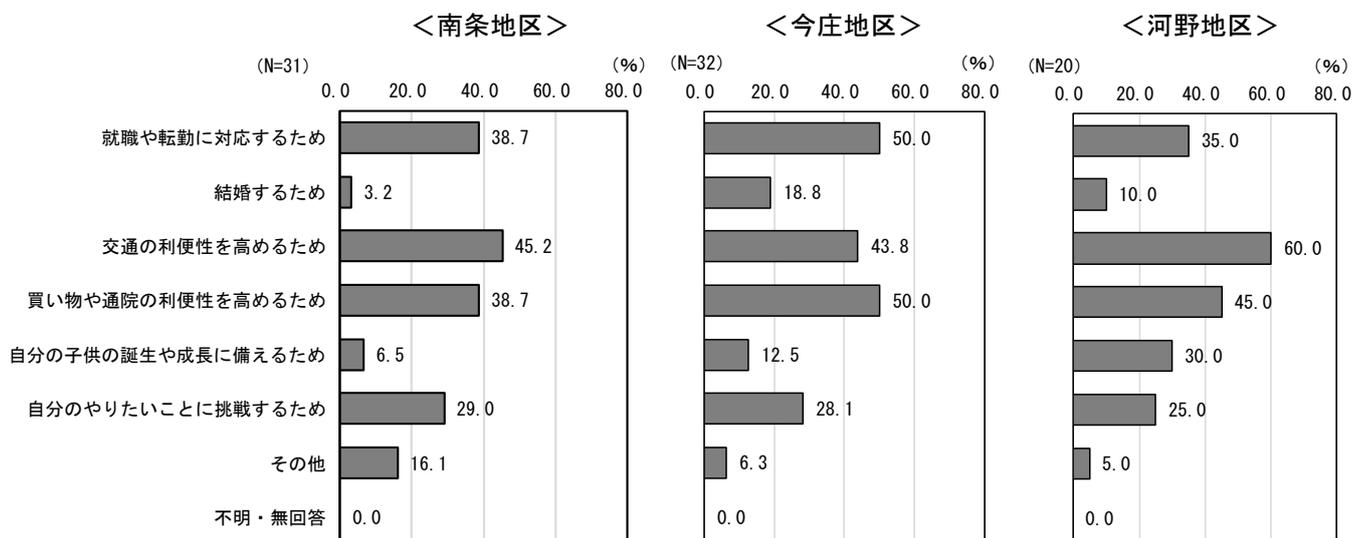
【転出希望理由／男女別】



地区別でみると、南条地区と今庄地区では「交通の利便性を高めるため」が、今庄地区では「買い物や通院の利便性を高めるため」が最も多くなっています。

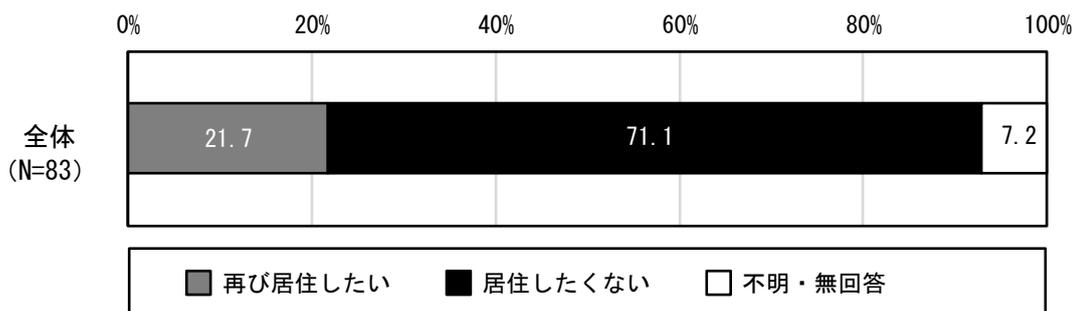
河野地区では「自分の子供の誕生や成長に備えるため」が他地区より多くなっています。

【転出希望理由／地区別】



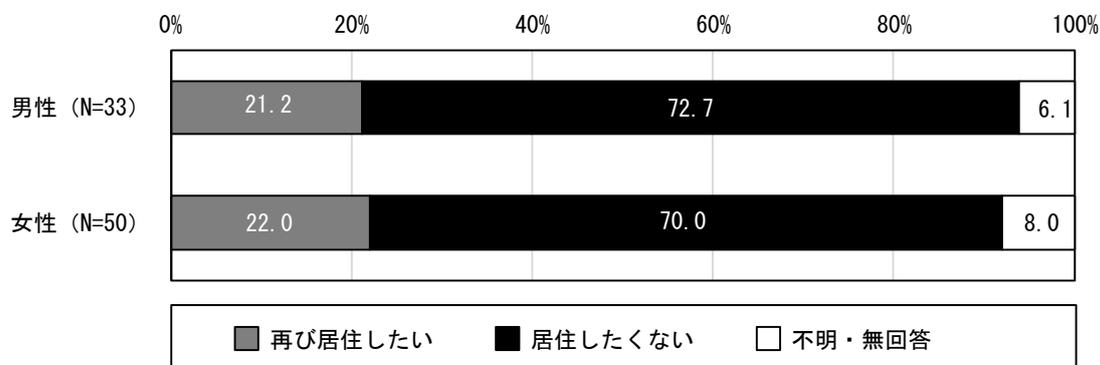
問9 (3) 南越前町から転出した後、再び南越前町で居住したいと思うか (1つに○)

「居住したくない」が71.1%、「再び居住したい」が21.7%となっています。



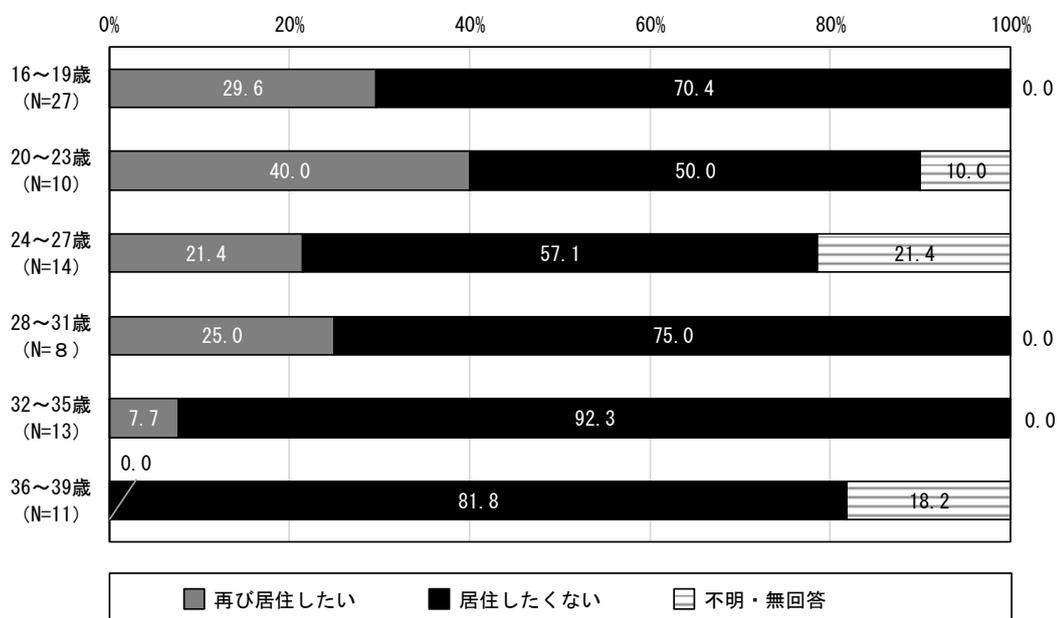
男女別でみると、ほぼ同様の傾向にあり、「再び居住したい」が2割程度、「居住したくない」が7割程度となっています。

【再居住の意向／男女別】



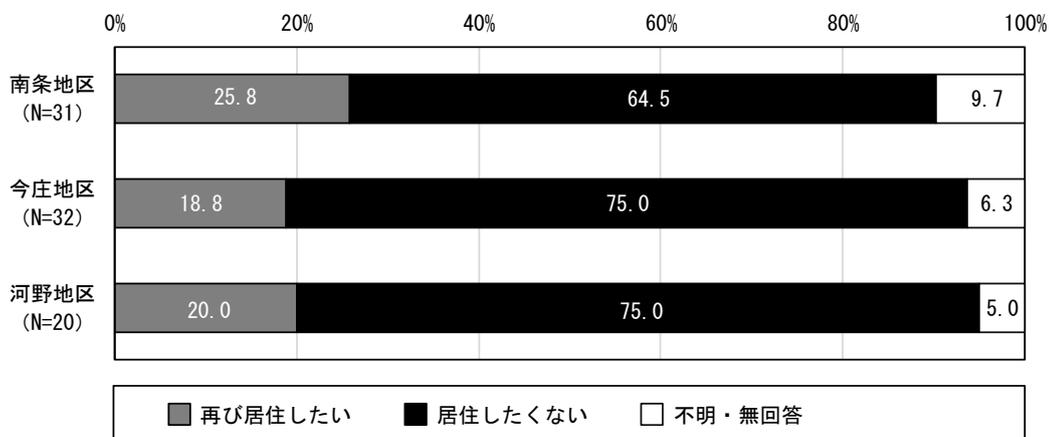
年齢別でみると、すべての年齢層で「居住したくない」が「再び居住したい」を上回っています。「再び居住したい」が最も多かったのは20～23歳の40.0%で、逆に最も少なかったのは36～39歳の0.0%となっています。また、32～35歳では9割以上の方が「居住したくない」と回答しています。

【再居住の意向／年齢別】



地区別でみると、南条地区では「居住したくない」が6割を超え、今庄地区と河野地区では「居住したくない」が7割を超えています。

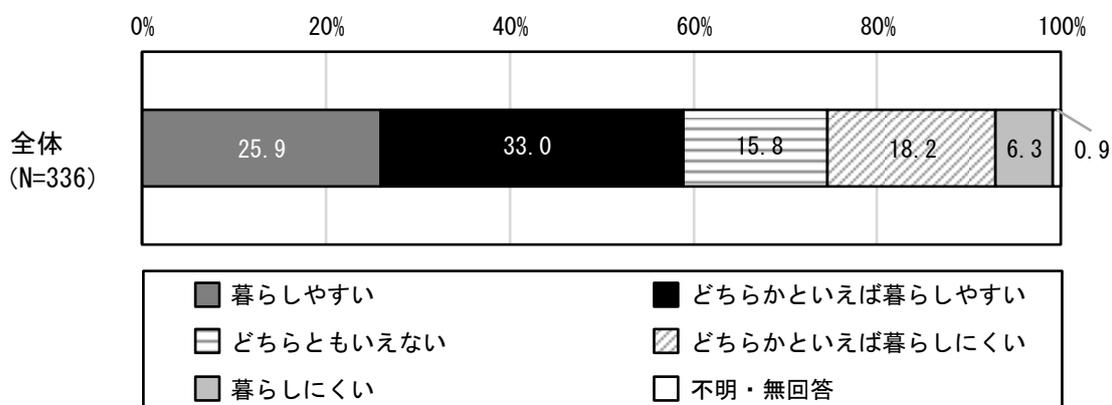
【再居住の意向／地区別】



■ 暮らしについて

問 10 南越前町の暮らしやすさについてどのように感じているか (1つに〇)

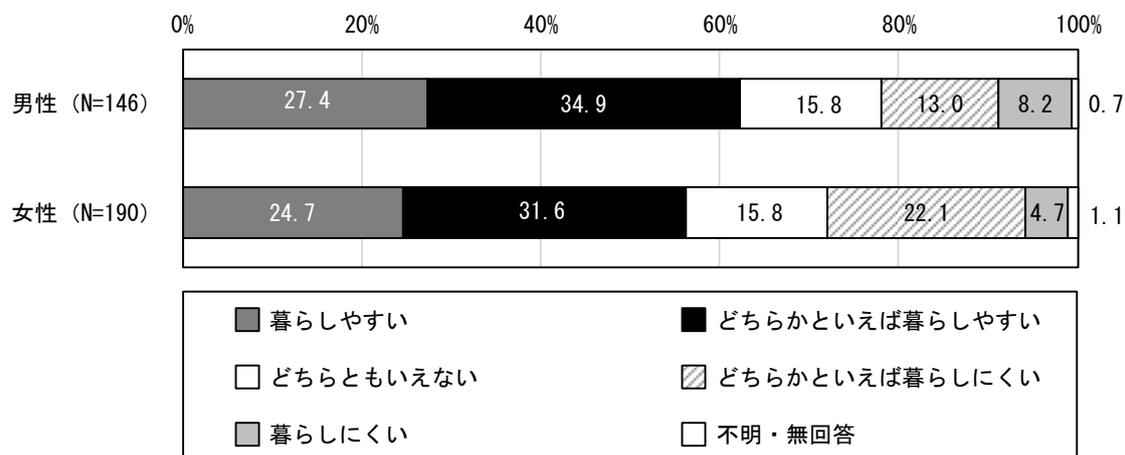
「どちらかといえば暮らしやすい」が33.0%と最も多く、次いで「暮らしやすい」が25.9%、「どちらともいえない」が18.2%となっています。



男女別でみると、「暮らしやすい」で男性が女性を 2.7 ポイント、「どちらかといえば暮らしやすい」で男性が女性を 3.3 ポイント上回っています。

また、「どちらかといえば暮らしにくい」で、女性が男性を 9.1 ポイント上回っています。

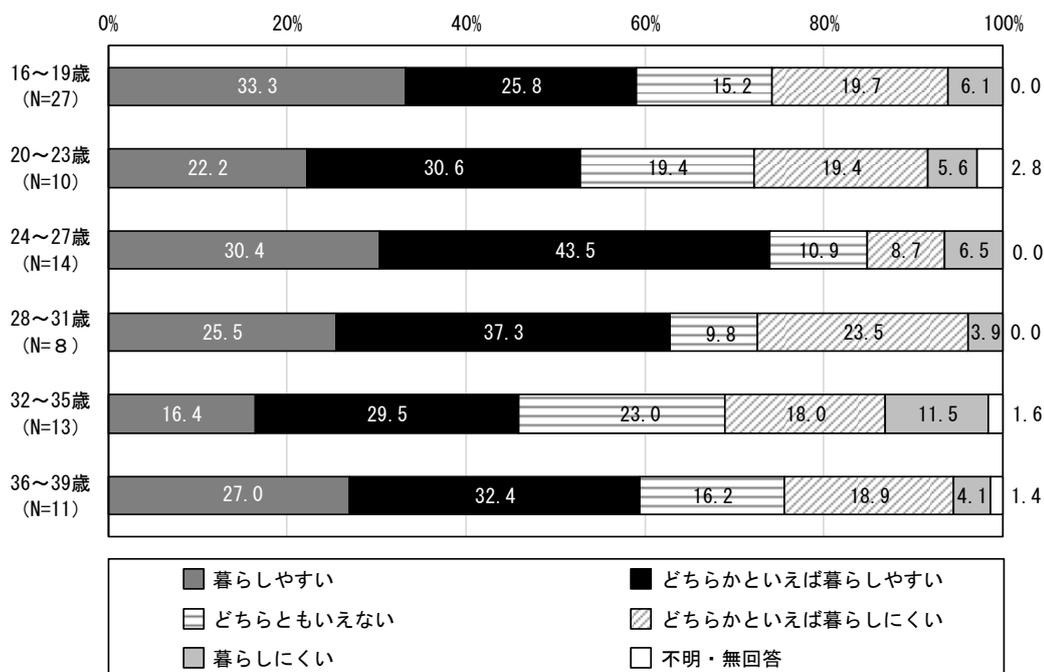
【暮らしやすさ／男女別】



年齢別でみると、16～19歳と24～27歳で「暮らしやすい」が3割を超えています。

また、「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた割合は、24～27歳で73.9%と、すべての年齢層の中で最も多くなっています。

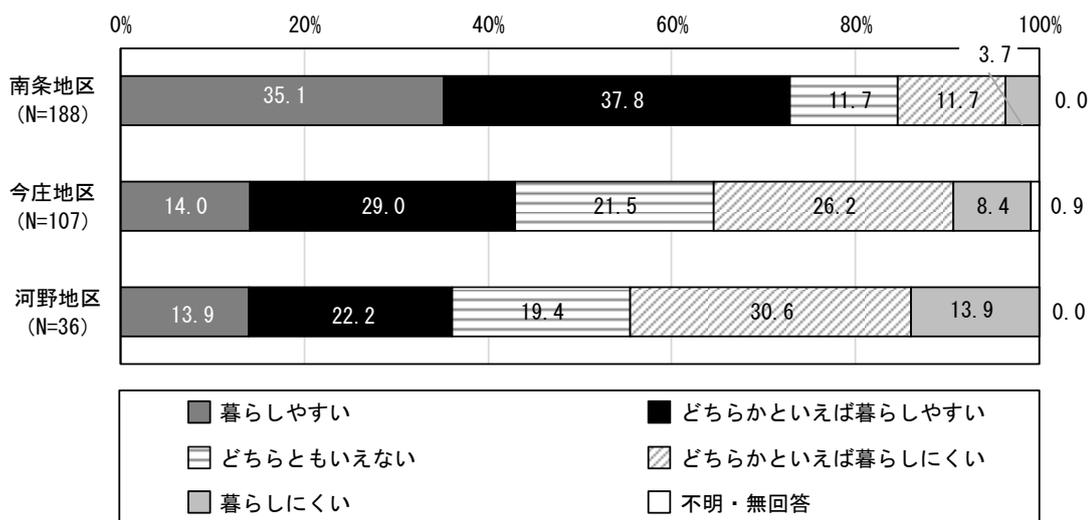
【暮らしやすさ／年齢別】



地区別でみると、南条地区では「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」がともに他地区に比べて突出して多くなっています。

また、河野地区では「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」がともに他地区よりも少なくなっており、「暮らしやすい」と「どちらかといえば暮らしやすい」を合わせた割合は4割を下回っています。

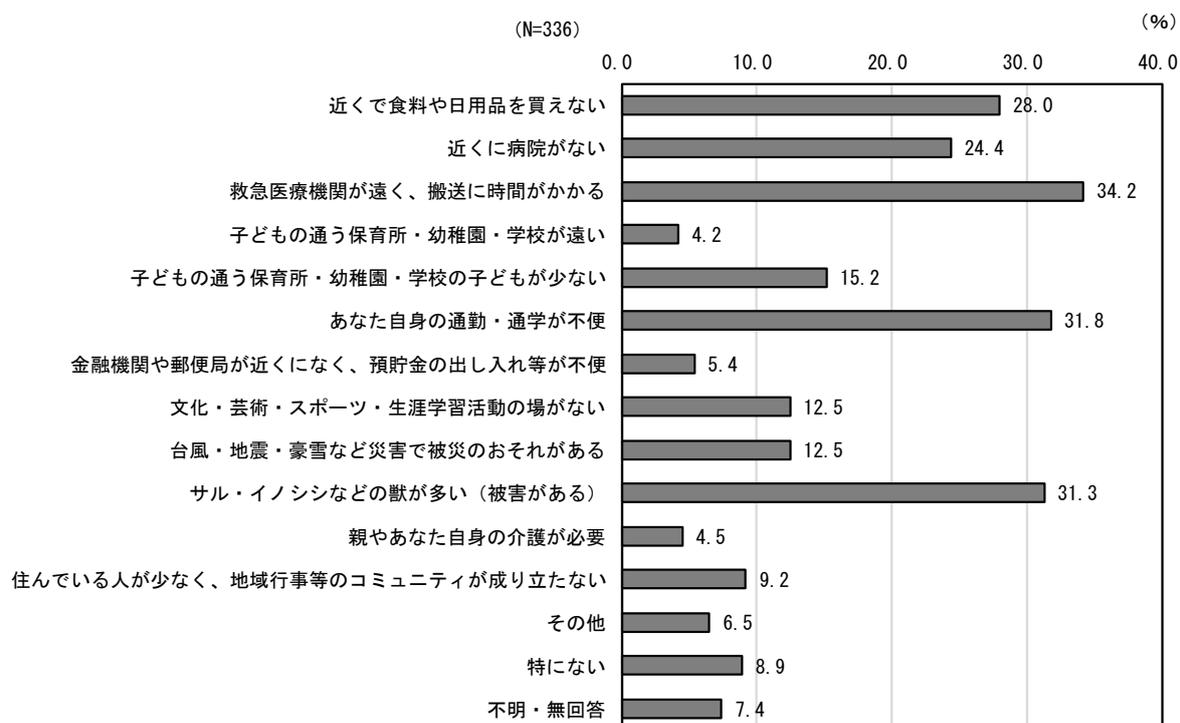
【暮らしやすさ／地区別】



問 11 生活するうえで、現在の困りごとや不安なこと。また、10年後の生活を考えたとき不安なこと（「現在」「10年後」それぞれ、特にあてはまるもの3つまでに○）

①現在の困りごとや不安なこと

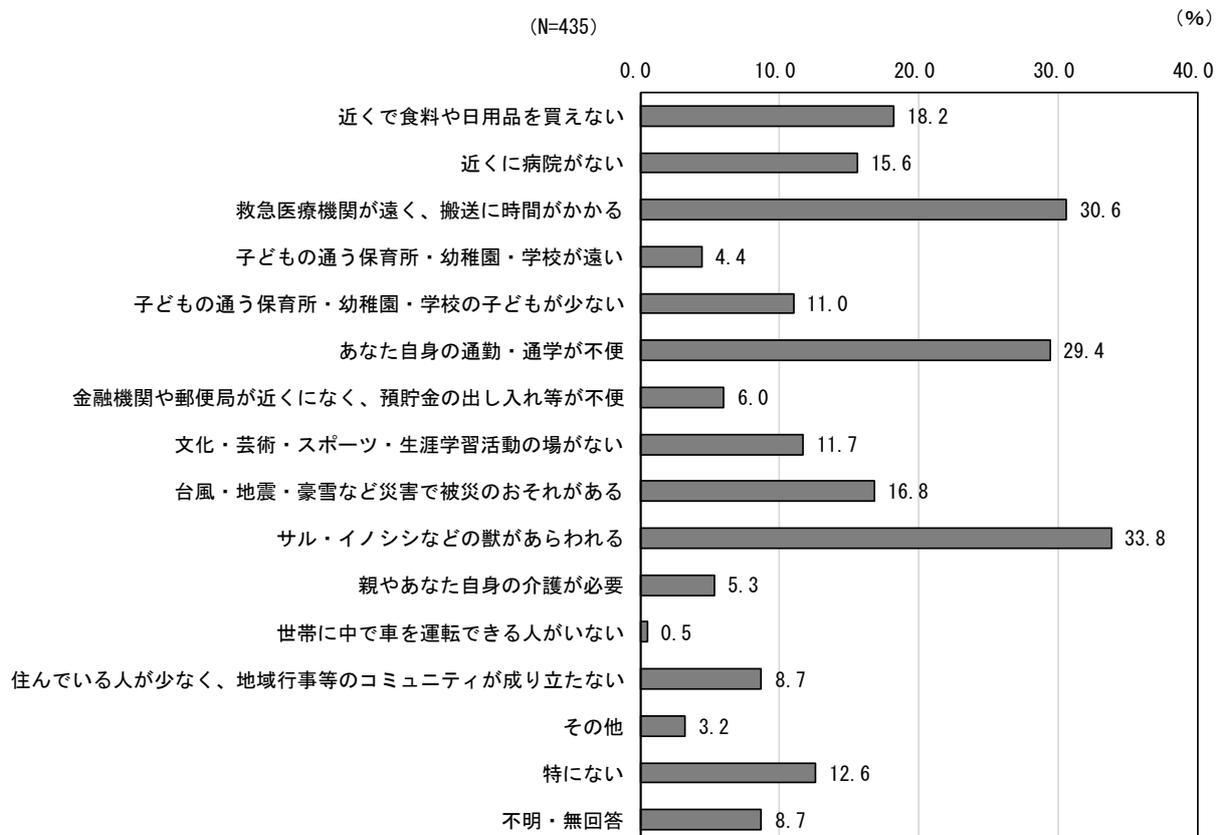
「救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかる」が34.2%と最も多く、次いで「あなた自身の通勤・通学が不便」が31.8%、「サル・イノシシなどの獣が多い（被害がある）」が31.3%となっています。



— 「その他」の回答 —

- 子どもなどの遊び場：雨が降ったとき、子供を遊ばせるところが少ない（3）／子どもの遊ぶ場所が少ない（2）／親や子ども同士のコミュニティの場がない／公園や娯楽（カラオケ）などが少ない／公園の遊具が少ない。レインボーパークをもっと充実させてほしい
- 商業施設・飲食店：遊べるところやショッピングセンターがない（3）／若者向けの服屋などが少ない／商業施設が少ない／お店が少ない／外食店が少ない／ちょっとした総菜やテイクアウトできる飲食店がない
- 交通：公共交通機関をもっと便利にしてほしい／親の車のない生活に不安
- 保育・教育：保育サービス等選択肢がない／障がい児（就学後）の放課後デイのような設備が整っていないので不便／高校が近くにない
- 仕事：やりたいと思える仕事がない
- 暮らし：人が住んでいない家が増えている気がする／カメムシが多すぎる。ゴミの分別／噂話など世間体を気にする方が多い

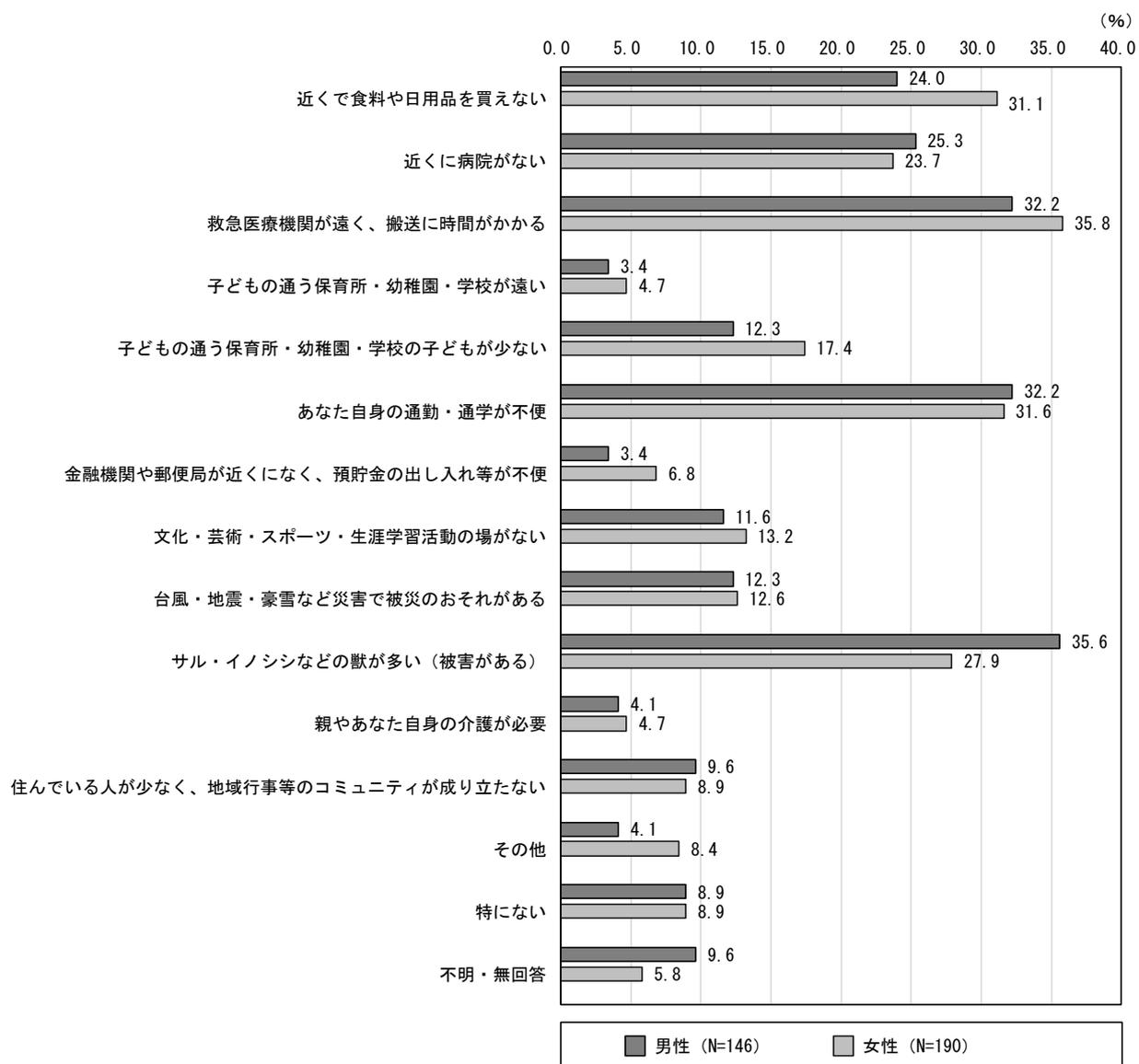
【参考／前回調査の結果】



男女別でみると、男性では「サル・イノシシなどの獣が多い（被害がある）」が最も多く、女性では「救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかる」が最も多くなっています。

男女ともおおそ似た傾向にありますが、男性で「サル・イノシシなどの獣が多い（被害がある）」が女性を7.7ポイント上回っていることや、女性で「近くで食料や日用品を買えない」「救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかる」と「子どもの通う保育所・幼稚園・学校の子どもの数が少ない」などが男性を上回っていることが、やや目立ちます。

【現在の困りごと・不安／男女別】



年齢別にみると、16～19歳と20～23歳では「あなた自身の通勤・通学が不便」が最も多くなっています。24～27歳では「あなた自身の通勤・通学が不便」に加え、「サル・イノシシなどの獣が多い（被害がある）」がともに最も多くなっています。

28～31歳と32～35歳、36～39歳では「救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかる」が最も多くなっています。

【現在の困りごと・不安／年齢別】

(%)

	近くで食料や日用品を買えない	近くに病院がない	救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかる	子どもの通う保育所・幼稚園・学校が遠い	子どもの通う保育所・幼稚園・学校の子供が少ない	あなた自身の通勤・通学が不便	金融機関や郵便局が近くになく、預貯金の出し入れ等が不便	文化・スポーツ・生涯学習活動の場がない	台風・地震・豪雪など災害で被災のおそれがある	サル・イノシシなどの獣が多い（被害がある）
16～19歳 (N=66)	33.3	9.1	9.1	3.0	6.1	43.9	9.1	9.1	4.5	31.8
20～23歳 (N=36)	33.3	36.1	33.3	5.6	5.6	52.8	5.6	13.9	16.7	38.9
24～27歳 (N=46)	21.7	21.7	30.4	2.2	6.5	32.6	0.0	6.5	10.9	32.6
28～31歳 (N=51)	27.5	21.6	43.1	5.9	13.7	33.3	5.9	9.8	17.6	33.3
32～35歳 (N=61)	27.9	32.8	39.3	4.9	29.5	26.2	3.3	21.3	18.0	26.2
36～39歳 (N=74)	24.3	29.7	47.3	4.1	20.3	14.9	6.8	13.5	10.8	28.4

(%)

	親やあなた自身の介護が必要	住んでいる人が少なく、地域行事等のコミュニティが成り立たない	その他	特になし	不明・無回答
16～19歳 (N=66)	1.5	10.6	6.1	9.1	9.1
20～23歳 (N=36)	2.8	2.8	2.8	2.8	8.3
24～27歳 (N=46)	4.3	8.7	4.3	17.4	8.7
28～31歳 (N=51)	5.9	15.7	5.9	7.8	2.0
32～35歳 (N=61)	6.6	9.8	9.8	8.2	9.8
36～39歳 (N=74)	5.4	6.8	8.1	8.1	6.8

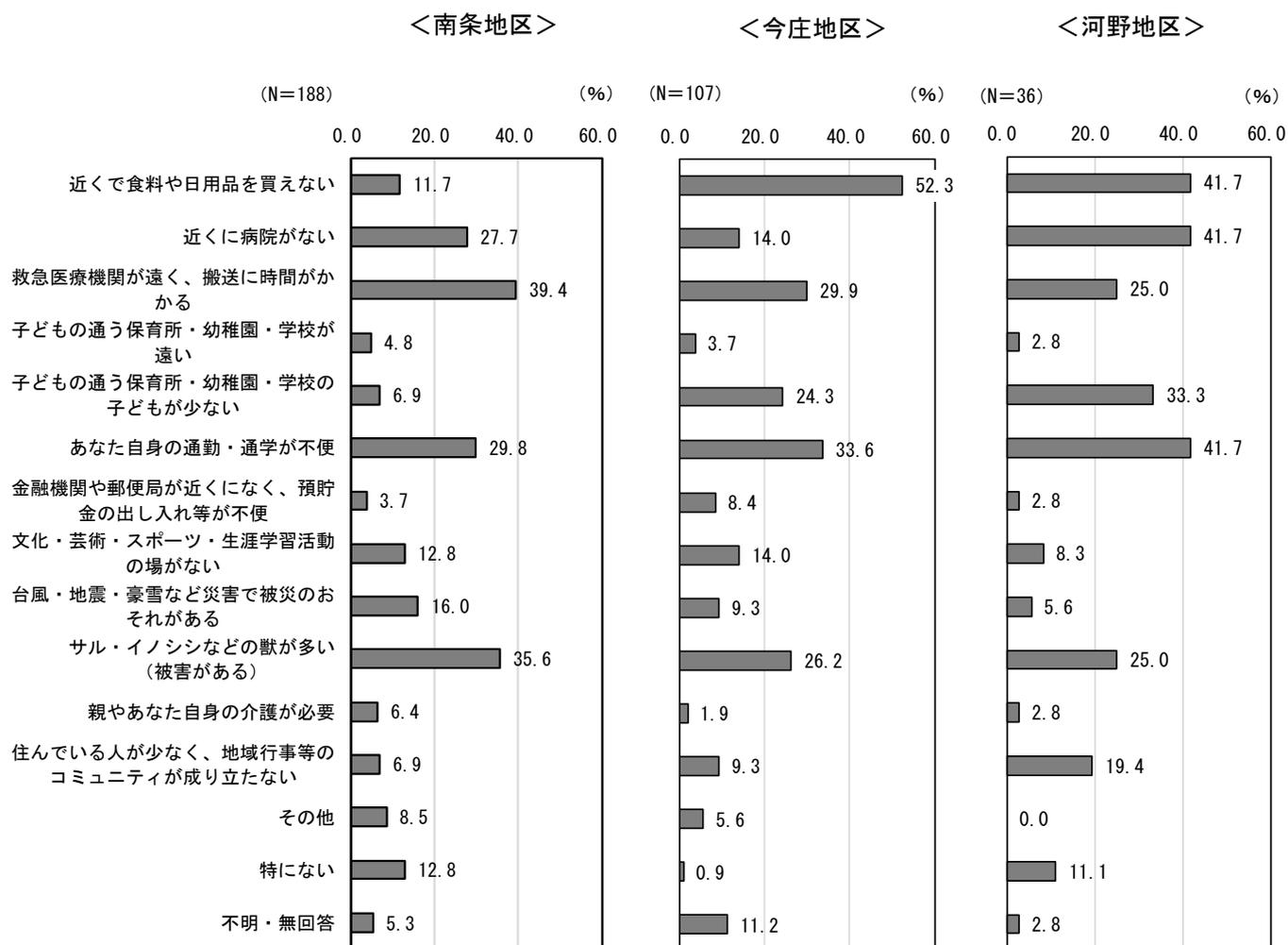
※表の濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの
※項目（選択肢）が多いため、表をふたつに分割して表示

地区別でみると、南条地区では「救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかる」が、今庄地区では「近くで食料や日用品を買えない」が、河野地区では「近くで食料や日用品を買えない」「近くに病院がない」と「あなた自身の通勤・通学が不便」がいずれも最も多くなっています。

特に、南条地区では「近くで食料や日用品を買えない」と「子どもの通う保育所・幼稚園・学校の子どもの数が少ない」が他地区に比べて少なくなっています。

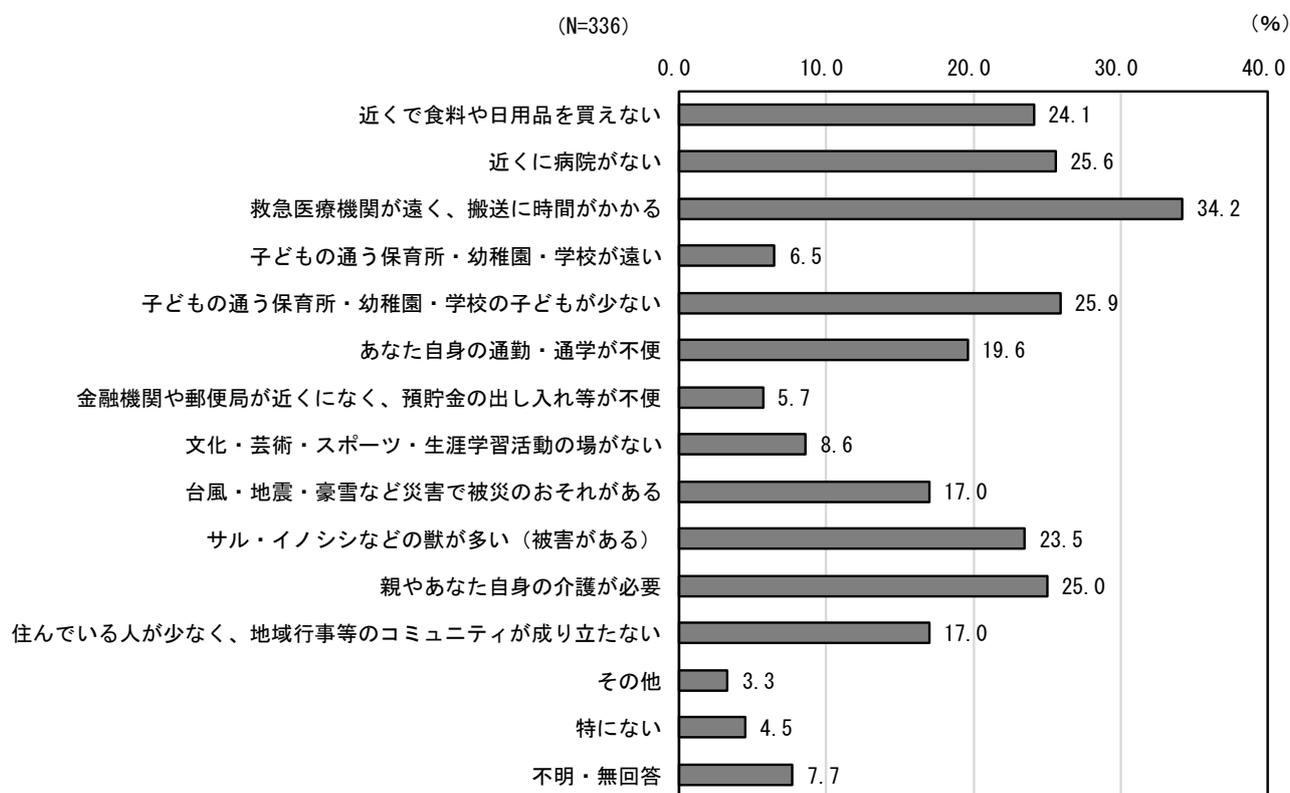
河野地区では「近くに病院がない」が、他地区に比べて突出して多くなっています。

【現在の困りごと・不安／地区別】



②10年後の生活を考えたとき不安なこと

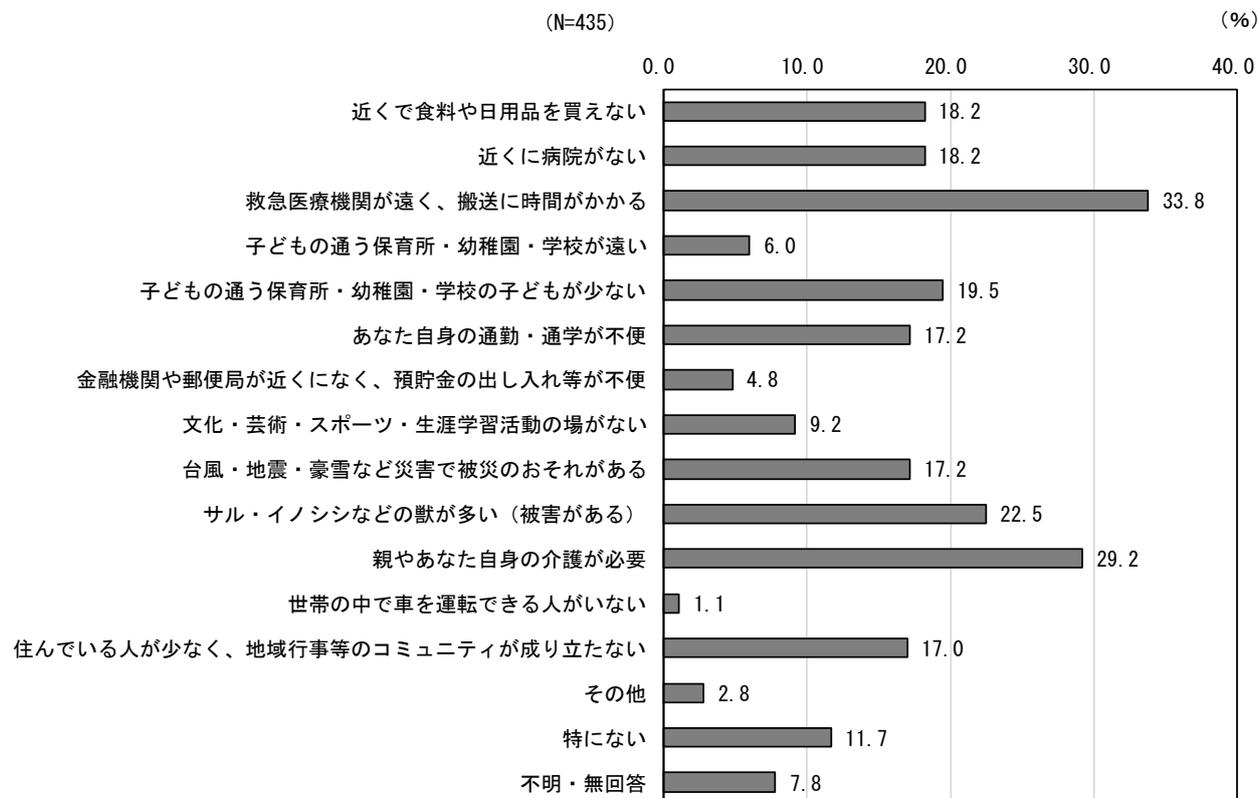
「救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかる」が34.2%と最も多く、次いで「子どもの通う保育所・幼稚園・学校の子供が少ない」が25.9%、「近くに病院がない」が25.6%となっています。



— 「その他」の回答 —

- 子どもなどの遊び場：雨天を気にせず子どもを連れて出かけられるところがない／遊ぶ場所が少ない／公園などがなく、子どもが楽しめる場所が欲しい／公園や娯楽（カラオケ）などが少ない／公園の遊具が少ない
- 商業施設・飲食店：若者向けの服屋などが無い
- 交通：新幹線や高速道路で騒がしくなる（2）／公共交通機関をもっと便利にしてほしい
- 仕事：やりたいと思える仕事がない
- 暮らし：人が住んでいない家が増えている気がする

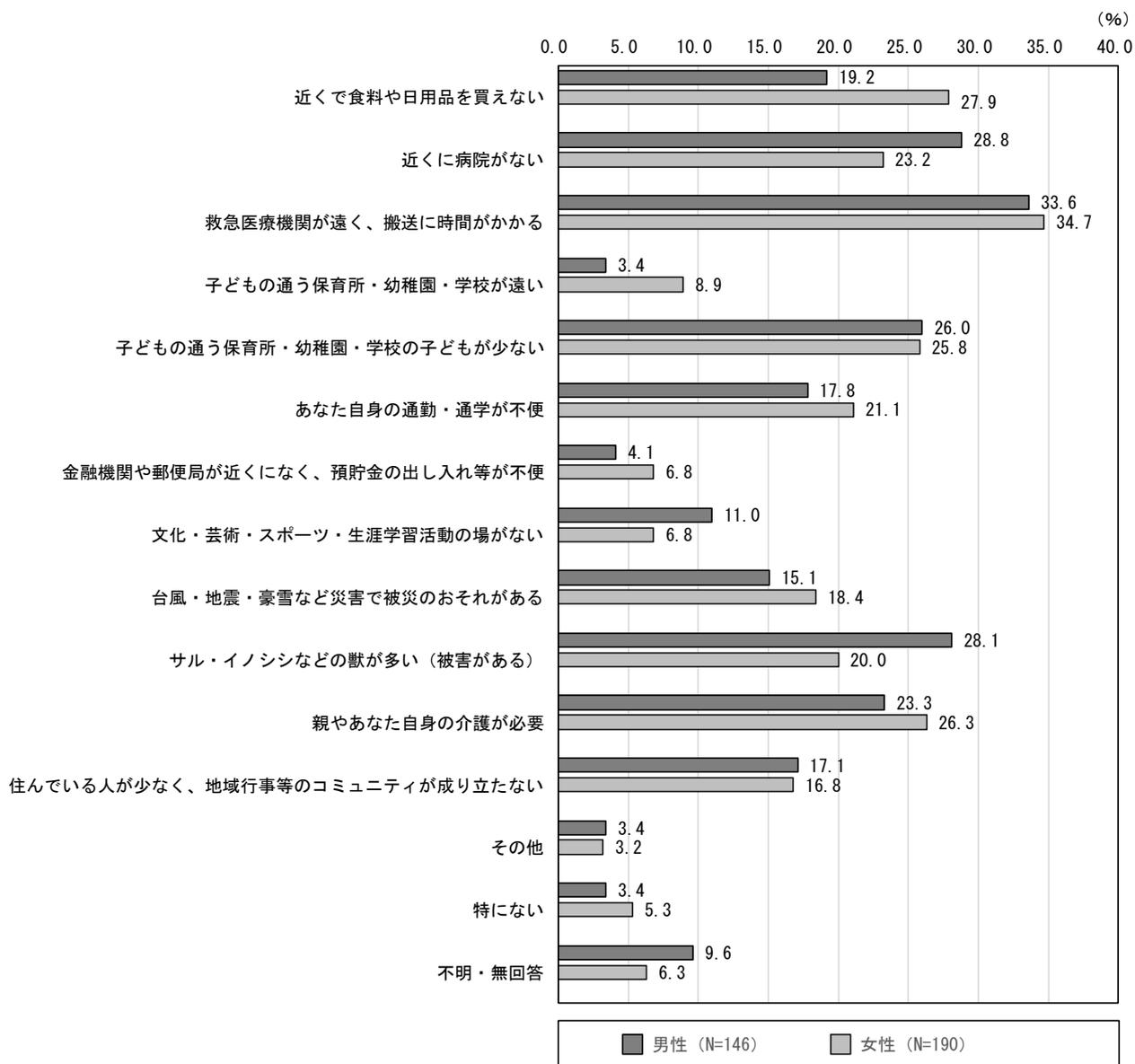
【参考／前回調査の結果】



男女別でみると、男女ともに「救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかる」が最も多くなっています。

男女ともおおそ似た傾向にあります。男性で「近くに病院がない」と「サル・イノシシなどの獣が多い（被害がある）」が女性を上回っていることや、女性で「近くで食料や日用品を買えない」と「子どもの通う保育所・幼稚園・学校が遠い」が男性を上回っていることが、やや目立ちます。

【10年後の生活で不安なこと／男女別】



年齢別にみると、16～19歳では「近くで食料や日用品を買えない」が、20～23歳では「あなた自身の通勤・通学が不便」が、24～27歳以上では「救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかる」が最も多くなっています。

【10年後の生活で不安なこと／年齢別】

(%)

	近くで食料や日用品を買えない	近くに病院がない	救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかる	子どもの通う保育所・幼稚園・学校が遠い	子どもの通う保育所・幼稚園・学校の子どもの数が少ない	あなた自身の通勤・通学が不便	金融機関や郵便局が近くになく、預貯金の出し入れ等が不便	文化・芸術・スポーツ・生涯学習活動の場がない	台風・地震・豪雪など災害で被災のおそれがある	サル・イノシシなどの獣が多い(被害がある)
16～19歳 (N=66)	28.8	15.2	12.1	7.6	16.7	25.8	6.1	9.1	6.1	22.7
20～23歳 (N=36)	25.0	33.3	30.6	5.6	30.6	36.1	8.3	11.1	22.2	27.8
24～27歳 (N=46)	19.6	26.1	32.6	2.2	23.9	23.9	2.2	8.7	19.6	19.6
28～31歳 (N=51)	23.5	17.6	45.1	7.8	25.5	19.6	7.8	5.9	19.6	19.6
32～35歳 (N=61)	24.6	29.5	37.7	11.5	32.8	16.4	3.3	9.8	21.3	26.2
36～39歳 (N=74)	21.6	32.4	45.9	4.1	25.7	6.8	6.8	8.1	17.6	24.3

(%)

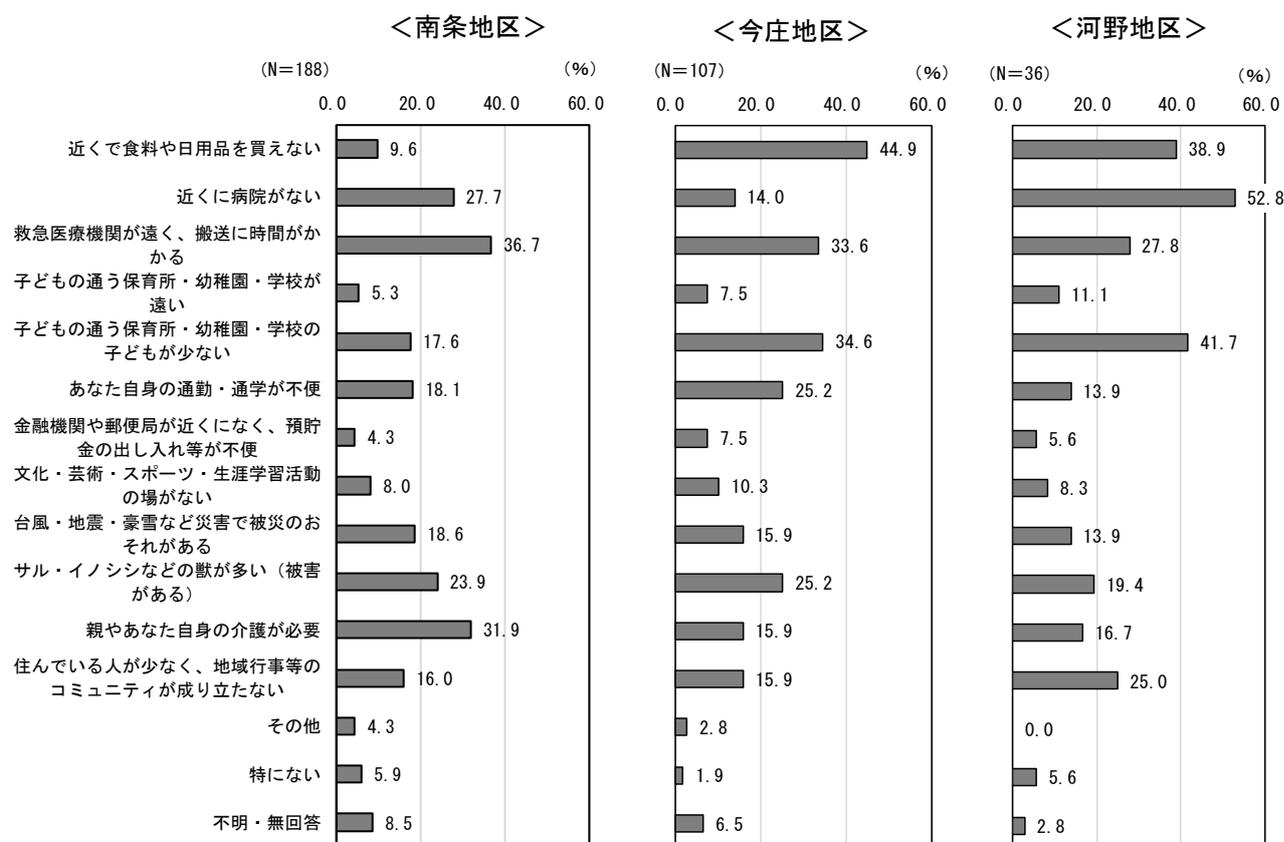
	親やあなた自身の介護が必要	住んでいる人が少なく、地域行事等のコミュニティが成り立たない	その他	特になし	不明・無回答
16～19歳 (N=66)	10.6	21.2	3.0	6.1	12.1
20～23歳 (N=36)	25.0	19.4	0.0	0.0	8.3
24～27歳 (N=46)	23.9	17.4	0.0	4.3	8.7
28～31歳 (N=51)	25.5	19.6	2.0	3.9	9.8
32～35歳 (N=61)	34.4	14.8	4.9	4.9	4.9
36～39歳 (N=74)	31.1	12.2	6.8	5.4	4.1

※表の濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの
※項目（選択肢）が多いため、表をふたつに分割して表示

地区別でみると、南条地区では「救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかる」が、今庄地区では「近くで食料や日用品を買えない」が、河野地区では「近くに病院がない」が最も多くなっています。

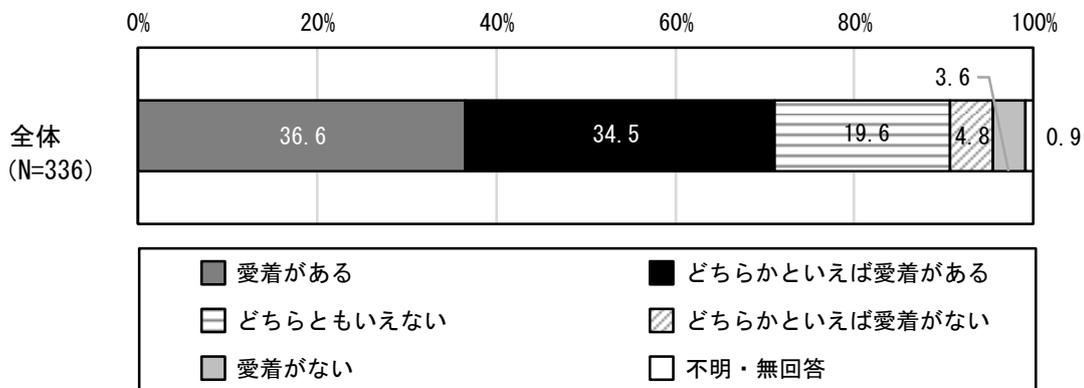
南条地区では「近くで食料や日用品を買えない」が他地区に比べて突出して少なくなっています。河野地区では最も多かった「近くに病院がない」に加え、「子どもの通う保育所・幼稚園・学校の子どもの数が少ない」と「住んでいる人が少なく、地域行事等のコミュニティが成り立たない」が他地区に比べて多いのが目立ちます。

【10年後の生活で不安なこと／地区別】

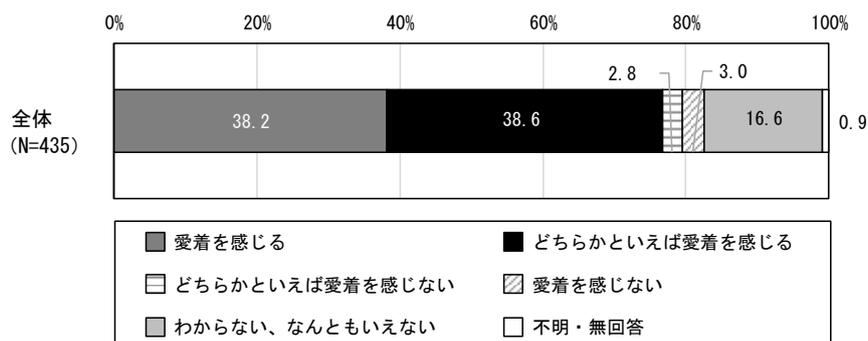


問 12 (1) 南越前町に愛着を感じているか (1つに〇)

「愛着がある」が 36.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば愛着がある」が 34.5%、「どちらともいえない」が 19.6%となっています。



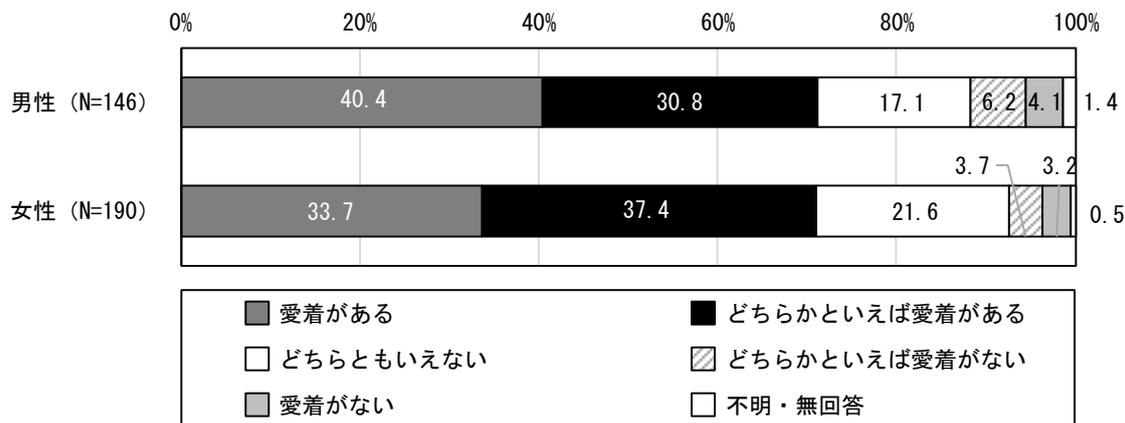
【参考／前回調査の結果】



男女別でみると、男性では「愛着がある」が最も多く、女性では「どちらかといえば愛着がある」が最も多くなっています。

「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた割合は、男性で71.2%、女性で71.2%と、ほぼ同率となっています。

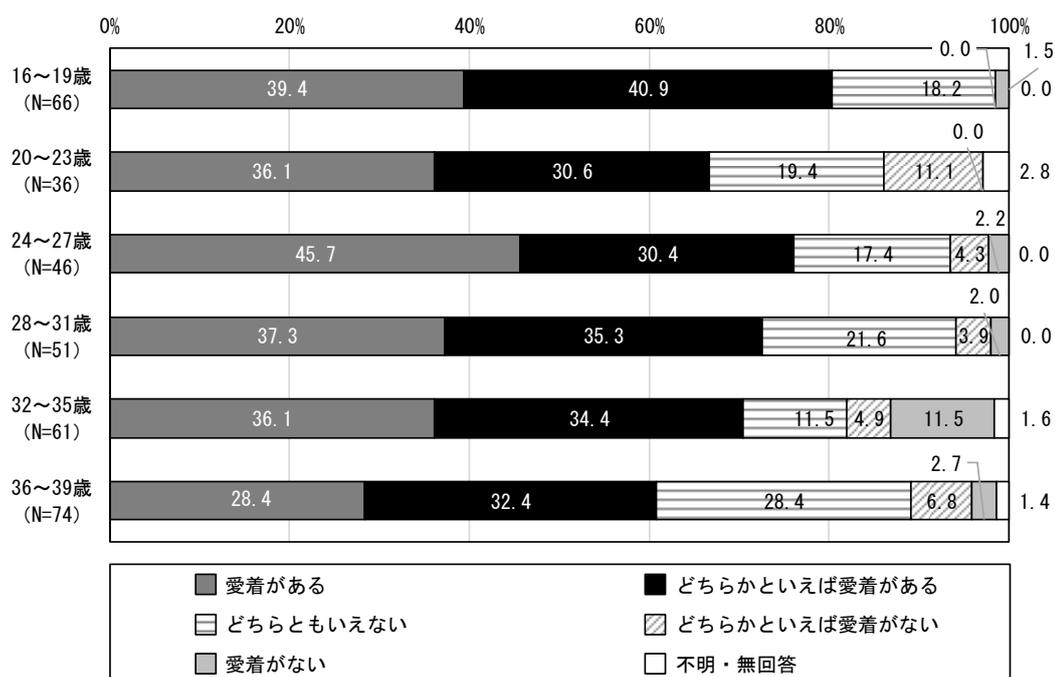
【愛着の有無／男女別】



年齢別でみると、24～27歳で「愛着がある」が最も多くなり、その後、年齢層が上がることも減少しています。特に36～39歳では「愛着がある」が3割を下回っています。

「愛着がある」と「どちらかといえば愛着がある」を合わせた割合は、すべての年齢層で6割を超えています。中でも16～19歳では8割を超えています。

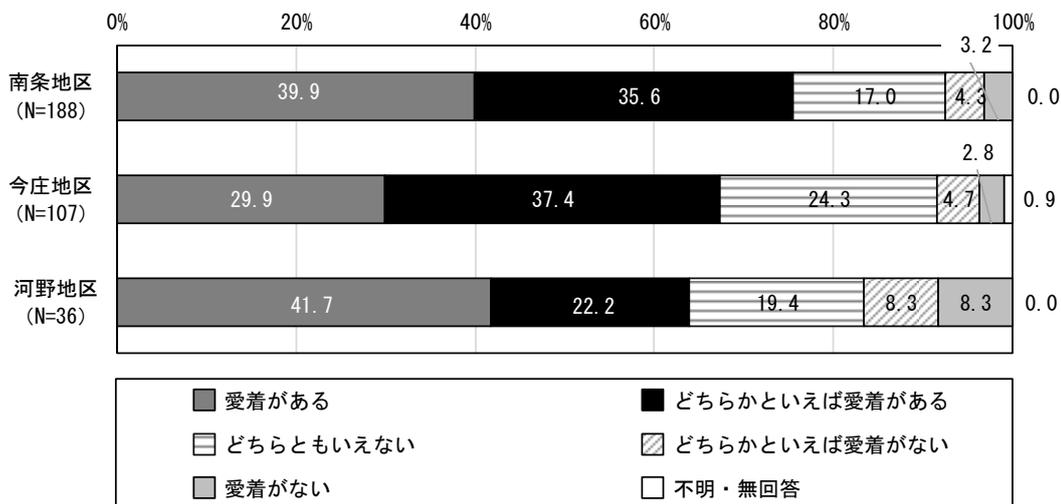
【愛着の有無／年齢別】



地区別でみると、南条地区と河野地区では「愛着がある」が、今庄地区では「どちらかといえ
ば愛着がある」が、最も多くなっています。

「愛着がある」と「どちらかといえは愛着がある」を合わせた割合は、南条地区が75.7%
と、他地区と比べて最も多くなっています。

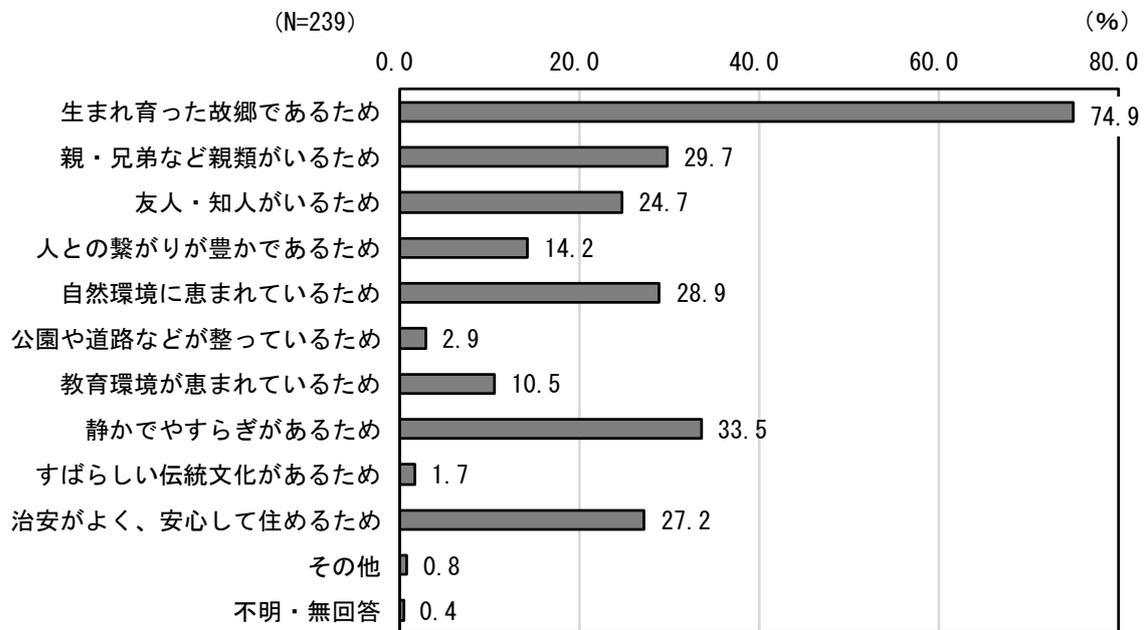
【愛着の有無／地区別】



問 12 (1) で「愛着がある」または「どちらかといえば愛着がある」を選んだ人への質問

問 12 (2) 愛着を感じる理由 (特にあてはまるもの3つまでに○)

「生まれ育った故郷であるため」が 74.9%と最も多く、次いで「静かでやすらぎがあるため」が 33.5%、「親・兄弟など親類がいるため」が 29.7%となっています。



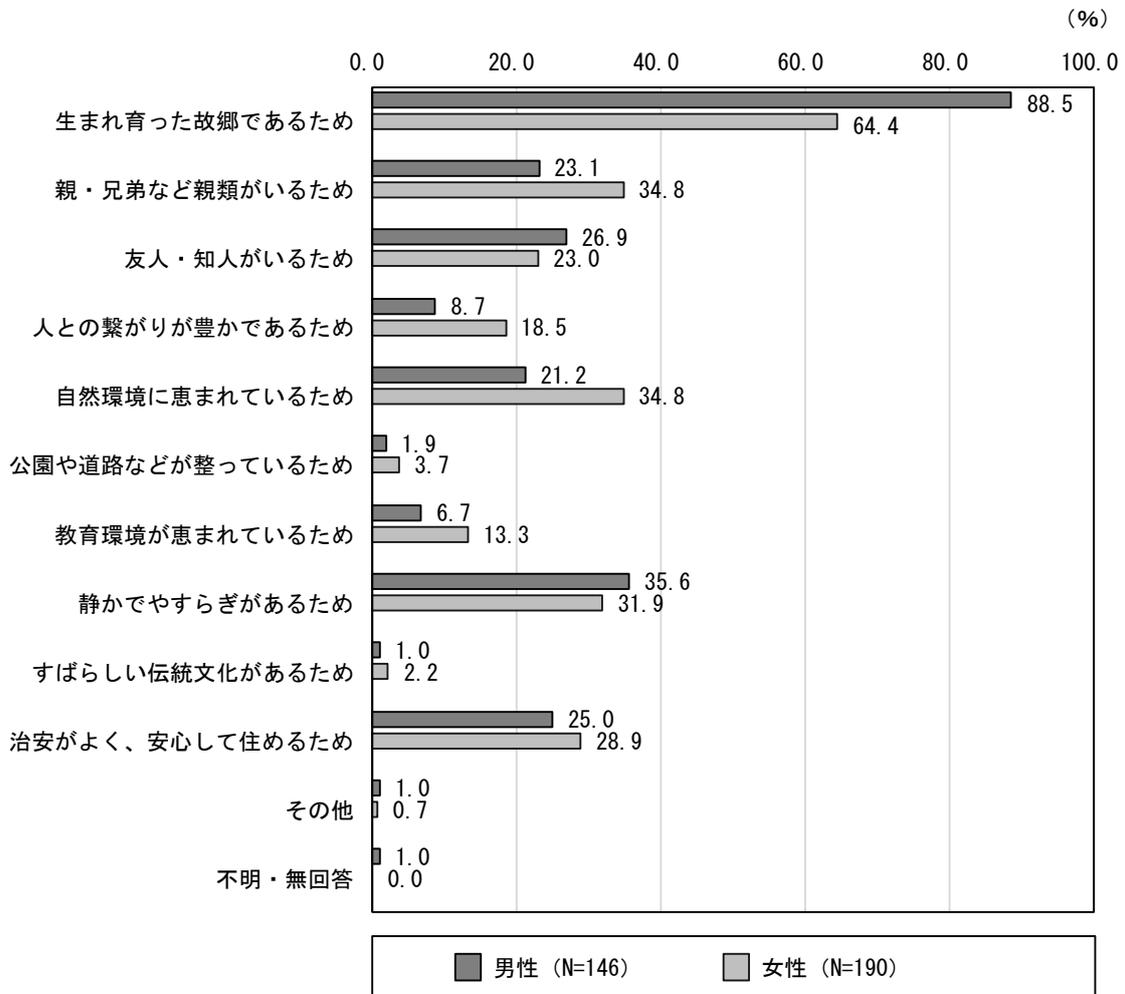
— 「その他」の回答 —

夫の育った故郷であるため／関係人口づくりや多拠点促進事業など、ユニークな事業を行っている

男女別でみると、男女ともに「生まれ育った故郷であるため」が最も多くなっています。ただしその割合は、男性が女性を24.1ポイント上回っています。

「親・兄弟など親類がいるため」と「自然環境に恵まれているため」で、女性が男性を大きく上回っているのが目立ちます。

【愛着の理由／男女別】



年齢別でみると、すべての年齢層で「生まれ育った故郷であるため」が最も多くなっています。36～39歳を除くすべての年齢層で「生まれ育った故郷であるため」が7割を超え、中でも20～23歳では8割を超えています。

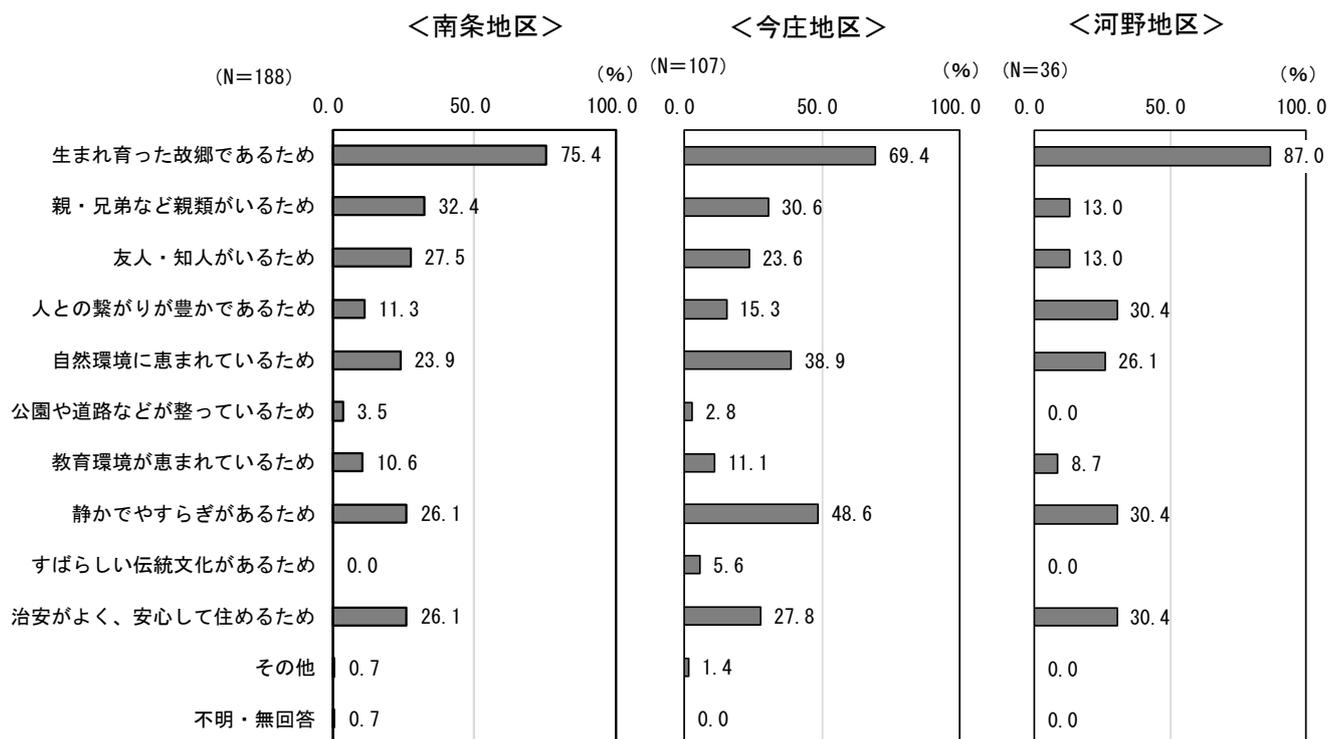
【愛着の理由／年齢別】

	生まれ育った故郷であるため	親・兄弟など親類がいるため	友人・知人がいるため	人との繋がりが豊かであるため	自然環境に恵まれているため	公園や道路などが整っているため	教育環境が恵まれているため	静かでやすらぎがあるため	すばらしい伝統文化があるため	治安がよく、安心して住めるため	その他	不明・無回答
16～19歳 (N=53)	79.2	20.8	26.4	20.8	18.9	1.9	17.0	32.1	3.8	37.7	0.0	0.0
20～23歳 (N=24)	83.3	37.5	29.2	8.3	33.3	4.2	0.0	37.5	0.0	37.5	0.0	0.0
24～27歳 (N=35)	77.1	17.1	22.9	17.1	25.7	0.0	5.7	42.9	0.0	28.6	0.0	0.0
28～31歳 (N=37)	70.3	43.2	24.3	13.5	37.8	10.8	18.9	24.3	2.7	18.9	0.0	0.0
32～35歳 (N=43)	79.1	37.2	30.2	4.7	30.2	2.3	7.0	30.2	2.3	9.3	2.3	0.0
36～39歳 (N=45)	62.2	28.9	15.6	17.8	31.1	0.0	6.7	37.8	0.0	31.1	2.2	2.2

※表の濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの

地区別でみると、すべての地区で「生まれ育った故郷であるため」が最も多くなっています。南条地区と今庄地区はおおむね似た傾向にありますが、河野地区では「親・兄弟など親類がいるため」と「友人・知人がいるため」が他地区と比べて少なく、「人との繋がりが豊かであるため」が多いことが目立ちます

【愛着の理由／地区別】



■まちづくりについて

問 13 これまで進めてきた町の取組みについて、現在の評価（満足度）と今後への期待（重要度）
（それぞれ1つに○）

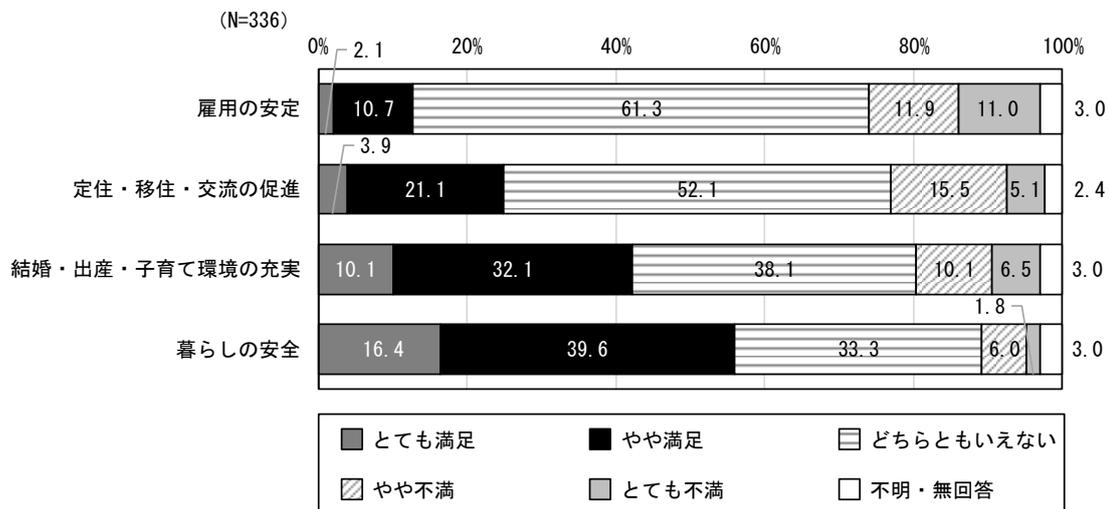
<満足度>

雇用の安定では、「どちらともいえない」が61.3%と最も多く、次いで「やや不満」が11.9%、「とても不満」が11.0%となっています。

定住・移住・交流の促進では、「どちらともいえない」が52.1%と最も多く、次いで「やや満足」が21.1%、「やや不満」が15.5%となっています。

結婚・出産・子育て環境の充実では、「どちらともいえない」が38.1%と最も多く、次いで「やや満足」が32.1%、「とても満足」と「やや不満」がともに10.1%となっています。

暮らしの安全では、「やや満足」が39.6%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が33.3%、「とても満足」が16.4%となっています。



項目	「とても満足」「やや満足」の合計 (%)	「とても不満」と「やや不満」の合計 (%)
雇用の安定	12.8	22.9
定住・移住・交流の促進	25.0	20.6
結婚・出産・子育て環境の充実	42.2	16.6
暮らしの安全	56.0	7.8

男女別でみると、定住・移住・交流の促進と結婚・出産・子育て環境の充実で、男女間の差が比較的大きくなっています。

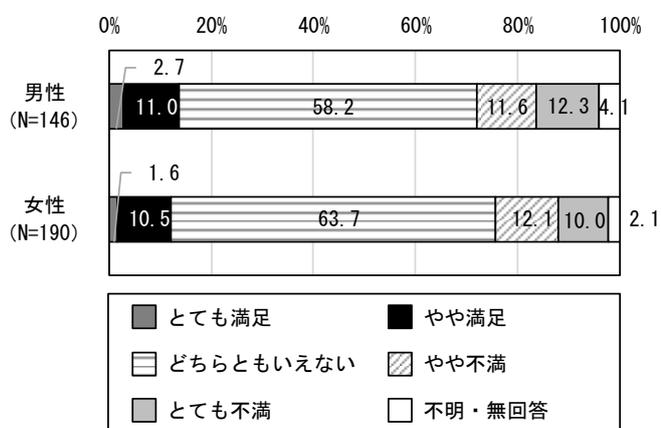
定住・移住・交流の促進では、女性の満足度（「とても満足」と「やや満足」を合わせた割合）が、男性を6.7ポイント上回っています。

結婚・出産・子育て環境の充実では、女性の満足度が男性を8.1ポイント上回っています。

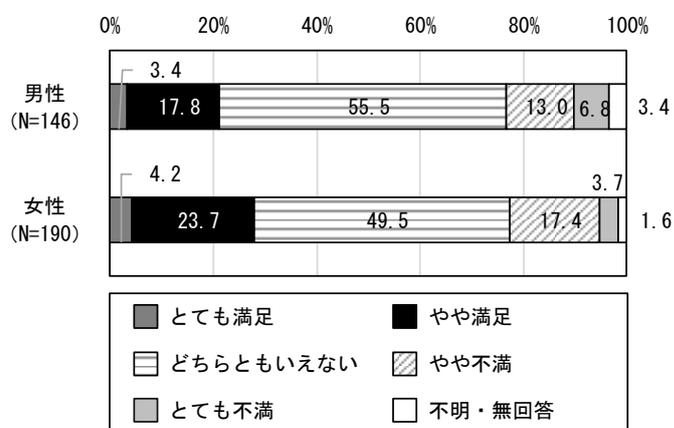
また、全体的には暮らしの安全が、他の項目に比べて男女とも満足度が高くなっています。

【満足度／男女別】

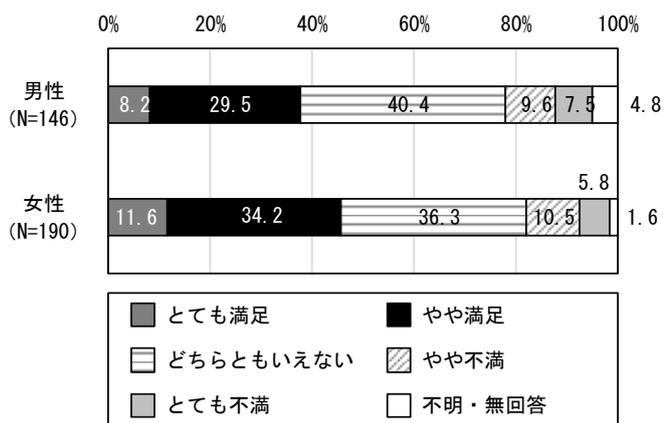
雇用の安定



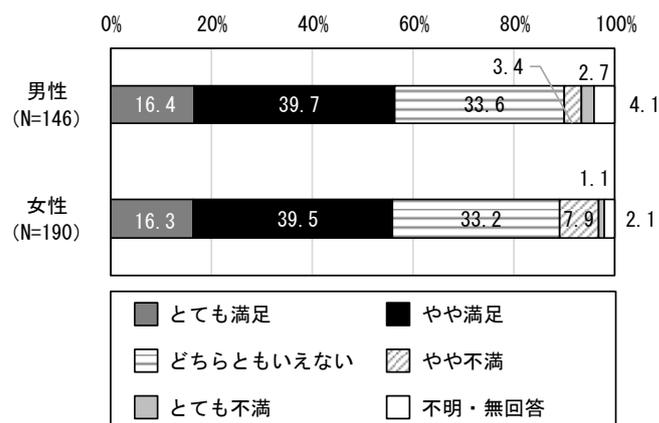
定住・移住・交流の促進



結婚・出産・子育て環境の充実



暮らしの安全



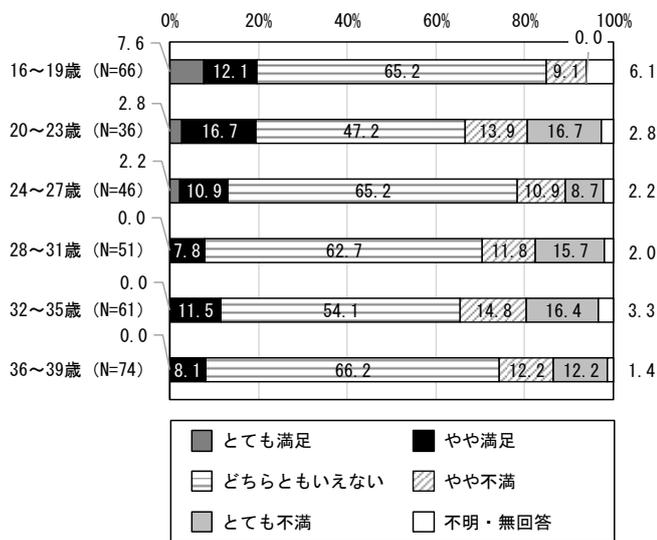
年齢別で見ると、雇用の安定と定住・移住・交流の促進ではおおむね、年齢層が上がるにつれ、「とても満足」が低くなる傾向となっています。

結婚・出産・子育て環境の充実では、28～31歳と36～39歳で、満足度が特に高くなっています。

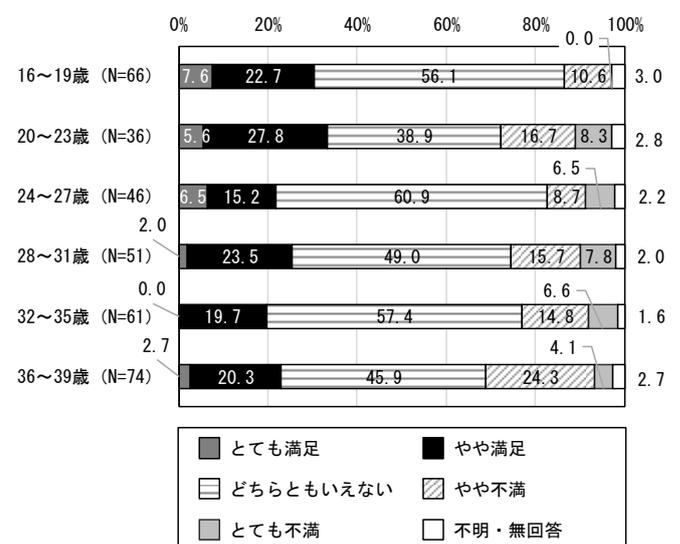
暮らしの安全では、年齢層上がるにつれ、満足度が低くなっていますが、36～39歳で満足度が半数近くにまで高くなっています。

【満足度／年齢別】

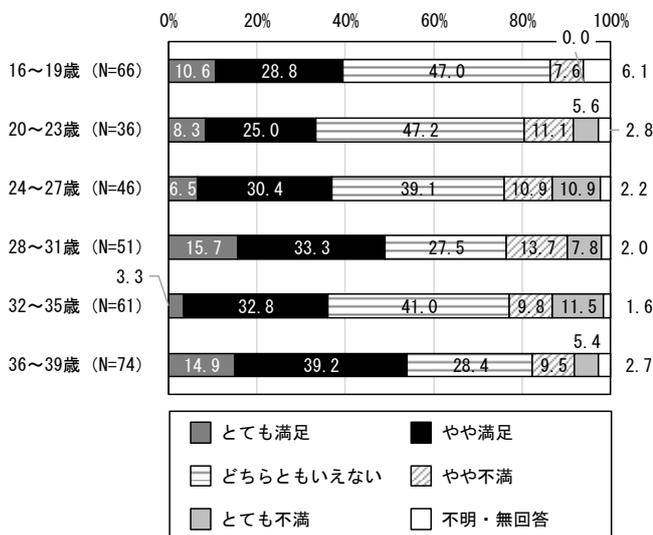
雇用の安定



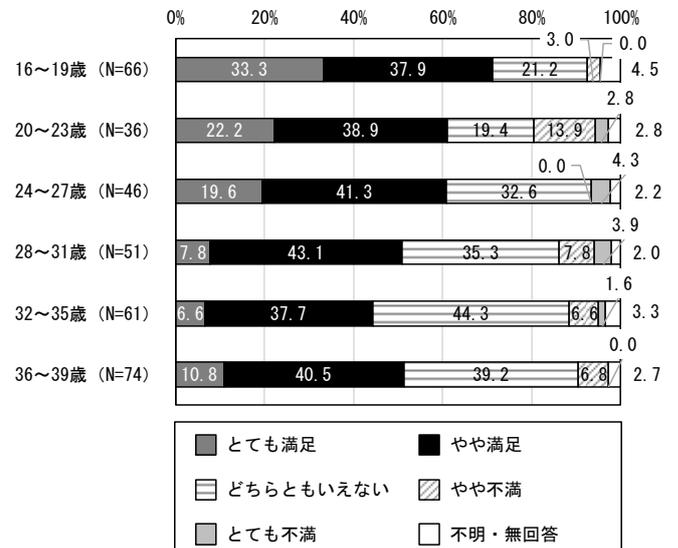
定住・移住・交流の促進



結婚・出産・子育て環境の充実



暮らしの安全



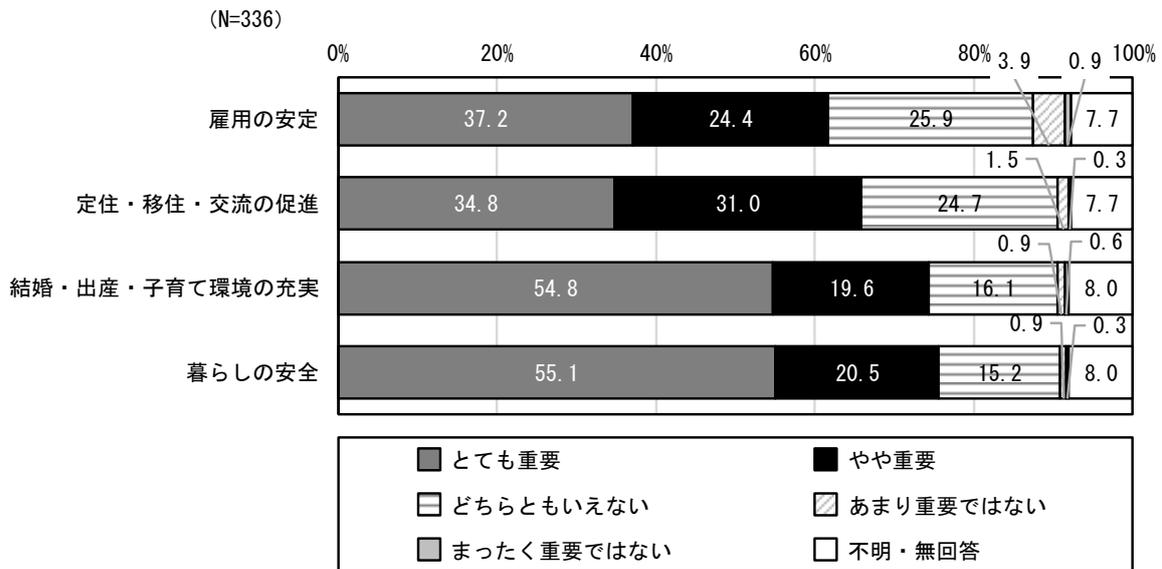
<重要度>

雇用の安定では、「とても重要」が37.2%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が25.9%、「やや重要」が24.4%となっています。

定住・移住・交流の促進では、「とても重要」が34.8%と最も多く、次いで「やや重要」が31.0%、「どちらともいえない」が24.7%となっています。

結婚・出産・子育て環境の充実では、「とても重要」が54.8%と最も多く、次いで「やや重要」が19.6%、「どちらともいえない」が16.1%となっています。

暮らしの安全では、「とても重要」が55.1%と最も多く、次いで「やや重要」が20.5%、「どちらともいえない」が15.2%となっています。

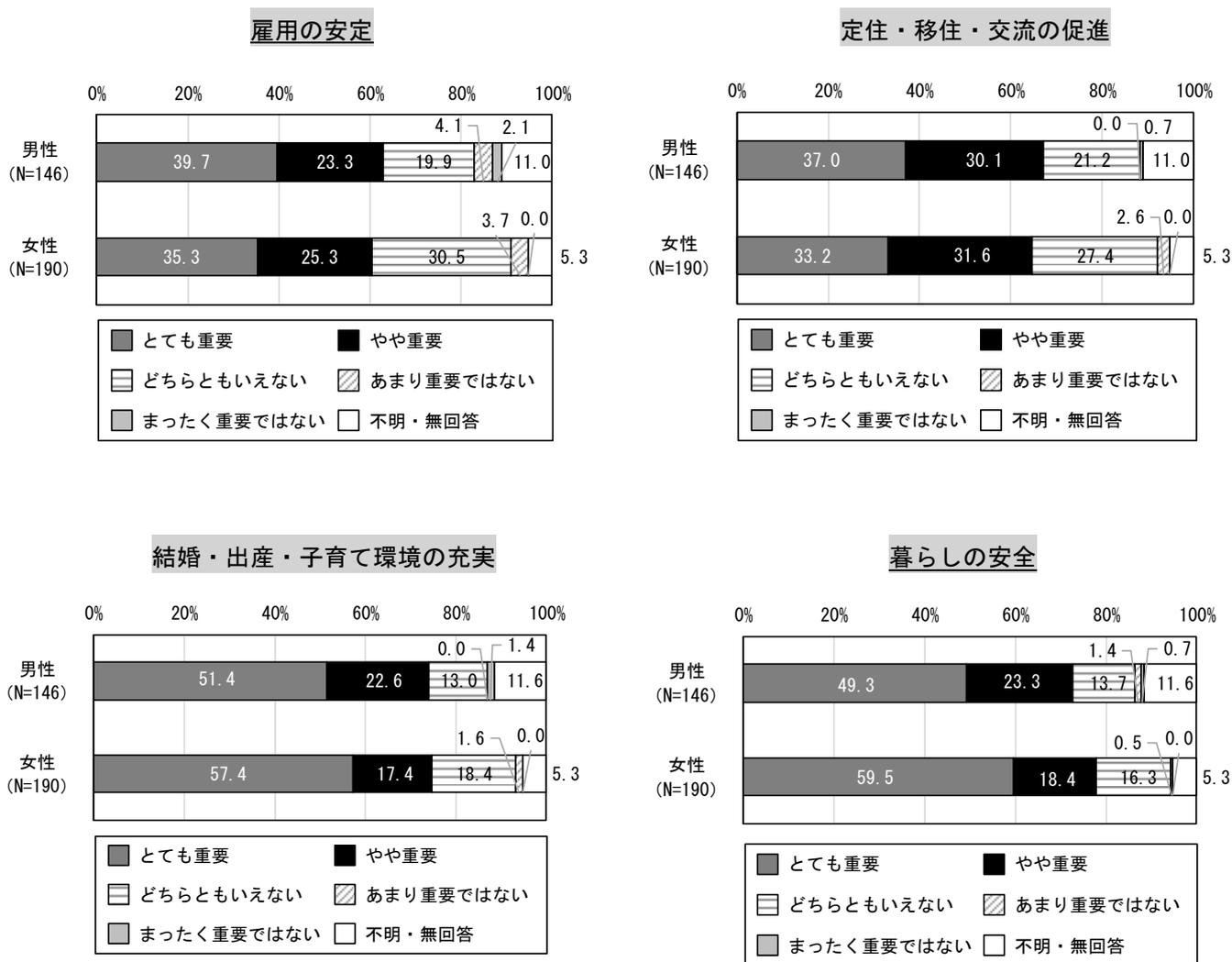


項目	「とても重要」と「やや重要」の合計 (%)	「あまり重要ではない」と「まったく重要ではない」の合計 (%)
雇用の安定	61.6	4.8
定住・移住・交流の促進	65.8	1.8
結婚・出産・子育て環境の充実	74.4	1.5
暮らしの安全	75.6	1.2

男女別でみると、雇用の安定と定住・移住・交流の促進では男性のほうが、結婚・出産・子育て環境の充実と暮らしの安全では女性のほうが、重要度（「とても重要」と「やや重要」を合わせた割合）がやや高くなっています。

また、結婚・出産・子育て環境の充実と暮らしの安全では、男女ともに重要度が7割を上回っています。

【重要度／男女別】

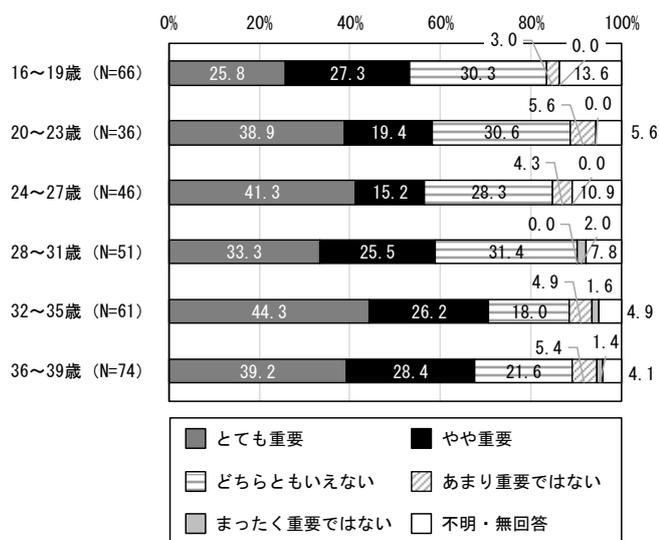


年齢別でみると、雇用の安定と定住・移住・交流の促進では32～35歳と36～39歳で、重要度が他の年齢層に比べて高くなっています。結婚・出産・子育て環境の充実では年齢層が上がるにつれ、重要度が高くなる傾向となっています。暮らしの安全では20～23歳と32～35歳、36歳～39歳で、重要度が他の年齢層に比べて高くなっています。

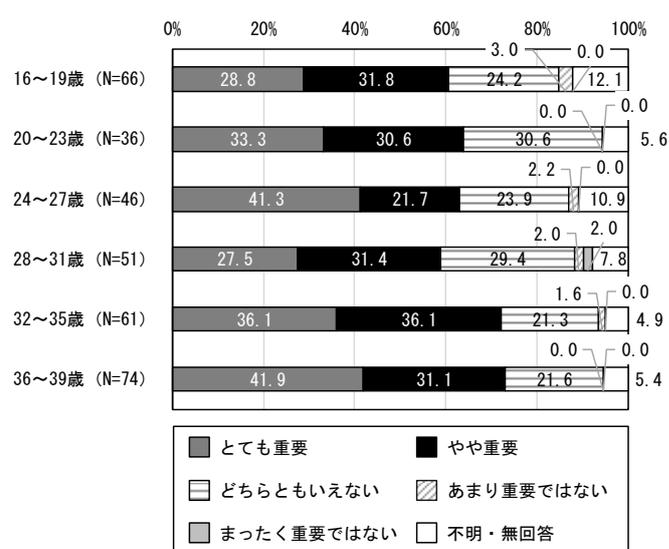
また、すべての項目のほぼすべての年齢層で、重要度が6割を超えています。

【重要度／年齢別】

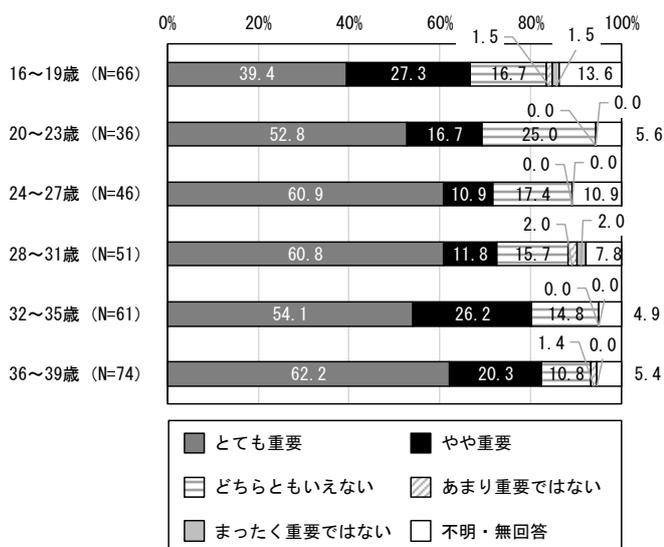
雇用の安定



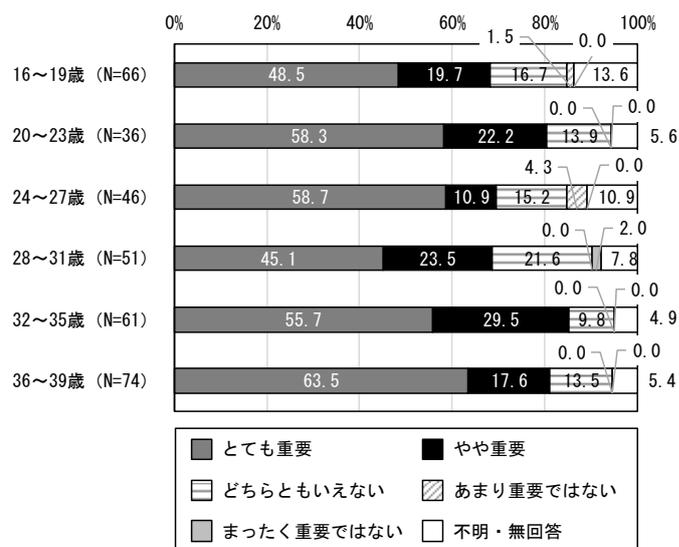
定住・移住・交流の促進



結婚・出産・子育て環境の充実



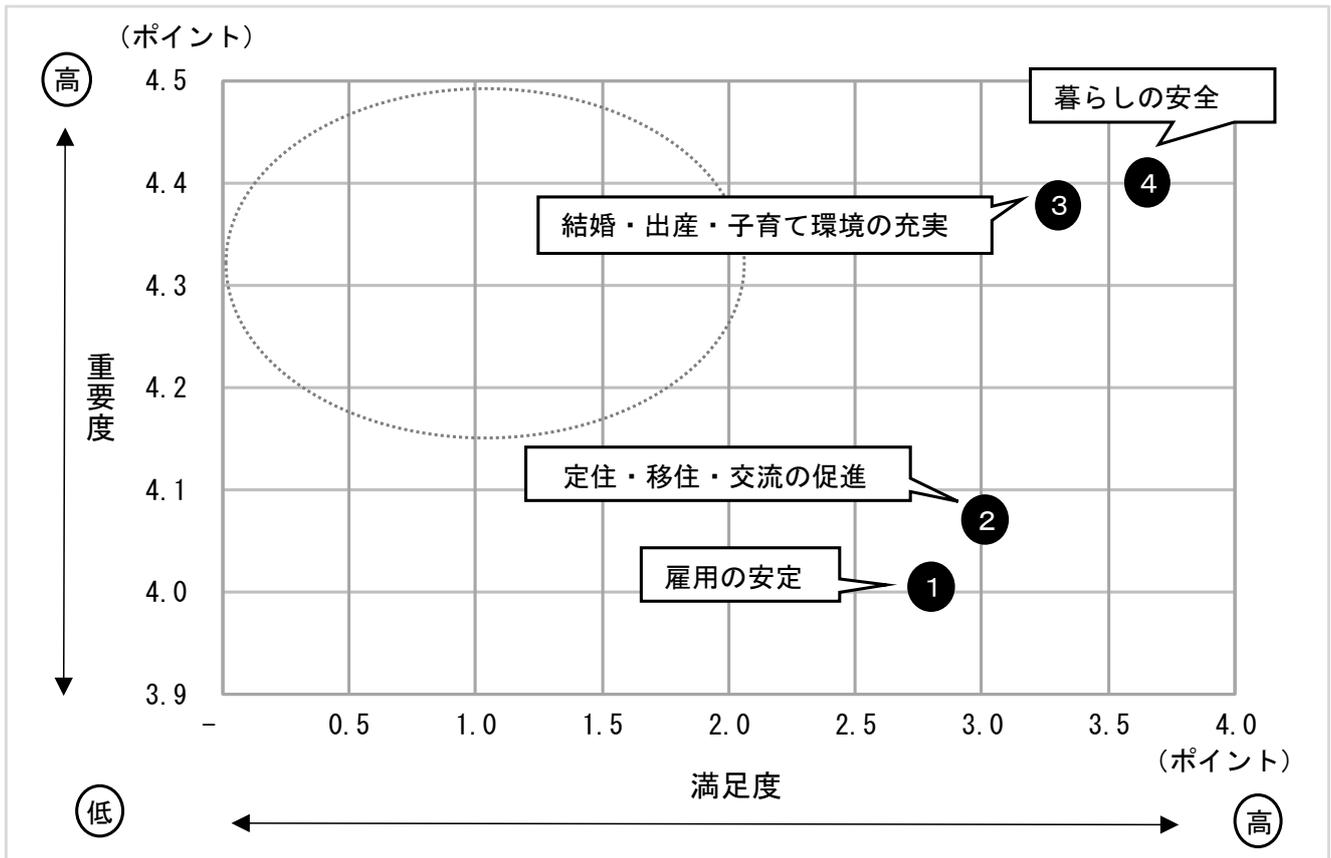
暮らしの安全



<問 13 分布図>

満足度と重要度の結果をポイント（点数）に換算し、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定した分布図上に配置すると、満足度・重要度ともに最もポイントが高いのは「暮らしの安全」となっています。

おおむね、重要度の高い項目は満足度も高めとなっており、「重要度が高いのに、満足度が低い」（図の左上、点線で囲まれたエリア）という条件に一致する項目はありませんでした。



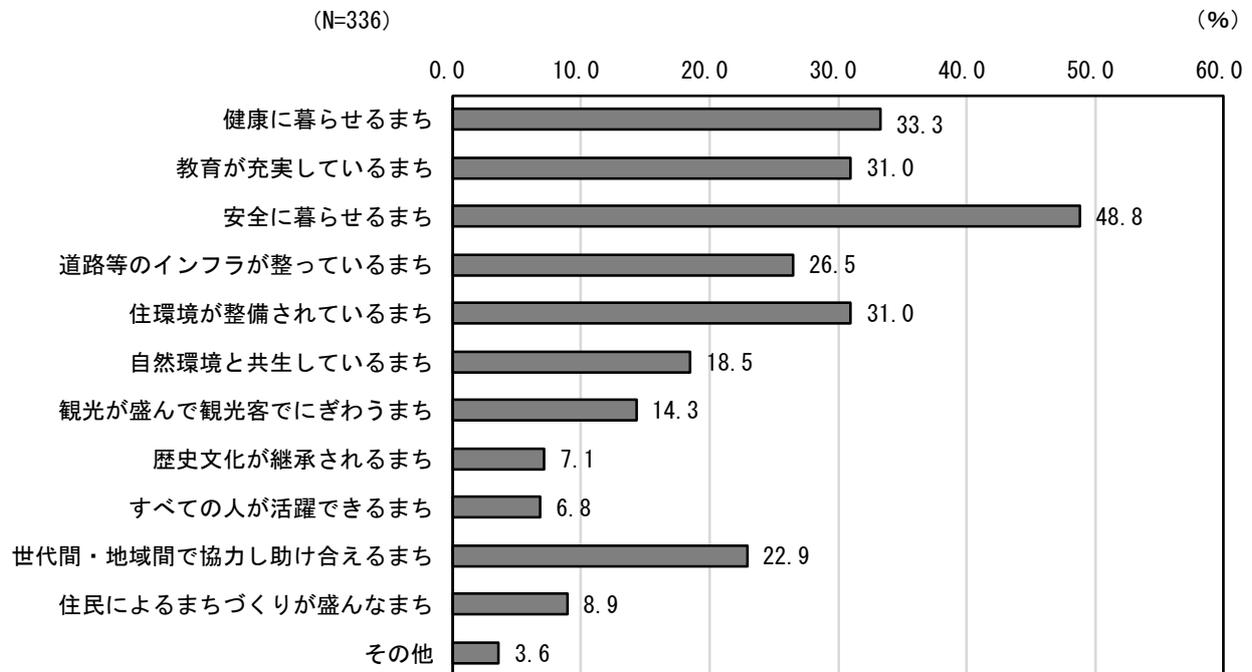
ポイントの計算の仕方

回答を下記に従って点数化し、その平均値を各項目の満足度と重要度のポイントとした。

満足度	とても満足	5点	重要度	とても重要	5点
	やや満足	4点		やや重要	4点
	どちらともいえない	3点		どちらともいえない	3点
	やや不満	2点		あまり重要ではない	2点
	とても不満	1点		まったく重要ではない	1点

問 14 今後進めていくべき町の取組みについて、問 13 で回答した以外に期待する重点的な取組み
やまちづくりに期待すること（特にあてはまるもの3つまでに○）

「安全に暮らせるまち」が48.8%と最も多く、次いで「健康に暮らせるまち」が33.3%、「教育が充実しているまち」と「住環境が整備されているまち」がともに31.0%となっています。

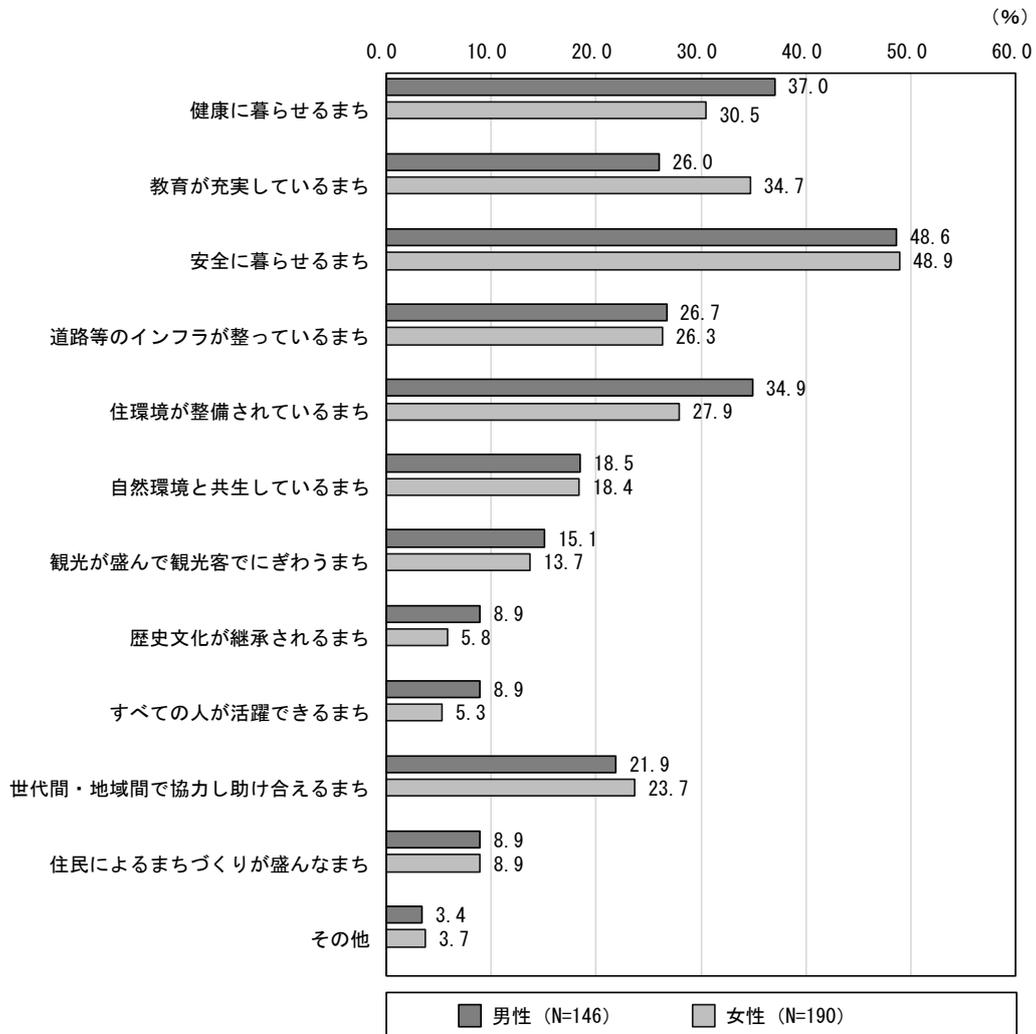


— 「その他」の回答 —

なし（4件）／若者が多いまち／若者が南越前町に住みたいと思えるまち／子どもが遊べる公園等の整備／福祉が充実しているまち／金銭的利益の追求だけでは歴史文化は継承されない／経済的負担が少ない／関係人口の促進／企業誘致（働き場所を増やす）

男女別でみると、男女ともおおむね似た傾向となっていますが、「健康に暮らせるまち」と「住環境が整備されているまち」で男性が女性を、「教育が充実しているまち」で女性が男性を、それぞれ上回っています。

【進めていくべき取り組み／男女別】



年齢別で見ると、32～35歳を除くすべての年齢層で、「安全に暮らせるまち」が最も多くなっています。

32～35歳では「安全に暮らせるまち」に加えて、「住環境が整備されているまち」が最も多くなっています。

【進めていくべき取組み／年齢別】

(%)

	健康に暮らせるまち	教育が充実しているまち	安全に暮らせるまち	道路等のインフラが整っているまち	住環境が整備されているまち	自然環境と共生しているまち	観光が盛んで観光客でにぎわうまち
16～19歳 (N=66)	37.9	13.6	51.5	30.3	28.8	10.6	19.7
20～23歳 (N=36)	36.1	22.2	50.0	25.0	19.4	13.9	5.6
24～27歳 (N=46)	41.3	39.1	47.8	26.1	32.6	28.3	10.9
28～31歳 (N=51)	33.3	37.3	49.0	27.5	29.4	25.5	23.5
32～35歳 (N=61)	27.9	36.1	39.3	29.5	39.3	16.4	9.8
36～39歳 (N=74)	25.7	37.8	54.1	21.6	29.7	18.9	13.5

(%)

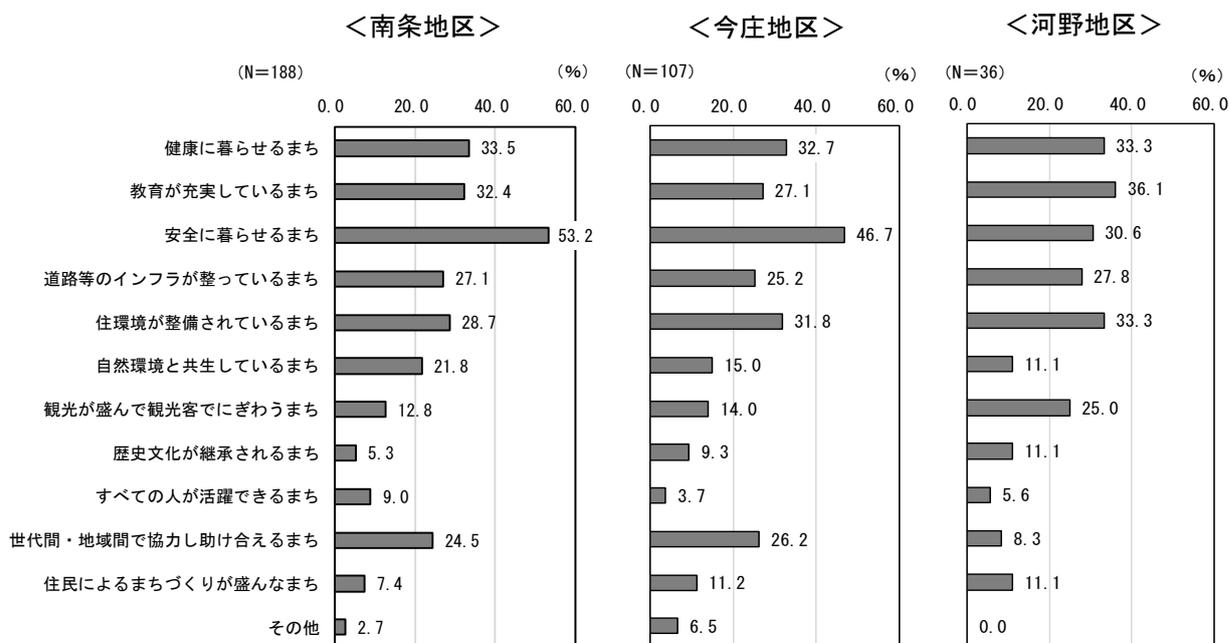
	歴史文化が継承されるまち	すべての人が活躍できるまち	世代間・地域間で協力し助け合えるまち	住民によるまちづくりが盛んなまち	その他	不明・無回答
16～19歳 (N=66)	9.1	4.5	16.7	7.6	3.0	0.0
20～23歳 (N=36)	5.6	8.3	19.4	19.4	5.6	0.0
24～27歳 (N=46)	2.2	8.7	26.1	6.5	0.0	2.2
28～31歳 (N=51)	7.8	5.9	25.5	9.8	0.0	5.9
32～35歳 (N=61)	8.2	8.2	21.3	4.9	8.2	3.3
36～39歳 (N=74)	8.1	5.4	28.4	9.5	4.1	2.7

※表の濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの
 ※項目（選択肢）が多いため、表をふたつに分割して表示

地区別でみると、南条地区と今庄地区ではおおむね似た傾向となっており、いずれも「安全に暮らせるまち」が最も多くなっています。

河野地区では「健康に暮らせるまち」「教育が充実しているまち」「安全に暮らせるまち」と「住環境が整備されているまち」がそれぞれ3割を超えており、回答が分散しています。

【進めていくべき取組み／地区別】



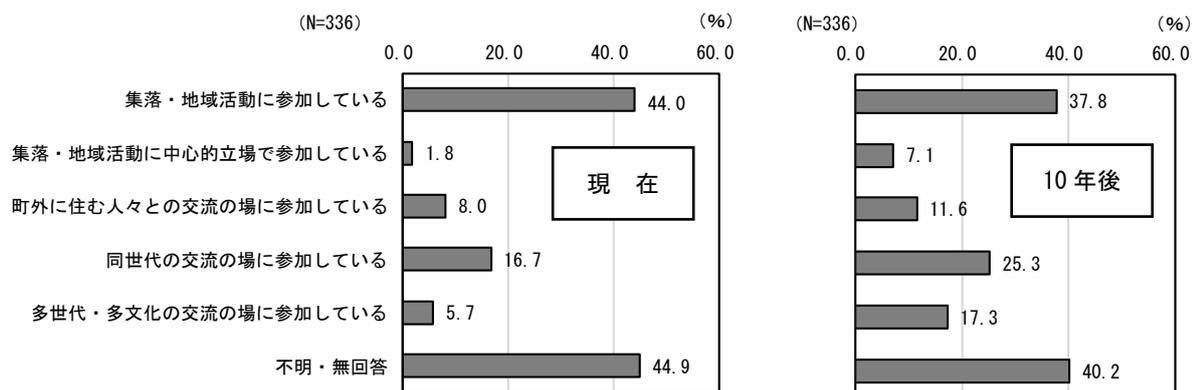
問 15 暮らしの中における交流について現在参加しているもの。また、10年後も交流の場があれば参加したいと思うもの（「現在」「10年後」それぞれ、特にあてはまるものすべてに○）

＜現在＞

「集落・地域活動に参加している」が44.0%と最も多く、次いで「同世代の交流の場に参加している」が16.7%、「町外に住む人々との交流の場に参加している」が8.0%となっています。

＜10年後＞

「集落・地域活動に参加している」が37.8%と最も多く、次いで「同世代の交流の場に参加している」が25.3%、「多世代・多文化の交流の場に参加している」が17.3%となっています。



<男女別・現在>

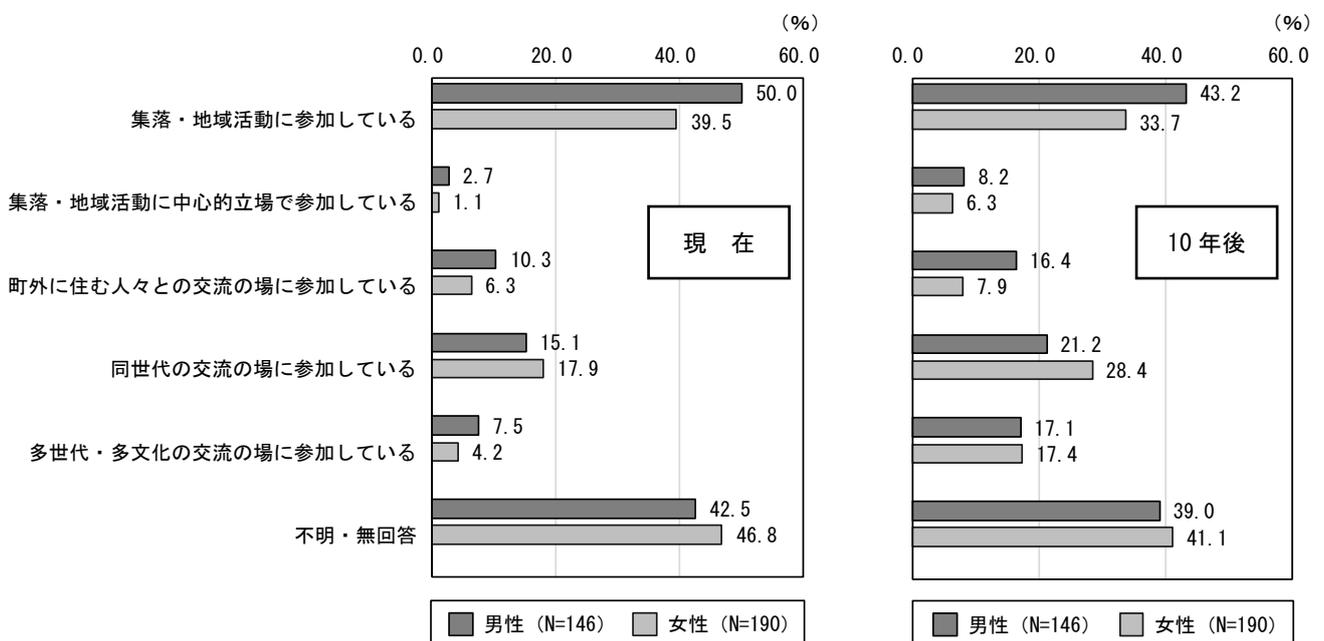
男女とも「集落・地域活動に参加している」が最も多くなっていますが、その割合は男性が女性を10.5ポイント上回っています。

<男女別・10年後>

男女とも「集落・地域活動に参加している」が最も多くなっていますが、その割合は男性が女性を9.5ポイント上回っており、男女の差が<現在>よりもやや縮まっています。

また、「町外に住む人々との交流の場に参加している」では男性が女性を8.5ポイント上回り、「同世代の交流の場に参加している」では女性が男性を7.2ポイント上回るなど、どちらも男女の差が<現在>よりもやや広がっています。

【参加している・将来参加したい交流の場／男女別】



<年齢別・現在>

すべての年齢層で「集落・地域活動に参加している」が最も多くなっていますが、中でも36～39歳で6割近くとなっています。

<年齢別・10年後>

すべての年齢層で「集落・地域活動に参加している」が最も多くなっていますが、<現在>と比べると「町外に住む人々との交流の場に参加している」と「多世代・多文化の交流の場に参加している」が各年齢層で多くなる傾向にあり、回答が分散しています。

【参加している・将来参加したい交流の場／年齢別】

現 在							(%)
	集落・地域活動に参加している	集落・地域活動に中心的立場で参加している	町外に住む人々との交流の場に参加している	同世代の交流の場に参加している	多世代・多文化の交流の場に参加している	不明・無回答	
16～19歳 (N=66)	37.9	1.5	7.6	10.6	4.5	50.0	
20～23歳 (N=36)	30.6	0.0	8.3	13.9	0.0	52.8	
24～27歳 (N=46)	32.6	0.0	4.3	21.7	6.5	50.0	
28～31歳 (N=51)	49.0	0.0	9.8	15.7	2.0	43.1	
32～35歳 (N=61)	45.9	4.9	4.9	26.2	9.8	44.3	
36～39歳 (N=74)	59.5	2.7	10.8	13.5	6.8	35.1	

※表の濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの

10 年後							(%)
	集落・地域活動に参加している	集落・地域活動に中心的立場で参加している	町外に住む人々との交流の場に参加している	同世代の交流の場に参加している	多世代・多文化の交流の場に参加している	不明・無回答	
16～19歳 (N=66)	30.3	3.0	9.1	19.7	13.6	45.5	
20～23歳 (N=36)	30.6	5.6	13.9	19.4	16.7	44.4	
24～27歳 (N=46)	32.6	10.9	13.0	32.6	17.4	41.3	
28～31歳 (N=51)	45.1	5.9	9.8	31.4	29.4	35.3	
32～35歳 (N=61)	41.0	9.8	9.8	23.0	13.1	44.3	
36～39歳 (N=74)	43.2	8.1	13.5	27.0	14.9	33.8	

※表の濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの

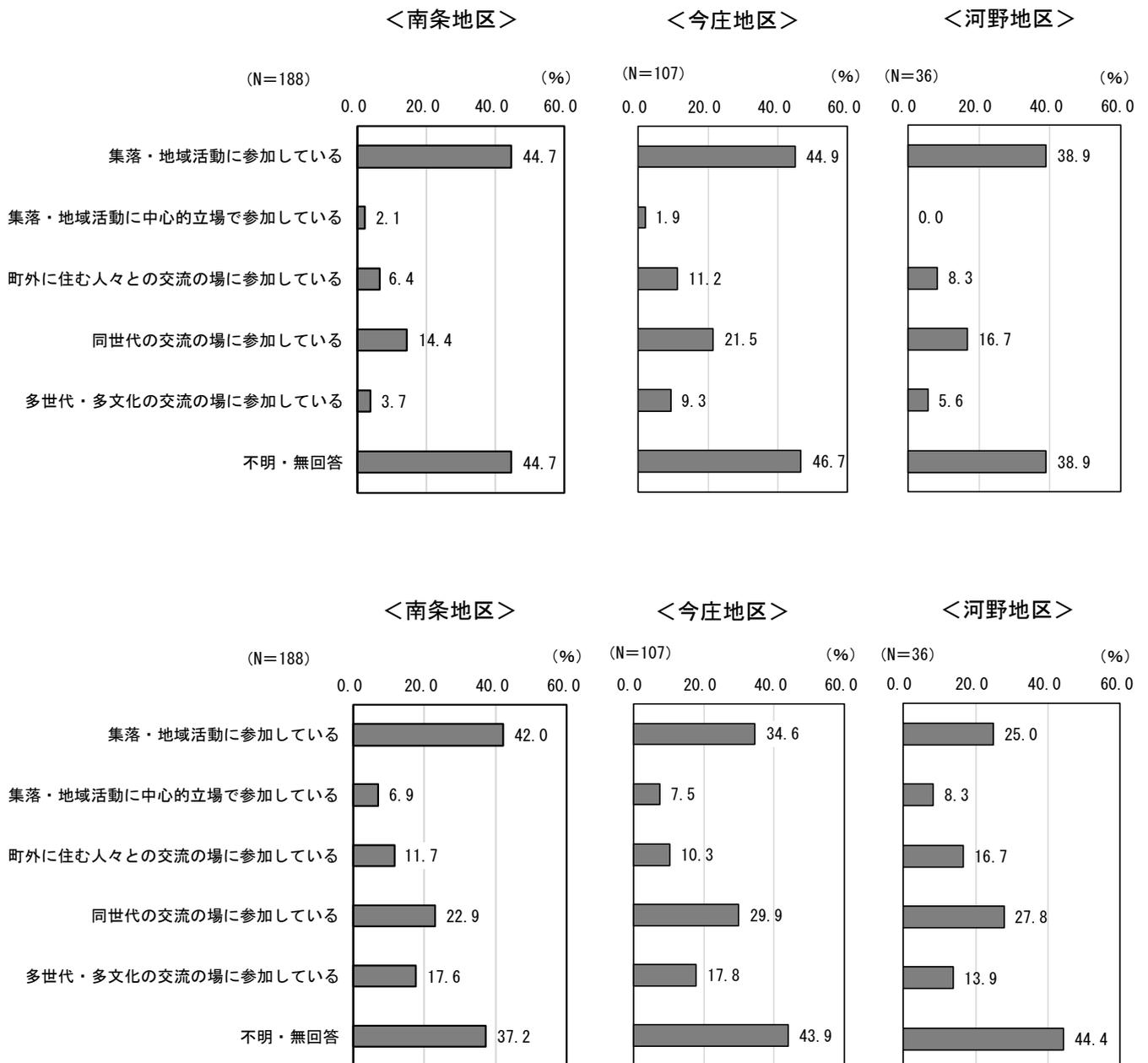
<地区別・現在>

すべての地区でおおむね似た傾向となっていますが、河野地区で「集落・地域活動に参加している」が他地区に比べて少ないことと、「集落・地域活動に中心的立場で参加している」と回答した人がいなかったことが、やや目立ちます。

<地区別・10年後>

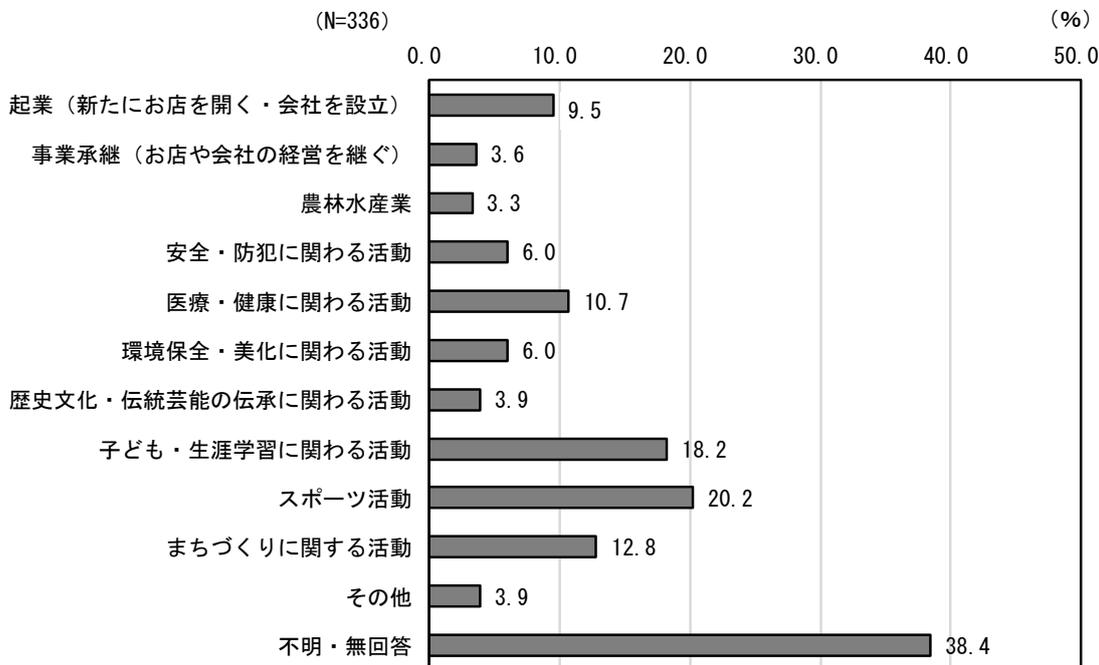
すべての地区でおおむね似た傾向となっていますが、河野地区で「集落・地域活動に参加している」が他地区に比べて少ないことが、やや目立ちます。

【参加している・将来参加したい交流の場／地区別】



問 16 (1) 南越前町において挑戦したいこと (あてはまるものすべてに○)

「スポーツ活動」が20.2%と最も多く、次いで「子ども・生涯学習に関わる活動」が18.2%、「まちづくりに関する活動」が12.8%となっています。



— 「その他」の回答 —

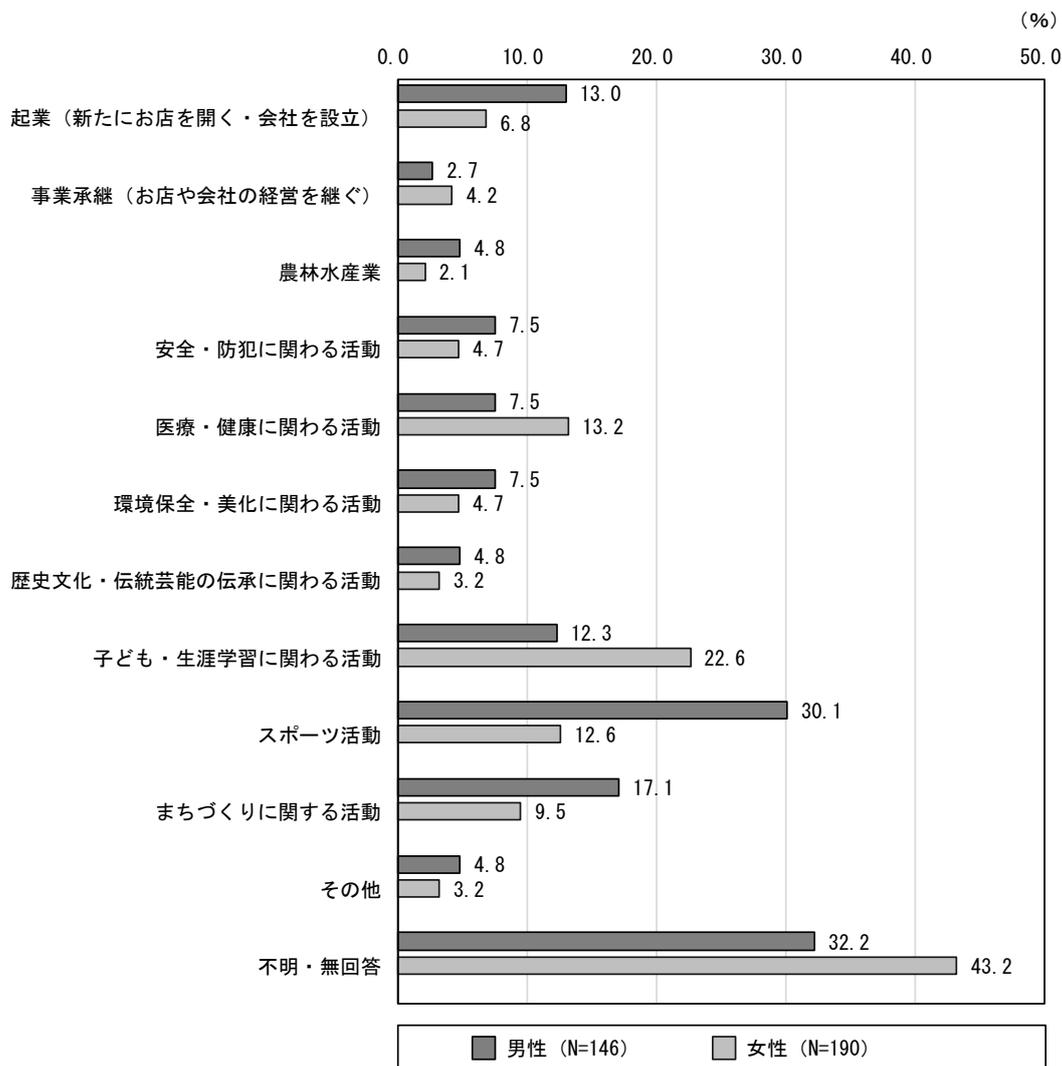
なし (10件) / 国際交流

男女別でみると、男性では「スポーツ活動」が、女性では「子ども・生涯学習に関わる活動」が最も多くなっています。

男性では「起業（新たにお店を開く・会社を設立）」「スポーツ活動」「まちづくりに関する活動」が、女性を大きく上回っています。

女性では「医療・健康に関わる活動」「子ども・生涯学習に関わる活動」が、男性を大きく上回っています。

【挑戦したいこと／男女別】



年齢別でみると、16～19歳と24～27歳では「スポーツ活動」が、20～23歳では「まちづくりに関する活動」が最も多くなっています。28～31歳では「子ども・生涯学習に関わる活動」と「スポーツ活動」がともに最も多くなっています。32～35歳と36～39歳では「子ども・生涯学習に関わる活動」が最も多くなっています。

【挑戦したいこと／男女別】

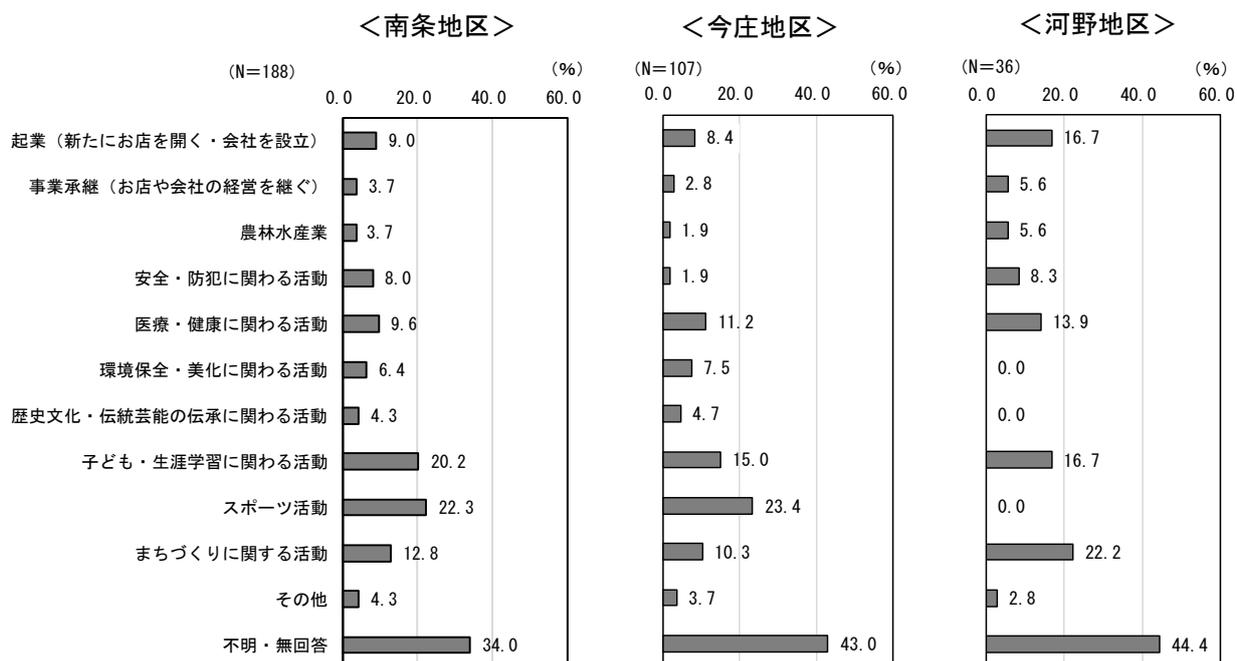
(%)

	起業（新たにお店を開く・会社を設立）	事業承継（お店や会社の経営を継ぐ）	農林水産業	安全・防犯に関わる活動	医療・健康に関わる活動	環境保全・美化に関わる活動	歴史文化・伝統芸能の伝承に関わる活動	子ども・生涯学習に関わる活動	スポーツ活動	まちづくりに関する活動	その他	不明・無回答
16～19歳 (N=66)	4.5	3.0	1.5	6.1	6.1	10.6	6.1	13.6	30.3	16.7	3.0	30.3
20～23歳 (N=36)	11.1	5.6	2.8	5.6	11.1	13.9	0.0	8.3	11.1	16.7	2.8	41.7
24～27歳 (N=46)	15.2	2.2	2.2	6.5	19.6	8.7	0.0	17.4	32.6	13.0	6.5	30.4
28～31歳 (N=51)	11.8	3.9	7.8	3.9	5.9	2.0	2.0	21.6	21.6	11.8	2.0	41.2
32～35歳 (N=61)	9.8	1.6	6.6	4.9	13.1	0.0	4.9	23.0	13.1	11.5	9.8	45.9
36～39歳 (N=74)	8.1	5.4	0.0	8.1	10.8	4.1	6.8	21.6	12.2	9.5	0.0	40.5

※表の濃く塗った枠は、各年齢層で最も回答が多かったもの

地区別でみると、今庄地区で「農林水産業」と「安全・防犯に関わる活動」が他地区と比べて少ないことや、河野地区で「環境保全・美化に関わる活動」「歴史文化・伝統芸能の伝承に関わる活動」「スポーツ活動」と回答した人がいなかったことが目立ちます。

【挑戦したいこと／地区別】



問 16 (2) 問 16 (1) の挑戦にあたり、障害となること (記述式)

問 16 (1) での選択内容	記述内容
起業 (新たにお店を開く・会社を設立)	<ul style="list-style-type: none"> ・起業資金確保と生活資金確保 (子どもの進学資金) ・自分の経営力、ビジネスプランの確立が未熟であること ・人が少ないので商売が成り立つか不安 ・顧客があるか ・人が少ない
起業 (新たにお店を開く・会社を設立) + スポーツ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少
起業 (新たにお店を開く・会社を設立) + まちづくりに関する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代がいないこと
起業 (新たにお店を開く・会社を設立) + 医療・健康に関わる活動 + 子ども・生涯学習に関わる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・費用と場所
起業 (新たにお店を開く・会社を設立) + 環境保全・美化に関わる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・お金
起業 (新たにお店を開く・会社を設立) + 環境保全・美化に関わる活動 + 歴史文化・伝統芸能の伝承に関わる活動 + スポーツ活動 + まちづくりに関する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのイベントや行事に大きな問題があっただかわりたくない
起業 (新たにお店を開く・会社を設立) + 子ども・生涯学習に関わる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が少ない
起業 (新たにお店を開く・会社を設立) + 子ども・生涯学習に関わる活動 + スポーツ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・古くからの地域の習わしや習慣、しがらみ。「〇〇であるべき」という年配者の考えに支配される
起業 (新たにお店を開く・会社を設立) + 子ども・生涯学習に関わる活動 + まちづくりに関する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ノウハウがない。資金がない
起業 (新たにお店を開く・会社を設立) + 事業承継 (お店や会社の経営を継ぐ)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が少ないこと
起業 (新たにお店を開く・会社を設立) + 農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> ・集客が難しそう。生計を立てられるか不安

問 16 (1) での選択内容	記述内容
起業（新たにお店を開く・会社を設立）＋農林水産業 歴史文化・伝統芸能の伝承に関わる活動＋スポーツ活動 まちづくりに関する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろ考えますが、やること以外ないと思うので、起業してから出てくると思います
起業（新たにお店を開く・会社を設立）＋歴史文化・伝統芸能の伝承に関わる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化に興味あるが、具体的に何をすべきか、何をしたらよいかかわからない
事業承継（お店や会社の経営を継ぐ）＋その他	<ul style="list-style-type: none"> ・役場や商工会が主体となって町営の自営業者をサポートする仕組みがほしい（補助金や経営アドバイスなど） ・英会話教室・自主サークルなどが無い。国際交流イベントは主に福井市、敦賀市までいかない
事業承継（お店や会社の経営を継ぐ）＋まちづくりに関する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の数が少ない
事業承継（お店や会社の経営を継ぐ）＋医療・健康に関わる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少 ・町まで行っての購入などが多い
事業承継（お店や会社の経営を継ぐ）＋環境保全・美化に関わる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・税金など
農林水産業	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事が忙しい、一人では始めにくい
安全・防犯に関わる活動＋スポーツ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツのイベントでは、参加者が減少傾向にあり、イベント自体ができなくなるのではと不安
安全・防犯に関わる活動＋歴史文化・伝統芸能の伝承に関わる活動＋子ども・生涯学習に関わる活動＋まちづくりに関する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少
医療・健康に関わる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師の募集が少ないこと
医療・健康に関わる活動＋子ども・生涯学習に関わる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・運営できるだけの人数を確保できるかどうか
環境保全・美化に関わる活動＋スポーツ活動＋まちづくりに関する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の支えとなる資金の不足
歴史文化・伝統芸能の伝承に関わる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・教えてくれる方の高齢化、学びたいと思う方の減少、広報不足
歴史文化・伝統芸能の伝承に関わる活動＋まちづくりに関する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・告知をもっとたくさんしてほしい
歴史文化・伝統芸能の伝承に関わる活動＋子ども・生涯学習に関わる活動＋スポーツ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数の減少

問 16（１）での選択内容	記述内容
子ども・生涯学習に関わる活動	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少ない ・金銭面 ・過疎化 ・町内でどのような取り組みが行われているか不明 ・少子高齢化 ・社会的養護の関心が薄いと思う。田舎なため、親がいて当たり前という考え方や、生活保護受給家庭の親子、収入の少ない家庭に対し、偏見があると思う
子ども・生涯学習に関わる活動＋スポーツ活動 ＋まちづくりに関する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・どこでこういうことをやっている、ってというのがわからない。PR 不足。知る方法はどうしたら…
スポーツ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が苦手である ・コミュニティの少なさ ・少子化 ・ナイター料、グラウンドや体育館など場所の確保
まちづくりに関する活動	<ul style="list-style-type: none"> ・資金 ・地域住民の反対意見 ・行政のサポートがない。こちらから動かないとアドバイスがいただけなかったり、マニュアル的な対応しかしていただけないことが目に見えているので、不安 ・参加する人(できる人)が減少するのではないかな？ ・前例のないことこそやろうとする姿勢が必要なので、近隣市町がやってるならやろうと思うようなあり方

■自由意見

自由意見のうち、代表的なものを抜粋して掲載します。

(原則として原文のまま掲載していますが、一部、表記を調整している場合があります。)

●教育・子育てに関すること

○子どものインフルエンザが無料なのは続けてほしい。(女性/36~39歳)

○小児科があまりないので、近場にあると助かる。(女性/28~31歳)

○小児科がないため、乳幼児の健診、かかりつけをつくるには、武生、鯖江、福井まで出なければならない。子供が増えれば、おのずと高齢者の生活も便利になると考えている。
(女性/36~39歳)

○子育てがしやすい環境にあると感じているが、子どもの夜間救急に対応している病院が福井市にしかない点が不安に思う。(女性/24~27歳)

○出産、子育てへの資金援助。特定不妊治療費助成などの年齢制限を上げる。(男性/28~31歳)

○第3子に100万円の助成がほしい。子どもが少なすぎるから、大事にしてほしい。
(女性/24~27歳)

○保育園から英語に触れる機会を作ってほしい。(女性/32~35歳)

○フルタイムで働きながら子どもを習い事に連れて行くのが難しいので、支援をしてほしい。送迎や、有料でもいいので園内に講師を呼ぶなど。(女性/32~35歳)

○仕事をしたいけど、こども園がいっぱいで働けない家庭がたくさんある。(男性/28~31歳)

○子どもが少ないので、小学校とか少人数なのが不安。(男性/28~31歳)

○中学校の部活の数が少ないので、充実させてほしい。(女性/36~39歳)

○河野地区は子どもの数が少なく、今後もどんどん減っていくのではないかと心配。ここで子育てをしたくても同学年の子どもが少なく、同性の子が一人もいない状況では引っ越しを考えざるを得ない。子どもが少ないからという理由で引っ越した人もたくさんいる。できるだけ早い段階での小中学校の統合を願う。(女性/32~35歳)

○一学年当たりの人数が少ないので、すぐにでも合併して、教育環境を充実させてほしい。現状では、町外に出る以外の選択肢がない。(男性/32~35歳)

○子どもが町外の特別支援学校へ通っているが、町の同級生とのかかわりがなく、親も子も大変寂しい思いをしている。他の子といっしょに児童館に通えるようにしてほしい。
(女性/36~39歳)

○テストの点数などの学力を伸ばすだけでなく、これからどんな力が子どもたちに必要か考え、それが身につくような教育を小中学校でできるようになればうれしい。(女性/32~35歳)

○宝である子どもの環境を守ること。学校教育においてもっと前衛的になるべき。校則がなくとも乱れない学校を作り、自由を尊重し、それでいて高い学力を身に付けられるとなれば、町外流出を防げるのではないかと考えている。(女性/36~39歳)

○子どもの通学で、徒歩で30分以上かかる地域は、バスを利用できるようにしてもらいたい。
(女性/32~35歳)

●教育・子育てに関すること

- 発達障がいを持つ子どもが増えていることなどを考えると、障がいのある子の支援をできる体制を早期に整えるべき。発達支援を希望しても、町外にまで通わなくてはならないのは、親にとって負担であり、継続していくことも難しくなる。(女性/36~39歳)
- 空き家の有効活用として、子育て世代や妊婦さんたち、地域の方々が気軽に集える場を作りたいと考えているが、費用がかかるので難しい。(女性/32~35歳)
- 子育て世代の人や子どもたちが、雨の日や天候の悪い日に過ごせる場所があれば利用したい。支援センターは保育園やこども園に入っていない子しか利用できないし、土日はお休みなため、屋内で過ごせる場所がほしい。(女性/32~35歳)
- 子どもたちが安心・安全に広く遊べるところがあるといいなと思う。イベントももっとあると、町の人との交流も増えるかなと思う。(女性/32~35歳)
- 今庄地区に住んでいるが、子どもを連れて遊びに行ける公園や施設がほとんどない。今庄で出産、子育てをしている人も、すぐに南条や越前市などに出て行ってしまふ。現在住んでいる若者が、ずっと住んでいたいと思えるような町づくりを進めてほしい。(女性/36~39歳)
- 子どもの虐待のニュースが多いが、児童相談所は仕事がとても多い状況。しかも福井市と敦賀市にしかない。保健福祉課にもより専門的な人を置いてもいいのではないかな。(女性/24~27歳)
- 昨年の保育士募集が16名と書いてあったが、県のHPや県内の大学に案内をしないと、16名も難しいと感じた。(女性/24~27歳)
- 少子化や高齢化が進み人口減少に傾向が見られるので、それを抑えるためにはもうちょっと子育ての充実や出生率も少しでもいいから上げてほしいと思う。(男性/24~27歳)

●通勤・移動・交通に関すること

- 西バイパスに街灯をたくさん増やしてほしい。(男性/28~31歳)
- 通学・通勤の際に田んぼ道が暗く不安なため、街灯を増やしてほしい。(男性/16~19歳)
- 駅前の歩道の整備(スピードを出す車が多くて怖い)。駅の階段を使わなくてもJRに乗れるようにしてほしい。(女性/36~39歳)
- 南条駅へ向かう信号が短すぎて、右折信号を取り付けた方がよい。町外から人を呼び込もうとするならば、交通の便を考えた街づくりをしてほしい。(女性/32~35歳)
- 南条こども園、児童館、小学校から365号にかけての交差点が危ないといつも感じている。そこだけにでも、歩道橋をかけてほしい。(女性/24~27歳)
- 人の通りが少なく、子どもの安全を見守る活動が広がってほしい。(女性/36~39歳)
- 融雪を町の中心だけではなく、車での通勤の際よく利用されている道路へも設置していただきたい。365号線を利用する車ばかりではない。(女性/28~31歳)
- 冬場の通勤が大変。8号線へ出るまでのルート(海沿い以外)すべてに融雪をつけてくれると助かる。朝早い時間帯に水が出てないことも多々あるので困る。(女性/32~35歳)
- 自動車免許証を返納された方や、車を運転することができない人は、バスやタクシー等利用があっても、外出が少なくなると思う。交流の場や病院・買い物へ行ける機会も減るような気がする。そういった方々の不便がなくなるようになるといいなと思う。(女性/36~39歳)
- 福鉄を通してほしい。(女性/16~19歳)

<p>●通勤・移動・交通に関すること</p>
<p>○南条駅～王子保駅の間にもう一つ駅を追加し、交通の便をよくしてほしい。(女性/16～19歳)</p>
<p>○新幹線が整備されると、大阪・名古屋方面への在来線の本数が減る(なくなる)と聞く。現状で何不自由ないことなので、現在の交通環境を維持してほしい。(男性/32～35歳)</p>
<p>○次世代を育てる移住者を増やすなど、人口を維持(増加)させる施策を重視すべき。働く場所は町外でも住む場所は南越前町という人が増えればよいのでは。そのためにも、現在のインフラ(電車)は絶対に維持すべき。(男性/32～35歳)</p>
<p>○福井市へのアクセスを便利にしてほしい。買い物、病院は越前市に行けば何とかできるが、福井市に行くのに時間がかかりすぎるのがとても不便。トンネルを作るなどして、福井市へのアクセスをスムーズにできるようにしてほしい。(女性/32～35歳)</p>
<p>○近隣にお店がまったくないのが不安。車に乗れなくなった後、生活していけるのかという不安は消えない。何かしら交通手段があるとよい。(女性/36～39歳)</p>
<p>○1台でもいいから、レンタカーもしくはカーシェアサービスがあるとよい。(女性/36～39歳)</p>
<p>●観光振興やまちの活性化に関すること</p>
<p>○スキー場・海水浴場・山・川など、観光資源が盛沢山なりリゾート地だと思う。しかし、その魅力に気付いている住民はごくわずか、特に小中高生と話していると、故郷への愛着のなさを時折感じる。鯖江のJK課のように、地元の若い世代と南越前町のまちづくりや観光について考える授業やイベントをするのはどうか。若い世代が一度この町を出たとしても、また戻ってきたいと思えるようなまちづくりをしていきたい。(女性/28～31歳)</p>
<p>○南条地区は住環境重視、今庄・河野地区は観光重視など、ゾーニングを進めて、それぞれに重点的に施策を打つのもよいのではないかと。(男性/32～35歳)</p>
<p>○子育て面はすごくいいと思う。この部分で福井県1位、日本1位を目指し、若い人を増やすなどをしてほしい。そのために、空き地・空き家の有効活用と、働ける場所(企業誘致)を増やしてほしい。(女性/36～39歳)</p>
<p>○人のためになるような施設誘致したらよいと思う。(男性/36～39歳)</p>
<p>○町内での雇用の拡大や、雇用に関するイベントの充実。(男性/20～23歳)</p>
<p>○IT、IoTに関連したイベント、町おこし。(男性/36～39歳)</p>
<p>○南条地区にはばかり宅地を分譲しているため、若い人が集中してしまい、南条こども園の定員がオーバーしているような気がする。湯尾地区の宅地を早期に分譲してほしい。(男性/36～39歳)</p>
<p>○親の家を建て替えて住むことは空き家対策にもつながるので、そこにも補助を出すなど支援をしてほしい。(男性/36～39歳)</p>
<p>○南条リバーフェスティバルが楽しかったので、何か一つ南条の夏祭りを企画していただけたらよいと思う。(女性/24～27歳)</p>
<p>○特に南条地区において、かつての夏祭りや体育祭のような、住民が一堂に会する機会が減っており、寂しく思っている。防犯上の観点からも、住民同士の交流を積極的に行うべきと考える。物産フェアやマラソンだけでは足りないと思う。(男性/24～27歳)</p>
<p>○一度きり・数回でやめてしまうイベントが多すぎる。例えば、ひきやまやダッグレースなど。もっと昔からある祭りや行事を大切にしていけないとだめだと思う。(女性/28～31歳)</p>

●観光振興やまちの活性化に関すること	
○	せっかく自然が多いのに活かされてない。池田町のように活かし、町外からのお客様誘致に力を入れるべき。(女性/32~35歳)
○	旧北陸線トンネル群と今後開通する北陸新幹線をうまく活用して、観光客を増やすといいと思う。(男性/36~39歳)
○	今庄宿の観光地化を進めるなら、まず中央の歴史通りに車が入れないようにするべきだと思う。周辺に住民用と観光客用の駐車場をきちんと整理し、自由に町中を歩けるように。(男性/32~35歳)
○	歴史に力を入れるのはいいことだと思う、それによって道路を占領(人混みで)されて、車が通れなくなるのはやめてほしい。(女性/32~35歳)
○	南条地区の観光の目玉である「はす畑」「はすマラソンのコース」の近くにゴミ焼却場を建てているが、観光への影響が懸念される。(女性/36~39歳)
○	町は観光に力を入れているが、同時に、受け入れる側の町民の意識を変えなければ、張りぼてのものになってしまう。(男性/36~39歳)
○	漁業を使ってもっと観光に使えばよい。新幹線が敦賀に来るなら、漁業体験とか田舎体験を外国人に向けてすれば流行る。もっと若い子になんでもやらせたらどうか。(女性/24~27歳)
○	サービスエリアに直販所を作る計画があるが、農業の担い手不足の中、販売する商品があるのか疑問である。新しい施設を建てる際は、見た目重視ではなく、維持管理しやすいものにした方がよい。(女性/36~39歳)
○	農業を職業にできるような組織体制づくり。(男性/24~27歳)
●施設整備などについて	
○	駅の ATM にゆうちょも入れてほしい(振込手数料が安い)。駅にコインロッカーがあると助かる。(女性/36~39歳)
○	今庄地区にはコンビニがなく、南条地区までいかないとスーパーがないのは、高齢者にとって食品の購入が難しいのではないか。(男性/16~19歳)
○	越前市や鯖江市、福江市などに出なくても買い物ができるようになってほしい。(男性/36~39歳)
○	休日に子どもを連れてお出かけするようないところがない。土地はあるから、大型ショッピングモールなどを誘致して、雇用の拡大・町外からの集客で消費を促す。(女性/32~35歳)
○	車がないと不便極まりない生活。駅近くに老人用のアパートを作っては。(男性/16~19歳)
○	レインボーパークにもっと公園などを増やしたり、カフェや子ども連れがたくさん来られるようになると、もっと賑わいができていいと思う。(女性/16~19歳)
○	「レインボーパーク」の看板(橋の端の)が薄汚れていて残念な感じ。(男性/20~23歳)
○	南条駅のトイレや地下道を含め汚い。夏は蛾の死骸があちこちにある。外からの来客が到着しても、駅の使用は恥ずかしくて、避けたくなる。どうかして清潔な印象にしてほしい。(男性/20~23歳)
○	高速道路や南条 SA 周辺の工事で町も盛り上がっていくだろうが、その周辺の防犯などが気になる。特に高速近くに建っている古い団地が物騒に思える。(女性/32~35歳)

●施設整備などについて	
<input type="checkbox"/>	南条駅をもっと広くしてカフェがあり、学生などがくつろいだり、楽しめるようにしたらいいと思う。(男性/16~19歳)
<input type="checkbox"/>	若者向けのお店も作ってほしい。例えばインスタ映えスポットとなるお店を作るとか、プリクラを撮る機械を置いてほしい。(女性/16~19歳)
<input type="checkbox"/>	若者が気軽に集まることができる(拠点となるような)施設があるとよい。(男性/24~27歳)
<input type="checkbox"/>	本屋さんがほしい。図書館の学習スペースを増やしてほしい。(女性/16~19歳)
<input type="checkbox"/>	安心できる救急病院があると心強い。雇用の安定も図れる。(女性/28~31歳)
<input type="checkbox"/>	旧南条幼稚園のところで、救急動物病院を作ってほしい。(男性/36~39歳)
<input type="checkbox"/>	犬を思いきり走らせることのできる室内の施設があれば、愛犬と一緒に運動できていいと思う。(男性/16~19歳)
<input type="checkbox"/>	100円均一ショップがあるといい。(女性/20~23歳)
●その他、生活に関すること	
<input type="checkbox"/>	水道料金が高い。(男性/20~23歳)
<input type="checkbox"/>	自然災害が毎年のように起きているので、災害に備えた町づくりをお願いしたい。河川や山を今一度点検し、未然に防げることは町でしていただきたいと思う。(女性/36~39歳)
<input type="checkbox"/>	町全体もしくは地区全体の避難訓練を年に一回程度実施してほしい。毎年開催時期を変えて、あらゆる季節で備えができるようにしてほしい。(女性/36~39歳)
<input type="checkbox"/>	役場へ提出する書類が、自宅に届いてから期限までが短いので、もう少し早く送付してほしい。役場の閉庁時間が早いので、提出がなかなかできない。(女性/36~39歳)
<input type="checkbox"/>	アンケートの意見が反映されているところが見受けられない。住みやすい町づくりを掲げているのであれば、積極的に民間と交流の場を設けて、考えのすり合わせをしていただきたい。(女性/20~23歳)
<input type="checkbox"/>	ネットでの情報量をもっと増やしてほしい。(男性/20~23歳)
<input type="checkbox"/>	獣の駆除をもっとしてほしい。(女性/20~23歳)
<input type="checkbox"/>	高齢者向けの、除雪の手助け。健康のために、家~交流スペースの活用。景観維持のために、空き家の取り壊し促進。休耕地活用。歴史や文化を現代へ。(男性/32~35歳)
<input type="checkbox"/>	地域活動がわずらわしい。人がいないので重複する。わずらわしいまつりもやめるべき。(男性/36~39歳)
<input type="checkbox"/>	ゴミの収集日を増やしてほしい。ゴミの分別をなくしてほしい。(男性/24~27歳)
<input type="checkbox"/>	障がい者や障がい者がいる家庭に、サービスの提供を積極的に行ってほしい。少数派の人たちにもしっかりと目を向け、住みやすく、笑顔あふれるまちづくりに取り組んでいただきたい。小さいコミュニティだからこそその施策を期待している。(男性/32~35歳)
<input type="checkbox"/>	単に人口増を考えるのではなく、優秀な人材が町に残るような政策が必要。(女性/36~39歳)
<input type="checkbox"/>	人口減少は確実なので、移住など人口増を目指さない施策を。(男性/36~39歳)

未来に向けた「南越前町まちみらいアンケート調査」

(人口ビジョン・総合戦略策定に関するアンケート調査)

日頃より町政の推進について、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
住みよいまちとしての魅力を高め、諸課題の解決に取組んでいくためにアンケート調査を実施します。
定にあたり、本町が取組むべきまちづくりについて、ご意見を伺うためにアンケート調査を通じて、住民の皆さまの調査は、16歳以上39歳以下の方の中から1,000人を無作為抽出し、アンケートを通じて、住民の皆さまのご意見をお聞かせいただき、貴重な資料とさせていただきます。集計した情報は公表を予定していません(個別の調査票は公表しません)。
お忙しい中、恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

令和元年9月

南越前町

【アンケートのご記入にあたってのお願い】

- ご回答は、あくまで名のご本人が令和元年9月1日現在でご記入ください。また、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方がご本人の意向に従ってご記入ください。
- 調査票は同封の返信用封筒(印手不要)に入れ、**令和元年10月7日(月)までに**ご投函ください。

調査に関するお問合せ先 南越前町 観光まちづくり課 電話 0778-47-8013

あなたご自身のことについてお伺いします

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

1. 男性 2. 女性 3. ()

問2 あなたの年齢を教えてください。(令和元年9月1日現在)(1つに○)

1. 16～19歳 3. 24～27歳 5. 32～35歳
2. 20～23歳 4. 28～31歳 6. 36～39歳

問3 あなたと一緒に住まいにお住まいのご家族について教えてください。(1つに○)

1. 一人暮らし世帯 4. 三世代世帯(親・子・孫)
2. 一世代世帯(夫婦のみ) 5. その他()
3. 二世代世帯(親と子)

問4 あなたの現在のおつとめの状況は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 正規の職員 6. 家事専業
2. 派遣・嘱託・契約社員 7. 学生
3. パート・アルバイト 8. 無職
4. 自営業及びその家族従事者 9. その他()
5. 農林漁業

問5 就労(自営業等も含む)・通学されている方にお伺いします。

(1) あなたの就労・通学先はどこですか。(1つに○)

1. 町内 2. 町外(市町村名:)

(2) あなたの家から就労・通学先までの移動時間は何分ですか。(数字を記入)

()分 ※1時間は60分としてお答えください

(3) あなたは将来、どこで仕事をしたいとお考えですか。(1つに○)

1. 町内 2. 町外(市町村名:)

問6 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

1. 南条地区 2. 今庄地区 3. 河野地区

問7 あなたは、南越前町にお住まいになって通算して何年になりますか。一度町外に転出したのち再び転入した場合は、お住まいの通算年数をお答えください。(1つに○)

1. 5年未満 3. 10年～15年未満 5. 20年～25年未満
2. 5年～10年未満 4. 15年～20年未満 6. 30年以上

問8 南越前町に居住することになった一番の理由は何か。(1つに○)

1. 生まれた時から住んでいるため 5. 親族と同居または近くに住むため
2. 就職・転職のため 6. 南越前町に魅力を感じたため
3. 転勤のため 7. その他
4. 結婚のため ()

問9 (1) 南越前町に住み続けたいとお考えですか。(1つに○)

1. 住み続けたい 4. どちらかといえば転出した
2. どちらかといえば住み続けたい 5. 転出した
3. どちらともいえない

問9(1)で「4. どちらかといえば転出した」または「5. 転出した」を選んだ方にお伺いします。

(2) 南越前町から転出したと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 就職や転職に対応するため 5. 自分の子供の誕生や成長に備えるため
2. 結婚するため 6. 自分のやりたいことに挑戦するため
3. 交通の利便性を高めるため 7. その他
4. 買い物や通院の利便性を高めるため ()

(3) 南越前町から転出した後、再び南越前町に居住したいと思えますか。(1つに○)

1. 再び居住したい 2. 居住したくない

暮らしについてお伺いします

問10 南越前町の暮らしやすさについてどのように感じていますか。(1つに○)

1. 暮らしやすい 4. どちらかといえば暮らしにくい
2. どちらかといえば暮らしやすい 5. 暮らしにくい
3. どちらともいえない

問11 生活するうえで、現在、お困りのことや不安なことはありますか。また、10年後の生活を考えたとき不安なことはありますか。
 (「現在」「10年後」それぞれ、特にあてはまるもの3つまでに○)

現在	10年後	項目
1		近くで食料や日用品を買えない
2		近くに病院がない
3		救急医療機関が遠く、搬送に時間がかかる
4		子どもの通う保育所・幼稚園・学校が遠い
5		子どもの通う保育所・幼稚園・学校の子どもの数が少ない
6		あなた自身の通学・通学が不便
7		金融機関や郵便局が近くになく、預貯金の出し入れ等が不便
8		文化・芸術・スポーツ・生涯学習活動の場がない
9		台風・地震・豪雪など災害の被害が多い(被害がある)
10		サル・イノシシなどの獣が多い(被害がある)
11		親やあなた自身の介護が必要
12		住んでいる人が少なく、地域行事等のコミュニティが成り立っていない
13		その他()
14		特になし

問12 (1) 南越前町に愛着を感じていますか。(1つに○)

1. 愛着がある	4. どちらかといえば愛着がない
2. どちらかといえば愛着がある	5. 愛着がない
3. どちらともいえない	

問12 (1) で「1. 愛着がある」または「2. どちらかといえば愛着がある」を選んだ方にお伺いします。

(2) 愛着を感じる理由は何ですか。(特にあてはまるもの3つまでに○)

1. 生まれ育った故郷であるため	7. 教育環境が恵まれているため
2. 親・兄弟など親類がいるため	8. 静かでやすらぎがあるため
3. 友人・知人がいるため	9. すばらしい伝統文化があるため
4. 人との繋がりが豊かであるため	10. 治安がよく、安心して住めるため
5. 自然環境に恵まれているため	11. その他
6. 公園や道路などが整っているため	()

まちづくりについてお伺いします

問13 これまで進めてきた町の取組みについて、現在の評価(満足度)と今後の期待(重要度)について、あなたのお考えに最も近いと思うものを選んでください。(それぞれ1つに○)

項目	現在の評価(満足度)		今後の期待(重要度)		
	とても満足	やや満足	とても重要	やや重要	
① 雇用の安定	5	4	3	2	1
② 定住・移住・交流の促進	5	4	3	2	1
③ 結婚・出産・子育て環境の充実	5	4	3	2	1
④ 暮らしの安全	5	4	3	2	1

問14 今後進めていくべき町の取組みについて、問13で回答した以外に期待する重点的な取組みやまちづくりに期待することを選んでください。(特にあてはまるもの3つまでに○)

1. 健康に暮らせるまち	7. 観光が盛んで観光客でにぎわうまち
2. 教育が充実しているまち	8. 歴史文化が継承されるまち
3. 安全に暮らせるまち	9. すべての人が活躍できるまち
4. 道路等のインフラが整っているまち	10. 世代間・地域間で協力し助け合えるまち
5. 住環境が整備されているまち	11. 住民によるまちづくりが盛んなまち
6. 自然環境と共生しているまち	12. その他()

問15 暮らしの中における交流について現在参加しているものはありませんか。また、10年後も交流の場があれば参加したいと思うものはありますか。
 (「現在」「10年後」それぞれ、特にあてはまるものすべてに○)

現在	10年後	項目
1	1	集落活動に参加している(祭り作業、子ども会、まつり、運動会等)
2	2	地域活動に参加している(消防団、青年団、婦人会、PTA等)
3	3	町内のイベントに参加している(お祭りまつり、はねまつり、阿野夏まつり等)
4	4	町外の人々との交流の場に参加している(大学生や都市在住者との交流等)
5	5	同世代・同趣味の交流の場に参加している(同窓会、スポーツ・文化活動等)
6	6	多様な世代・職種の交流の場に参加している(異業種交流、まちづくりセミナー)

問16 (1) 南越前町においてあなたが挑戦したいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 起業(新たにお店を開く・会社を設立)	7. 歴史文化・伝統芸能の伝承に関わる活動
2. 事業承継(お店や会社の経営を継ぐ)	8. 子ども・生涯学習に関わる活動
3. 農林水産業	9. スポーツ活動
4. 安全・防犯に関わる活動	10. まちづくりに関する活動
5. 医療・健康に関わる活動	11. その他
6. 環境保全・美化に関わる活動	()

(2) 問16 (1) の挑戦にあたり、障害となることがあればお書きください。

自由回答

問17 南越前町における今後の暮らし方やまちづくりについて、充実してほしいと感じている施策やご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございます。令和元年10月7日(月)までにご返函ください。

未来に向けた「南越前町まちみらいアンケート調査」

(人口ビジョン・総合戦略策定に関するアンケート調査)

結果報告書

令和元年 11 月

発行／南越前町 観光まちづくり課

〒919-0292 福井県南条郡南越前町東大道 29- 1

電話：0778-47-8013 FAX：0778-47-3261
